坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事

建築図				機械設備図		電気設備図	
A-01	特記仕様書（改修その１）	A-26	管理棟 3・4階　展開図（改修）	M-01	機械設備工事特記仕様書（１）	E-01	電気設備工事特記仕様書（１）
A-02	特記仕様書（改修その２）	A-27	東棟 1・2階 平面詳細図（既存）	M-02	機械設備工事特記仕様書（２）	E-02	電気設備工事特記仕様書（２）
A-03	特記仕様書（改修その３）	A-28	東棟 3・4階 平面詳細図（既存）	M-03	機械設備工事特記仕様書（３）	E-03	照明器具姿図
A-04	特記仕様書（改修その４）	A-29	東棟 1-3階 平面詳細図（改修）	M-04	衛生器具表・換気機器表	E-04	電灯コンセント 西棟1～4階トイレ平面詳細図（既存）
A-05	特記仕様書（改修その５）	A-30	東棟 4階 平面詳細図（改修）	M-05	給排水系統図（改修前・後）	E-05	電灯コンセント 西棟1～4階トイレ平面詳細図（改修）
A-06	案内図・配置図	A-31	東棟 1階　展開図（既存）	M-06	給排水 西棟1～4階トイレ平面詳細図（既存）	E-06	電灯コンセント 管理棟1・2階トイレ平面詳細図（既存）
A-07	既存　１階・２階　平面図、仮設計画図(参考)	A-32	東棟 2階　展開図（既存）	M-07	給排水 西棟1～4階トイレ平面詳細図（改修）	E-07	電灯コンセント 管理棟1・2階トイレ平面詳細図（改修）
A-08	既存　３階・４階　平面図、仮設計画図(参考)	A-33	東棟 3階　展開図（既存）	M-08	給排水 管理棟1・2階トイレ平面詳細図（既存）	E-08	電灯コンセント 管理棟3・4階トイレ平面詳細図（既存）
A-09	西棟 1・2階 平面詳細図（既存）	A-34	東棟 4階　展開図（既存）	M-09	給排水 管理棟1・2階トイレ平面詳細図（改修）	E-09	電灯コンセント 管理棟3・4階トイレ平面詳細図（改修）
A-10	西棟 3・4階 平面詳細図（既存）	A-35	東棟 1階　展開図 １（改修）	M-10	給排水 管理棟3・4階トイレ平面詳細図（既存）	E-10	電灯コンセント 東棟1～4階トイレ平面詳細図（既存）
A-11	西棟 1-4階 平面詳細図（改修）	A-36	東棟 1階　展開図 ２（改修）	M-11	給排水 管理棟3・4階トイレ平面詳細図（改修）	E-11	電灯コンセント 東棟1～4階トイレ平面詳細図（改修）
A-12	西棟 1階　展開図（既存）	A-37	東棟 2･3階　展開図（改修）	M-12	給排水 東棟1～4階トイレ平面詳細図（既存）	E-12	トイレ呼出設備　1階・2階　平面図　姿図
A-13	西棟 2階　展開図（既存）	A-38	天井伏図	M-13	給排水 東棟1～3階トイレ平面詳細図（改修）		
A-14	西棟 3階　展開図（既存）	A-39	建具表１	M-14	換気 西棟1～4階トイレ平面詳細図（既存）		
A-15	西棟 4階　展開図（既存）	A-40	建具表２	M-15	換気 西棟1～4階トイレ平面詳細図（改修）		
A-16	西棟 1-4階　展開図（改修）	A-41	1階 段差解消 詳細図	M-16	換気 管理棟1・2階トイレ平面詳細図（既存）		
A-17	管理棟 1・2階 平面詳細図（既存）	A-42	部分詳細図	M-17	換気 管理棟1・2階トイレ平面詳細図（改修）		
A-18	管理棟 3・4階 平面詳細図（既存）	A-43	仮設計画図（参考）	M-18	換気 管理棟3・4階トイレ平面詳細図（既存）		
A-19	管理棟 1・2階 平面詳細図（改修）			M-19	換気 管理棟3・4階トイレ平面詳細図（改修）		
A-20	管理棟 3・4階 平面詳細図（改修）			M-20	換気 東棟1～4階トイレ平面詳細図（既存）		
A-21	管理棟 1階　展開図（既存）			M-21	換気 東棟1～4階トイレ平面詳細図（改修）		
A-22	管理棟 2階　展開図（既存）						
A-23	管理棟 3階　展開図（既存）						
A-24	管理棟 4階　展開図（既存）						
A-25	管理棟 2階　展開図（改修）						

(有)クラフトマン建築設計事務所

工事名	坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事

Ⅰ　工事概要

1．工事場所　埼玉県坂戸市大字塚越１１４番地の１

2．敷地面積

3．工事種目（建物概要）
・西棟　1～4階男女(湿式)トイレ→ 1～4階男女(乾式)トイレ
・管理棟　1～4階男女(湿式)トイレ→ 1階倉庫、2～4階男女(乾式)トイレ
・東棟　1～4階男女(湿式)トイレ→ 1階ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰﾄｲﾚ･みんなのトイレ(乾式)
2･3階男女(乾式)トイレ、4階倉庫

4．工事内容
1. 建築改修工事
2. 機械設備改修工事
3. 電気設備改修工事
4. その他上記に関連する工事

4．工事内容
1. 湿式トイレを乾式トイレに改修
2. 和式トイレを洋式トイレに改修
3. 内装、建具、トイレブース等の改修
4. 東棟1階トイレをバリアフリートイレとみんなのトイレに改修
5. 電灯・コンセント設備改修
6. 給排水衛生設備の更新、改修
7. 換気設備の更新、改修工事
8. 上記に関する改修

5．工　期

6．工事範囲
※「3．工事種目」すべてを工事範囲とする。

工事項目＼工事種目	建築改修工事			
2　仮設工事	○			
3　防水改修工事				
4　外壁改修工事				
-1　コンクリート打放し仕上げ外壁				
-2 モルタル塗り仕上げ外壁				
-3 タイル張り仕上げ外壁				
-4 塗り仕上げ外壁				
-5 外壁用塗膜防水塗り				
5　建具改修工事	○			
6　内装改修工事	○			
7　塗装改修工事	○			
8　耐震改修工事				
9　環境配慮改修工事	○			
10　鉄筋工事	○			
11　コンクリート工事	○			

Ⅱ　建築改修工事仕様

（1）質問回答書、本特記仕様書（改修）及び図面に記載されていない事項は、すべて「埼玉県建築工事特別共通仕様書」、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和７年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和７年版)」(以下、「標準仕様書」という。)による。
なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。
（2）改修標準仕様書及び標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等（条例を含む）と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。
（3）本特記仕様書の表記
1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2）特記事項は、(・)印の付いたものを適用する。　(・)印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
(・)印と (◎)印の付いた場合は、共に適用する。　(・)印と ※の場合は、(・)のみを適用する。
3）特記事項に記載の〔　.　.〕内の表示番号は、「埼玉県建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該図表を示す。
4）特記事項に記載の［　.　.］内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。
5）特記事項に記載の（　.　.）内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。
6）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、（　　）内は製品名を示す。
7）本工事において、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和5年2月24日変更閣議決定）」及び、「埼玉県グリーン調達・環境配慮契約推進方針（最新版）」による特定調達品目のうち、「判断の基準」を満たす環境物品等（以下「特定調達物品等」という）を選択するよう努めるものとする。
なお、[G] 印は設計図書で定めのある品目を示す。

章	項目	特記事項

1 一般共通事項

① 適用基準等
※埼玉県建築工事実務要覧に記載の要領等
※建築工事監理指針（国土交通省監修）（参考図書）
※建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修　令和４年版）
なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。

② 条件明示事項
保険の種類　[1.1.3]
※法定外の労災保険（工事に従事する者(全ての下請負人を含む)の業務上の負傷等を対象とするもの）
※建設工事保険等（工事目的物及び工事材料等を対象とするもの）
※請負業者賠償責任保険等　・
保険の期間　※工事完成期日後１４日を含む期間　・

③ 工事実績情報の登録
※行う（請負代金額500万円以上、10日以内に登録）　・行わない　[1.1.4][1.1.8]

4　適用区分
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
・風圧力　風速（V0=　m/s）　地表面粗度区分（・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ）
・積雪荷重　H12.5.31告示第1455号における区域　別表（　）
・大地震時の非構造部材の変形追従性能を確認する場合の層間変形角
・1/200　・1/150　・1/120　・　・図示（　）
確認箇所（　）

5　別契約の関連工事
※監督員指定の別契約工事を今回工事全体としてとらえ、主導的に調整する。[1.1.7]
・監督員指定の別契約工事が行う全体調整に全面的に協力する。

6　施工に注意を要する区域等
本工事場所は以下の区域等に指定等されているため、施工計画の作成及び施工に当たっては関係法令等の遵守に十分注意する。[1.1.12、13]
・周知の埋蔵文化財包蔵地　・史跡名勝天然記念物
・　・

⑦ 工事の記録
埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成し、監督員に提出する。[1.2.4][1.6.6]
埼玉県電子納品運用ガイドライン　※適用する（CD-R又はDVD-Rで１部提出）
・適用しない

8　電気保安技術者
適用する　[1.3.3][1.3.1]

9　施工条件
施工時間　[1.3.5]
※行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外とする。
ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。
・以下の期間を除いた現場閉所日数の割合が28.5%(8日/28日)以上であること。
年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみの期間、工事全体の一時中止期間
指定期間（　）
施工時間以外の施工条件
・図示による　・

⑩ 施工中の安全確保
本工事の受注者を、作業が同一の場所において行われることによって生じる労働災害を防止するために必要な措置を講ずべき者（統括安全衛生管理義務者）とする。[1.3.7]

⑪ 環境保全等
建設機械は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。　[1.3.11]

⑫ 発生材の処理等
引渡しを要するもの　[1.3.12][1.1.13]
※無し（全て構外搬出適正処理）　・有り（※図示　・　）
注 a）発生材のうち特記により、引き渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調書を添えて監督員に報告する。
b）産業廃棄物処理許可書及び最終処理受入票の原本を監督員に提示する。
c）引き渡しを要しないものは、すべて構外に搬出し、「資源の有効な利用の促進に関する法律」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という。）「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令等により適切に処理し監督員に報告する。

⑬ 県産品の使用
受注者は、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は埼玉県内に本店を有する者の中から選定するように努めるとともに、調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努める。[1.4.2]

⑭ 環境への配慮
建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。[1.4.1][1.4.3]
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-ｎ-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
④ ①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

⑮ 材料の品質等
※本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし製造業者等が指定されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。[1.4.2]
・設計図書等で示されているものを除き、材料・機材等の製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。
① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること
② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
③ 安定的な供給が可能であること
④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること
⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること
・製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ」(林野庁 H18.2.15)に準拠した証明書を監督員に提出する。

⑯ 石綿含有建材の調査
調査　[1.5.1]
※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。
貸与資料（アスベスト分析結果報告書）
・分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト

分析方法

材料名	定性分析方法 JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	定量分析方法 JIS A 1481-3または JIS A 1481-4
・	・　箇所	・　箇所
・	・　箇所	・　箇所
・	・　箇所	・　箇所

サンプル数　1箇所あたり3サンプル
採取箇所　・図示　・

17 技能士　[1.6.2][1.3.3]

工事種別	適用技能士	
仮設工事	・とび作業	
防水改修工事	・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業	・ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業
	・ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業	・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業
	・塩化ﾋﾞﾆﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業	・ﾓﾙﾀﾙ系防水工事作業
	・ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業	・FRP防水工事作業
	・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄﾄｰﾁ工法防水工事作業	
	・左官作業	・内外装板金作業
外壁改修工事	・左官作業	・タイル張り作業
	・建築塗装作業	・樹脂接着剤注入工事作業
建具改修工事	・ビル用サッシ工施工作業	・ガラス工事作業
	・自動ドア施工作業	・建築フィルム作業
内装改修工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業	・カーペット系床仕上工事
	・木質系床仕上げ工事作業	・鋼製下地工事作業
	・ボード仕上げ工事作業	・タイル張り作業
	・吹付け硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱工事作業	・保温保冷工事作業
	・壁装作業	・
塗装改修工事	・木工塗装作業	・建築塗装作業
耐震改修工事	・鉄筋組立て作業	・型枠工事作業
	・とび作業	・構造物鉄工作業
その他	・ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業	

18 化学物質の濃度測定　(1.5.9)[1.7.10]

対象化学物質	判定基準	備考
ホルムアルデヒト	100μg／m³（0.08ppm）以下	※厚生労働省が定める指針値、量単位の換算は２５℃
トルエン	260μg／m³（0.07ppm）以下	
キシレン	200μg／m³（0.05ppm）以下	
エチルベンゼン	370μg／m³（0.88ppm）以下	
スチレン	220μg／m³（0.05ppm）以下	
パラジクロロベンゼン	240μg／m³（0.04ppm）以下	

測定方法
採取及び分析は、法令に基づき空気中の物質の濃度に係る証明を行う者が行う。
①検体の採取方法　※吸引方式(アクティブ法)又は拡散方式(パッシブ法)
・吸引方式(アクティブ法)　・拡散方式(パッシブ法)
②アクティブ法
ホルムアルデヒドは、ジニトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着／溶媒抽出法によって採取し、高速液体クロマトグラフ法（以下ＨＰＬＣ）により行う。
トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、固相吸着／溶媒抽出法、固相吸着／加熱脱着法、容器採取法のいずれかを用いて採取し、ガスクロマトグラフ／質量分析法（以下ＧＣ／ＭＳ）により行う。
③パッシブ法
ホルムアルデヒドは、パッシブ採取機器により採取し、ＨＰＬＣ又はガスクロマトグラフ法（以下ＧＣ）あるいはＡＨＭＴ－吸光光度法のうち採取機器に適応した分析法による。
トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、パッシブ採取機器により採取ＬＧＣまたはＧＣ／ＭＳのうち採取機器に適応した分析法による。
測定対象室　・監督員の指定する室（　室）　・図示
測定箇所数　※（　）　・図示
測定時期　※工事着手前及び完了後
報告書　※２部　・

⑲ 中間検査
中間検査　※行う（坂戸市工事検査実施要領第５条）・行わない　[1.7.5]

⑳ 完成図等
監督員の指示により埼玉県建築工事監督要綱別表第１に示す書類を原則電子データで提出する。[1.8.1～3][1.6.1～3]
製本サイズ：A2判を二つ折りA3判製本　部数：2部
完成図等の種類及び記入内容
完成図（※監督員が指定した設計図面に完成時の状態を表現したもの）

図面情報電子化媒体　※CD-R又はDVD-R、１部
CADデータの形式　・SXF(sfc)　・DXF　※JWW　左記及び、PDF
（埼玉県建築工事図面情報電子化媒体作成要領による。CADﾃﾞｰﾀのﾊﾞｰｼﾞｮﾝは監督員と協議する）
保全に関する資料　※１部　・　部（通常取扱いに注意を要するものの使用方法を解説する）
完成写真（埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成する）
埼玉県電子納品運用ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ　※適用する(CD-RｘはDVD-Rで1部提出)　・適用しない
撮影箇所　着工時と完成時の状況を比較できるように撮影する
・埼玉県建築工事写真作成要領別表５
原本及びアルバムを各1部提出
原本(電子媒体：撮影時のJPEG)及びアルバム(紙媒体又は電子媒体)を各1部提出
パネル入り（外部全景）完成写真　・要　・不要
施設CADデータ　・更新して提出　・更新しない

21 保証書
防水工事　※屋上防水　・外壁防水　・金属屋根　[1.6.4]
建物引渡し日から10年間、受注者、施工者、材料ﾒｰｶｰの3者連名とし2部提出する。
上記以外　・１部提出

22 その他
・予備材料　※監督員の指示による　・
・下請契約　※全体及び県内に分け、契約数及び契約金額の総計を提出する。

2 仮設工事

1　騒音・粉じん等の対策
・防音パネル　・防音シート　[2.1.3]
防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲　※図示　・

② 足場等
[2.2.1][表2.2.1]
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり握重き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

外部足場　(○)設置する（設置範囲　※図示　・　）・設置しない
防護シート　(○)設置する（設置範囲　※図示　・　）・設置しない
内部足場　(○)設置する（※脚立、足場板等　・　）・設置しない
材料、撤去材等の運搬方法
種別（・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　(○)Ｄ種　・Ｅ種）
Ｃ種：利用可能なエレベーター（・図示　・　）
Ｄ種：利用可能な階段　（※図示　・　）

墜落制止用器具の使用は、「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」(厚生労働省 H30.6.22)による。
・フルハーネス型墜落制止用器具を用いる。

幅が1メートル以上の箇所において足場を使用するときは、原則として本足場を使用する（労働安全衛生規則第561条の2）

③ 既存部分の養生
[2.3.1]
既存部分　養生の方法（※ビニルシート、合板等　・　）
既存家具、既存設備等　養生の方法（※ビニルシート等　・　）
既存ブラインド、カーテン等
養生の方法（・ビニルシート等　・　）
保管場所（・図示　・　）
固定された備品、机、ロッカー等の移動　・図示　・

既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

④ 仮設間仕切り
仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所　(○)図示　・　[2.3.2][表2.3.1]
仮設間仕切りの種別と材質等

種別	下地	仕上げ（厚さ㎜）	塗装	充填材
・Ａ種	・木	(○)せっこうボード（9.5mm）	(○)無し	※有り
(○)Ｂ種	(○)軽量鉄骨	種類（　）※合板（9.0mm以上）	・片面	
		材種（　）		
※Ｃ種	単管	防炎シート		

充填材：グラスウール32k（厚：50mm以上）

仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	設置箇所	充填材
※木製	※合板張り程度	(○)無し	※図示　・　か所	・有り
・	・	・片面		(○)無し

充填材：グラスウール32k（厚：50mm以上）

5　監督員事務所
規模　・既存建物内の一部を使用　[2.4.1]
・構内に新設　㎡
※設置しない
備品（　名分相当）
・机　・椅子　・書棚　・黒板　・掛時計　・寒暖計　・長靴　・雨合羽
・保護帽　・懐中電灯　・墜落制止用器具　・軍手　・衣類ロッカー
・冷暖房機器　・消火器　・湯沸器　・茶器　・掃除用具　・電話機
・ＦＡＸ　・電子メール通信機器　・スキャナー　・プリンター

6　現場表示板
※設置する（[1.1.12]による表示　・要　・不要）　・設置しない　[2.4.1][1.1.12]

⑦ 工事用水
構内既存の施設　※利用できない　(○)利用できる（※有償　・無償）

⑧ 工事用電力
構内既存の施設　※利用できない　(○)利用できる（※有償　・無償）

⑨ 工事用搬入路
※図示　・

⑩ 仮囲い
・設置位置等は監督員の指示による　※図示

⑪ 交通誘導員
必要に応じ搬入路付近に交通誘導員を配置する。
配置箇所　・監督員の指示による　※図示

12 快適トイレ
仕様　※図示　・

3 防水改修工事

1～8　省略

⑨ シーリング
シーリング改修工法の種類　[3.1.4][3.7.2、3、7、8]
・シーリング充填工法
・シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
ボンドブレーカー張り　・適用する　・適用しない
エッジング材張り　・適用する　・適用しない
シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
天板周囲、化粧ケイカル板目地	変成シリコンシーリング
マーブライトカウンター周囲	シリコンシーリング

仕上げを行わない施工箇所
・図示による　・

シーリング材の目地寸法
※改修標準仕様書3.7.3(1)による
・図示による　・
接着性試験
※簡易接着性試験　・引張接着性試験

注　練り混ぜた２成分形シーリング材は、１組の作業班が１日に行った施工箇所を１ロットとして、各ロットごとにサンプリングを行い、サンプリング試料を監督員に提出すること。

10～12　省略

4 外壁改修工事

4　外壁改修工事　省略

CRAFTMAN　ARCHITECTS　&　ASSOCIATES
有限会社　クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号　一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE	坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事	DATE
DRAWN BY	DRW NAME	特記仕様書（改修その１）	SCALE A2 NS　A3 NS
			SHEET NO A-01

5 建具改修工事

①改修工法 [5.1.3]

建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
・ｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具	・	・	・建具表による ・
・樹脂製建具	―	・	・建具表による ・
⊙鋼製建具 ・外部	・	・	・建具表による ・
⊙内部	・	・	⊙建具表による ・
⊙鋼製軽量建具	・	・	⊙建具表による ・
・ステンレス製建具	・	・	・建具表による ・
⊙木製建具	・	・	⊙建具表による ・

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方　※図示 ・
新規建具周囲の補修工法及び範囲　※図示 ・
建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

2 防火戸 [5.1.4]

適用箇所　※建具表による ・
防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
・行う（※建具表による ・　）・行わない

3 見本の製作等 [5.1.5]

建具見本の製作　・行う（建具符号：　）・行わない
建具見本製作の目的等：（　）
特殊な建具の仮組　・行う（建具符号：　）・行わない

4 防犯建物部品 [5.1.7]

適用箇所（・建具表による ・　）

5 アルミニウム製建具

性能値等 [5.2.2～5][表5.2.1、2]
耐風圧性の等級（　）（適用する建具　※建具表による）
気密性の等級　（　）（適用する建具　※建具表による）
水密性の等級　（　）（適用する建具　※建具表による）
外部に面する建具の種別

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	A-3	W-4	・70	※図示による
・B種	S-5			・100	※図示による
・C種	S-6	A-4	W-5	・	※図示による

防音ドア、防音サッシ
遮音性の等級（　）（適用する建具　※建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ G
断熱性の等級（　）（適用する建具　※建具表による）
材料
ステンレス鋼板　※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI ・
ステンレス製のくつずりの仕上げ　※ＨＬ ・
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具　種別　・BB-1種　・BB-2種 ・
着色　・標準色　・特注色
屋内の建具　種別　・BC-1種　・BC-2種 ・
着色　・標準色　・特注色
結露水の処理方法　・水貯め式　・排水式
工法
水切り板、ぜん板等　※図示 ・

6 網戸等 [5.2.3][5.3.3]

種類	材種	線径	網目
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

7 樹脂製建具

性能値等 [5.2.2][5.3.2～5]
耐風圧性の等級（　）（適用する建具　※建具表による）
気密性の等級　（　）（適用する建具　※建具表による）
水密性の等級　（　）（適用する建具　※建具表による）
外部に面する建具の種別

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	A-4	W-4	・	※図示による
・B種	S-5			・	※図示による
・C種	S-6		W-5	・	※図示による

防音ドア、防音サッシ
遮音性の等級　・T-1　・T-2（適用する建具　※建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ G
断熱性の等級　・H-4　・H-5　・H-6　・H-7　・H-8
（適用する建具　※建具表による）
外部に面する建具の日射熱取得性の等級　・
枠の見込み寸法　※建具表による
材料
ガラス　※複層ガラス ・
ステンレス製のくつずりの仕上げ　※ＨＬ ・
形状及び仕上げ
表面色　・標準色　・特注色
工法
水切り板、ぜん板　※図示 ・

⑧鋼製建具

性能値等 [5.2.2][5.4.2、4][表5.4.2]
簡易気密型ドアセット
・適用する（※建具表による ・　）・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（　）（適用する建具　※建具表による）
防音ドア、防音サッシ
遮音性の等級　（　）（適用する建具　※建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ G
断熱性の等級　（　）（適用する建具　※建具表による）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（・D-1:1/300　・D-2:1/120　・D-3:1/100　）
（適用する建具　※建具表による）
材料
ステンレス鋼板　※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI　⊙亜鉛めっき鋼板
ステンレス製のくつずりの仕上げ　※ＨＬ ・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
大型建具(1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超えるもの)
※建具表による ・
上記以外の鋼製建具　※[表5.4.2]による ・建具表による ・
標準型鋼製建具の形式及び寸法　※建具表による ・

⑨鋼製軽量建具

性能値等 [5.2.2][5.5.2～4]
簡易気密型ドアセット
・適用する（※建具表による ・　）・適用しない
防音ドア、防音サッシ
遮音性の等級　（　）（適用する建具　※建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ G
断熱性の等級　（　）（適用する建具　※建具表による）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（・D-1:1/300　・D-2:1/120　・D-3:1/100　）
（適用する建具　※建具表による）
材料
鋼板　⊙亜鉛めっき鋼板　・ﾋﾞﾆｰﾙ被膜鋼板　・ｶﾗｰ鋼板　・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板
ステンレス鋼板　※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI ・
ステンレス製のくつずりの仕上げ　※ＨＬ ・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
大型建具(1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超えるもの)
※建具表による ・
上記以外の鋼製軽量建具　※[表5.5.1]による ・建具表による ・
標準型鋼製建具の形式及び寸法　※建具表による ・

10 ステンレス製建具

性能値等 [5.2.2][5.4.2][5.6.2～5]
簡易気密型ドアセット
・適用する（※建具表による ・　）・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（　）（適用する建具　※建具表による）
防音ドア、防音サッシ
遮音性の等級（　）（適用する建具　※建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ G
断熱性の等級（　）（適用する建具　※建具表による）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（・D-1:1/300　・D-2:1/120　・D-3:1/100　）
（適用する建具　※建具表による）
材料
ステンレス鋼板　※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI ・
ステンレス製のくつずりの仕上げ　※ＨＬ ・
形状及び仕上げ
表面仕上げ　※ＨＬ　・鏡面仕上げ ・
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ

⑪木製建具

建具材の加工、組立時の含水率　※Ａ種 ・ [5.7.2～4]
建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

⊙フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等
※改修標準仕様書5.7.2(2)(ｲ)(a)による ・

表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板 G	表面の樹種 ・ 板面の品質（※広葉樹1等 ・　） 接着の程度（・１類 ・２類）	
・天然木化粧合板 G	樹種名（　） 接着の程度（・１類 ・２類）	
⊙特殊加工化粧合板 G	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ⊙メラミン化粧合板 ・ 接着の程度（⊙１類 ・２類）	
・MDF G		

表面板の厚さ　※[表5.7.6]による ・
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用
・適用しない　・適用する

・かまち戸
かまち樹種（　）　鏡板樹種（　）
見込み寸法　※36mm　・建具表による ・

・ふすま
張りの種別（・Ⅰ型　・Ⅱ型）
上張り（押入等の裏側以外）　・鳥の子　・新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ　・塗り縁　・生地縁（素地）　・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法　※19.5mm　・建具表による ・

・戸ぶすま
表面板の仕上　・建具表による ・
見込み寸法　※30mm　・建具表による ・

・紙張り障子
見込み寸法　※30mm　・建具表による ・

枠及びくつずりの材料　・建具表による ・

⑫建具用金物

金物の種類及び見え掛り部の材質等 [5.8.1～3]
※[表5.8.1]及び適用は建具表による ・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※[表5.8.2]による　・建具表による ・
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※[表5.8.3]による　・建具表による ・
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※[表5.8.4]による　・建具表による ・
木製建具に使用する戸車及びレール
※[表5.8.5]による　・建具表による ・
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付位置
※建具表による　・図示 ・
錠前類
シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠
クローザ類

⑬鍵

マスターキー　・製作する(・新規　・既存マスター合わせ)　・製作しない [5.8.4]
その他の鍵　※各室３本１組（室名札付き） ・
鍵箱　⊙無　・有

14 自動ドア開閉装置

戸の開閉方式 [5.9.2、3]
・建具表による ・
・引き戸用駆動装置
性能値
※改修標準仕様書表5.9.1による（防錆　・適用する　・適用しない）
・種類・開閉方式（　）・耐電圧（　）
・温度上昇（　）・耐久性(サイクル)（　）
・防錆（　）・電源（　）
・車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置
性能値
※改修標準仕様書表5.9.2による（防錆　・適用する　・適用しない）
・耐電圧（　）・温度上昇（　）
・耐久性(サイクル)（　）・防錆（　）
・電源（　）
・引き戸用検出装置
性能値
※改修標準仕様書表5.9.3による（防錆　・適用する　・適用しない）
・耐電圧（　）・防錆（　）
・防滴（　）・電源（　）
引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目　・建具表による ・
タッチスイッチの種類
・無線式タッチスイッチ　・光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便房スイッチの種類
・大形押しボタンスイッチ　・非接触スイッチ
凍結防止措置　・行う　・行わない

15 自開式上吊り引戸装置

性能　※[表5.10.1]による ・ [5.10.3]

16 重量シャッター

シャッターの種類 [5.11.2、3]
・管理用シャッター
・外壁用防火シャッター
・屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（　）Pa
開閉方式の種類　※電動式（手動併用）　・手動式
安全装置
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置
（設置箇所　・建具表による ・　）
電動式シャッターの障害物感知装置
（設置箇所　・建具表による ・　）
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置
（設置箇所　・建具表による ・　）
管理用シャッターのシャッターケース　・設ける　・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板の材質
種類　・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量　※Z12又はF12 ・
ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いる
スイッチボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板　※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI

17 軽量シャッター

開閉形式の種類　・電動式（手動併用）　※手動式 [5.12.2～4]
耐風圧強度（　）Pa
安全装置
電動シャッターの障害物感知装置　（設置箇所　・建具表による ・　）
スラットの材質の種類
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量（※Z06又はF06 ・　）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量（※AZ90 ・　）
スラットの形状　・インターロッキング形　・オーバーラッピング形

18 オーバーヘッドドア [5.13.2、3]

セクション材料による区分	風圧力による強さの区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置
（設置箇所　・建具表による ・　）

⑲ガラス [3.7][5.14.2～4]

適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。

・フロート板ガラス	
フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類	※建具表による ・
・型板ガラス	
型板ガラスの厚さによる種類	※建具表による ・
・網入板ガラス	
網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類	※建具表による ・
・合わせガラス	
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ	※建具表による ・
形状による種類	・平面合わせｶﾞﾗｽ・曲面合わせｶﾞﾗｽ
落球衝撃はく離特性及び ショットバック衝撃特性による種類	・Ⅰ類　・Ⅱ-1類　・Ⅱ-2類　・Ⅲ類
⊙強化ガラス	
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称	※建具表による ・
破片の状態及び ショットバック衝撃特性による種類	・Ⅰ類　⊙Ⅲ類
・熱線吸収板ガラス	
板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による ・
性能による種類	・１種　・２種
・複層ガラス	
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ	※建具表による ・
断熱性による区分	・T1　・T2　・T3　・T4　・T5　・T6
日射取得性及び日射遮蔽性による区分	・G　・S
乾燥気体の種類	・空気　・アルゴン
・熱線反射ガラス	
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による ・
日射熱遮へい性による区分	・１種　・２種　・３種
耐久性による区分 （日射熱遮へい性が２種の場合）	・A種　・B種
・倍強度ガラス	
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による ・

・ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	・シーリング材 ・グレイジングチャンネル ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による
ステンレス製	・シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による
樹脂製	・グレイジングチャンネル ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による

20 ガラスブロック [5.14.5]

呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調	目地幅(mm)	伸縮調整目地位置(mm)	防火性能
・160×160	・95 ・				
・200×200	・95 ・				

壁用金属枠及び補強材の材質及び形状　※図示 ・
力骨　材質　※ステンレス鋼(SUS304)　・
寸法　※径5.5mm　・
形状　※はしご形状複筋及び単筋　・
化粧目地モルタルの色　・白　・グレー
シーリングの種類　・SR-1　・PS-1
金属製化粧カバー　材質　・ステンレス製　・アルミニウム製
寸法　※図示　・
形状　※図示　・
目地部の横力骨の納まり　※ガラスブロック製造所の仕様による　・図示

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

21 ガラス用フィルム

※施工箇所は建具表による

種類	記号 内貼り用	記号 外貼り用	その他性能等
・日射調整フィルム G	※SC-1	・SC-2	可視光線透過率：65%以上
・低放射フィルム	・LE		
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GI-1	・GI-2	
・層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GD-1	・GD-2	
・ガラス貫通防止フィルム	・SF		

品質　JIS A 5759 による

熱割れ計算書　※要　・不要
第3者機関による性能測定データ　※要　・不要

6 内装改修工事

①改修範囲 [6.1.3]

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　⊙図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
※壁面より周側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　⊙図示
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま　⊙図示

②既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2]

ビニル床シート等の除去　※仕上げ材のみ（接着剤とも）
・下地モルタルとも（・図示の範囲　・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法　⊙機械的除去工法　・目荒し工法
コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「４章 外壁改修工事」による。
改修後の床の清掃範囲　※改修箇所の室内 ・

③既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2]

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※[4.3.10]によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処置　※図示）
・図示 ・

④施工一般 [6.5.2]

材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(ｳ)(b)による

⑤製材 G

・JAS 1083-5　製材 - 第5部に基づく下地用製材 [6.5.2]

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※2級 ・	※A種　・B種 ・		・
		※2級 ・	※A種　・B種 ・		・

・JAS 1083-2　製材 - 第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面	図示	※上小節 ・	※A種　・B種 ・		・
見え掛り面以外		※小節以上 ・	※A種　・B種 ・		・
			※A種　・B種 ・		・

・JAS 1083-6　製材 - 第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※1等 ・	※10%以下 ・A種・B種・		・
		※1等 ・	※10%以下 ・A種・B種・		・

・JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		（　） 造作材の場合 （※A種・B種）	※A種 ・B種 ・	・する ・しない	・
		（　） 造作材の場合 （※A種・B種）	※A種 ・B種 ・	・する ・しない	・

6 造作用集成材 G

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 [6.5.2]

施工箇所	品名	樹種名	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※１等　・２等	・
					※１等　・２等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	化粧薄板の樹種名	芯材の樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
							※１等 ・２等	・
							※１等 ・２等	・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下 ・	・
				※15%以下 ・	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※15%以下 ・	・
						※15%以下 ・	・

7 造作用単板積層材 G

・JAS 0701に基づく造作用単板積層材 [6.5.2]

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用
				・する ・しない	・

・JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用
			※14%以下 ・	・する ・しない	・
			※14%以下 ・	・する ・しない	・

・JAS 3079に基づく直交集成板

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用
							・
							・

CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES
有限会社 クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号　一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE	DATE
	坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事	
DRAWN BY	DRW NAME	SCALE A2 NS A3 NS
	特記仕様書（改修その２）	SHEET NO A-02

⑧合板等

・「合板の日本農林規格」による普通合板 G [6.5.2]

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	※5.5 ・		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	・適用する ・適用しない	・

⊙「合板の日本農林規格」による構造用合板 G

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ(mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
耐水合板	※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※C-D以上 ・	※12 ・	・適用する ・適用しない	・適用する （　）	・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			・特類 ・１類	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 G

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理の適用
			・1類 ・2類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない

・パーティクルボード G

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)
		※13タイプ ・	※PFは M ・		※15 ・

・JAS 0360 に基づく構造用パネル

施工箇所	寸法（mm）

・ＭＤＦ G

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

9 接合具等

造作材の化粧面の釘打ち [6.5.3]
※隠し釘打ち　・釘頭埋め木　・つぶし頭釘打ち　・釘頭現し
諸金物
※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
（改修標準仕様書表6.5.3～5に示す程度の市販品　表8.20.1のF種程度）
・　（形状：　寸法：　材質：　）

⑩接着剤

接着剤のホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・ [6.5.3、4]

11 防腐･防蟻処理

・薬剤の加圧注入による防腐、防蟻処理 [6.5.5]

適用部材	保存処理性能区分
	・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４

・薬剤の塗布等による防腐、防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※薬剤の製造所の仕様による ・	※JIS K 1571に適合又は同等品

・薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理
適用部位（　）
・合板等の加圧注入処理等の適用
適用部位（　）

12 内部開仕切軸組及び床組み

間仕切軸組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) [6.5.6]
※杉又は松　・
床組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※杉又は松　・

13 窓、出入口その他

窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) [6.5.7]
吊元枠、水掛りの下枠及び敷居　※ひのき　・
その他　※松又は杉

⑭軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類　屋外（※25形　・19形）　屋内（※19形　・25形） [6.6.2～4]
屋外の形式及び寸法
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔　・図示　・
周辺部の端からの間隔　・図示　・
野縁の間隔　・図示　・
既存の埋込みインサート　・使用する　※使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験
・行う
試験箇所数　※屋内の場合、当該階において3箇所　・（　）箇所
引張試験にて確認する強度
※つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/㎡以内の天井の場合は400N程度
・（　）N
※行わない

・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法　・図示　・
・天井のふところが3.0mを超える場合の補強方法　・図示　・
・天井下地材における耐震性を考慮した補強　補強箇所　・図示　・
補強方法　・図示　・

⑮軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類 [6.7.3、4][表6.7.1]
※[表6.7.1]により「スタッドの高さによる区分」に応じた種類　・図示　・
スタッドの高さが5mを超える場合　※図示　・
出入口及びこれに準じる開口部の補強　※[6.7.4](5)による　・

⑯ビニル床シート G

[6.8.2、3]

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考
※FS(複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ) ・	・無地 ⊙ﾏｰﾌﾞﾙ柄 ・柄物	※2.0 ・	ノンワックス 消臭　抗菌

接合部の処理　※熱溶接工法　・

⑰ビニル床タイル G

[6.8.2]

種類の記号	色柄	寸法（mm）	厚さ（mm）	備考
※KT(ｺﾝﾎﾟｼｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ⊙柄物	⊙300×300 ・450×450 ・	※2.0 ・3.0	
・TT(単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・	
・FT(複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・2.5 ・3.0	
・FOA(置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・500×500 ・	・4.0 ・	
・FOB(薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・ ・	・ ・	

18 特殊機能床材

・帯電防止床シート [6.8.2]
種類（　）　性能（　）　厚さ(mm)（　）
・帯電防止床タイル
種類（　）　性能（　）　寸法(mm)（　×　）　厚さ(mm)（　）
・視覚障害者用床タイル
視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。
種類（　）　形状（　）
・耐動荷重性床シート
種類（　）　厚さ(mm)（　）
・防滑性床シート
種類（　）　厚さ(mm)（　）
・防滑性床タイル
種類（　）　寸法(mm)（　×　）　厚さ(mm)（　）

⑲ビニル幅木

材質の種類　⊙軟質　・硬質　・床シート巻上げ(端部の処理は図示による) [6.8.2]
高さ(mm)　※60　・75　・100
厚さ(mm)　※1.5以上　・

20 ゴム床タイル

種類　・単層品　・積層品 [6.8.2]
色柄（　）
厚さ(mm)・3.0　・4.5　・6.0　・9.0
寸法(mm)（　）×（　）

21 カーペット敷き G

・織じゅうたん [6.9.2、3][表6.9.1]

織り方	パイル形状
・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットパイル ・ループパイル ・カット/ループパイル

色柄　※模様のない無地　・
パイル糸の繊維種等　※無地の織りじゅうたんの種別（・A種　・B種　・C種）
帯電性　・適用する　・適用しない
織じゅうたんの接合方法　※ヒートボンド工法　・つづり縫い
下敷き材　※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm　・

・タフテッドカーペット

パイル形状	ﾊﾟｲﾙ長さ（mm）	工法	帯電性	備考
・カットパイル	・5～7　・	・全面接着工法 ・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法	・適用する ・適用しない	
・ループパイル	・4～6　・			
・カット、ループ併用				

下敷き材(グリッパー工法の場合)
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm　・
タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

・タイルカーペット

パイル形状	種　別	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備考
※ループパイル	※第一種 ・第二種		※500× 500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500× 500 ・	※6.5 ・	
・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用	・第一種 ・第二種		※500× 500 ・	※6.5 ・	

タイルカーペットの敷き方　平場　※市松敷き　・模様流し　・
階段部分　※模様流し　・市松敷き　・
見切り、押え金物
材質（　）種類（　）形状等（※図示　・　）

22 合成樹脂塗床

[6.10.2、3]

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 (弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床)			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 (ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床)		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材 (ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床)			※平滑仕上げ
・ｱｸﾘﾙ樹脂塗床 (防塵塗料塗り)		※製造所の指定による	表面仕上げ　※平滑 溶剤　※水性

塗床材のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

23 フローリング張り G

フローリングのホルムアルデヒドの放散量等 [6.11.2～6]
※改修標準仕様書6.11.2.(2)による　・
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・
単層フローリング（フローリングボード１等）
工法　・釘止め工法（・根太張り　・直張り）　・接着工法
樹種　※なら　・
間伐材等の適用　・する　・しない
単層フローリング（フローリングブロック１等）
樹種　・　・
厚さ(mm)　・　・
大きさ　・　・
間伐材等の適用　・する　・しない
複合フローリング
工法　・釘止め工法（・根太張り　・直張り）　・接着工法
樹種　※なら　・
種別　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種
間伐材等の適用　・する　・しない
接着工法の場合の不陸調和材　※合成樹脂発泡シート　・
・現場塗装仕上げ　※ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り

24 畳敷き

[6.12.2]
種別　・A種　・B種　・C種　・D種（畳床：・KT-Ⅰ　・KT-Ⅱ　・KT-Ⅲ　・KT-K　・KT-N）
下地の種類　・標準仕様書 表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン G）
・
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
衝撃緩和型畳（畳表：　・Ｃ１　・Ｃ２　）

㉕せっこうボード その他のボード張り

ＭＤＦ及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 [6.13.2、3]
※Ｆ☆☆☆☆　・
合板ののホルムアルデヒド放散量
※改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)～(d)のいずれか　・
接着剤のホルムアルデヒド放散量　※Ｆ☆☆☆☆　・

木質系セメント板G

種　類	厚さ(mm)、規格等
・硬質(HW)	・15　・20　・25　・
・中質(MW)	・15　・20　・25　・
・普通(NW)	・15　・20　・25　・

木片セメント板G

種　類	厚さ(mm)、規格等
・硬質(HF)	・12　・15　・18　・21　・
・普通(NF)	・30　・

繊維強化セメント板

種　類	厚さ(mm)、規格等
・けい酸カルシウム板	普通ボード0.8FK タイプ２(無石綿)　・６　・８
⊙・化粧けい酸カルシウム板	普通ボード0.8FK タイプ２(無石綿) ⊙６　・８ 表面への化粧張り等の加工　⊙アクリル樹脂系焼付け

火山性ガラス質複層板

種　類	厚さ(mm)、規格等
・火山性ガラス質複層板	・図示による

繊維板

種　類	厚さ(mm)、規格等
ハードボード（素地） スタンダードボード（無処理）	・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(未研磨板(RN)・研磨板(RS)) ・内装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(DI) 厚さ　・２.５　・３.５　・５　・７
テンパードボード（処理）	・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(未研磨板(RN)・研磨板(RS)) ・外装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(DE) 厚さ　・２.５　・３.５　・５　・７
・ミディアムデンシティ ファイバーボード(MDF)G	厚さ　・３　・７　・９　・12
・インシュレーションボードG	A級（・天井仕上げ　・内装仕上げ　・　） ・９　・12　・15　・18

パーティクルボードG

種　類	厚さ(mm)、規格等
・単板張りパーティクルボード	・無研磨板（VN）　・研磨板（VS） ・10　・12　・15　・18
・化粧パーティクルボード	・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ(DV) ・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ(DO) ・塗装(DC) ・10（難燃）・12（難燃）・

吸音材料

種　類	厚さ(mm)、規格等
・ロックウール化粧吸音板(DR)	・フラットタイプ （・９(不燃)　・12(不燃)　・　） ・凹凸タイプ （・12(不燃)　・15(不燃)　・　）
・ロックウール吸音ﾎﾞｰﾄﾞ1号	・25　・
・グラスウール吸音ﾎﾞｰﾄﾞ32K	・25(ガラスクロス包)　・

せっこうボード製品

種　類	厚さ(mm)、規格等
・せっこうボード(GB-R)	・12.5（不燃）　・15（不燃）
・不燃積層せっこうボード(GB-NC)	9.5（不燃）・化粧無（下地張り用） ・化粧有（トラバーチン模様）
⊙シージングせっこうボード(GB-S)	12.5　（※ 不燃　・準不燃）
・強化せっこうボード(GB-F)	・12.5　（不燃）　・15　（不燃）
・せっこうラスボード(GB-L)	9.5
⊙化粧せっこうボード（GB-D）	・木目12.5　（不燃）幅 440mm 程度 模様（・ 柾目　・ 板目）　専用下地材有り ⊙ﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様　9.5（準不燃）

合板G

種　類	厚さ(mm)、規格等
・普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り（※ラワン合板程度　・　） 不透明塗料塗り（※しな合板程度　・　） 板面の品質　・ 厚さ(mm)　※図示による　・ 防虫処理　・行う　・行わない
・天然木化粧合板	化粧板の樹種名　・ 厚さ(mm)　※図示による　・ 防虫処理　・行う　・行わない
・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法　・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ（・ﾌﾟﾘﾝﾄ・塗装 表面性能　・　（タイプ） 厚さ(mm)　※図示による　・ 防虫処理　・行う　・行わない

化粧板

⊙・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による　（※ 1.2　・　）
・ポリエステル樹脂化粧板	

天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合　※図示による
合板類の張付け　・A種　・B種　・
せっこうボードの目地工法等
目地工法の種類　※図示（平目地）による

突付け工法及び目透し工法のエッジの種類

突付け工法のエッジの種類	・ベベルエッジ　⊙スクェアエッジ
目透かし工法のエッジの種類	・ベベルエッジ　・スクェアエッジ

化粧加工の方法（・オーバーレイ　・プリント　・塗装　・　）

26 壁紙張り

壁紙のホルムアルデヒド放散量　※Ｆ☆☆☆☆　・ [6.14.2、3]

施工箇所	壁紙の種類						防火種別	備考
	紙	織物	塩ﾋﾞﾆﾙ	ﾌﾗｼﾞｽﾃｯﾌﾟ	無機質	その他		
	・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	

モルタル及びせっこうプラスター面の素地ごしらえの種別　※B種　・A種
コンクリート面の素地ごしらえの種別　※B種　・A種
せっこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえの種別　※B種　・A種

㉗モルタル塗り

モルタル　・現場調合材料　⊙既調合材料 [6.15.3、5、6]
既製目地材　・設ける　施工箇所（　）形状（※図示　・　）
・設けない
床目地　・設ける　目地割り　※2㎡程度(最大目地間隔3m程度)　・
種類　※押し目地　・
・設けない
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理　・図示による　・

28 タイル張り

伸縮調整目地の位置 [6.16.2～4]
床タイル　（※縦、横とも４ｍ以内ごと　・図示　・　）
床タイル以外　（・図示　・　）

伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改特記仕様書第３章による
試験張り　・行う（範囲、仕様等は図示による）　・行わない
見本焼き　・行う（施工箇所：　）　・行わない
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り

タイルの形状・寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用 G	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色			耐凍害性		耐滑り性	備考
			・	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注		有	無		
				・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
				・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
				・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
既調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
既調合目地材

壁タイル張りの工法
内装タイル　・密着張り　・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り

・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状・寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用 G	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色			耐凍害性		耐滑り性	備考
			・	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注		有	無		
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量　※Ｆ☆☆☆☆　・

29 セルフレベリング材塗り

塗厚(mm)　・ [6.17.2、3]

30 フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構　法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重(N)	表面仕上げ材	備　考
	・置敷式 ・支柱 調整式	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3,000 ・5,000	・帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	
	・置敷式 ・支柱 調整式	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3,000 ・5,000	・帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	

フリーアクセスフロアスフロアの試験方法
※標準仕様書20.2.2(2)(イ)(a)～(d)による　・
寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2)(ｵ)(a)～(c)による　・
・以下による
パネルの長さの寸法精度（　）
パネルの平面形状（角度）の寸法精度（　）
フリーアクセスフロアの高さの寸法精度（　）
帯電防止性能
・評価値（U）≧0.6以上
・評価値（U）≧1.2以上
感電防止性能
漏えい抵抗（R）≧1×10^{6} Ω

31 可動間仕切

パネル材料のホルムアルデヒド放出量　※F☆☆☆☆　・ (20.2.3)

構造形式	構成基材の種類		パネル表面仕上げ	遮音性(dB/500HZ)	防火性能
	ｽﾀｯﾄﾞ	パネル			
・ｽﾀｯﾄﾞ式（内蔵） ・ｽﾀｯﾄﾞ式（露出） ・パネル式 ・スタッドパネル式			・メラミン樹脂焼付又は アクリル樹脂焼付 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃

パネル内に取付ける建具　・あり（※図示　・　）　・なし
パネル内に取付ける建具のドアクローザ、丁番、錠前、上げ落しは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。

32 移動間仕切

パネル材料のホルムアルデヒド放射量　※F☆☆☆☆　・ (20.2.4)

構造形式	操作方法	圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材		遮音性(dB/500Hz)
				材質	仕上げ	
・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・ブッシュ式 ・ハンドル式 ・		・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ・36以上

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は、標準仕様書19章による。
遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする。
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け金重量の５倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。
・図示
パネルをランナーに取り付ける部品
※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
ハンガーレール及びランナー
※パネル重量の5倍の荷重を、パネル１枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの

33 トイレブース

パネル材料のホルムアルデヒド放射量　※F☆☆☆☆　・ (20.2.5)

表面材の種類	脚部種類	ドアエッジの材質	ドアエッジの形状
⊙メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・	・製造所の標準仕様 ※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材	・標準 ⊙Rタイプ

34 手すり

材料の種類及び仕上げ (20.2.6)
⊙SUS304　表面処理　※HL程度　・
・鋼製　表面処理　溶融亜鉛めっき（※標準仕様書 表14.2.2による種別（　種））
・アルミニウム 表面処理（※標準仕様書 表14.2.1による種別（　種））
色合等　・標準色（　）　・特注色（　）
手すりの握り部分

材種	表面仕上げ	直径(mm)		取付箇所	備考
・集成材(材種：　)	・ｸﾘｱﾗｯｶｰ　・	・30程度・35程度	・45程度		
・ﾋﾞﾆﾙ製ﾊﾝﾄﾞﾚｰﾙ	・	・30程度・35程度	・45程度		
⊙樹脂被膜ﾀｲﾌﾟ	・	⊙34φ			

CRAFT MAN
CRAFTMAN　ARCHITECTS　&　ASSOCIATES
有限会社　クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号　一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE	坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事	DATE
DRAWN BY	DRW NAME	特記仕様書（改修その３）	SCALE A2 NS A3 NS / SHEET NO A-03

35 階段滑り止め

材種　・ステンレス製　　・黄銅製押出型材　(20.2.7)
　　・アルミニウム製押出型材　・
形状　※タイヤ型（タイヤの材質：ゴム又は合成樹脂合等）　・タイヤレス製
端部の形状　フラットエンド　・あり　・なし
寸法(幅)　・35mm程度　・40mm程度　・50mm程度
取付け工法　※接着工法　・埋め込み工法　・

36 黒板及び ホワイトボード G　(20.2.9)

・黒板　区分　※焼き付け　・
　　種類　・ほうろう　・鋼製　・
　　色　　※緑　・
・ホワイトボード（　　）

37 表示

衝突防止表示　(20.2.11)
・設置場所　※図示による
　形状・寸法（・300　・　　）
　材質　（・ステンレス製　・塩ビシート　）
・設置しない
誘導標識、非常用進入口等の表示　※消防法に適合する市販品　・
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等(案内用図記号はJIS Z 8210による)
　※図示による

38 タラップ

材質及び仕上げ　(20.2.12)
・SUS304（スリップ止め加工　※あり　・なし　）
・鋼製　表面処理　溶融亜鉛めっき
（※標準仕様書表 14.2.2による種別（※C種　・　　種））

39 ブラインド　(20.2.14)

形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの材種	ｽﾗｯﾄ幅(mm)	ﾎﾞｯｸｽ・ﾚｰﾙの材種	幅・高さ取付箇所
・横形	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 G ・	※25 ・	※鋼製 ・	・図示 ・
	・電動	―				
・縦形	・手動	※2本操作ｺｰﾄﾞ式 ・1本操作ｺｰﾄﾞ式	・ｱﾙﾐｽﾗｯﾄ ・ｸﾛｽｽﾗｯﾄ ・	・80 ・100	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製	・図示 ・
	・電動	―				

縦型ブラインドのスラットの材質
　アルミスラット　焼付け塗装仕上げ
　クロススラット　消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 G とする

40 ロールスクリーン

操作方法　・スプリング式　・コード式　・電動式　(20.2.15)
幅、高さ、取付箇所　・図示　・
材種　・ガラス繊維製　・合成・天然繊維製
品質等　・
その他の材料　※ロールスクリーンの製造所の仕様による　・
スクリーンの仕様
　消防法で定める防炎性能の表示があるもの
　ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする

41 カーテン　(20.2.16)

形式		開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付け箇所	備考
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・プレーンひだ		・図示 ・	
						(暗幕)

生地の仕様　消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用する場合は、G とする
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり　※300mm以上　・

42 カーテンレール

材料による区分　※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材　(20.2.16)
　　・ステンレス製
強さによる区分　※10-90　・
仕上げ　※アルマイト　・
形状　※角形　・

43 ブラインドボックス及びカーテンボックス

溝幅×深さ(mm)　・90×150　・120×80　・120×150　・150×80　・図示
材種　・集成材（仕上げ：　　）
　・アルミニウム製　押出し型材（市販品）
　　種別（標準仕様書表14.2.1）　・BC-1種　・BC-2種
　　色合い　・標準色（　　）　・特注色（　　）
　・鋼製（仕上げ：　　）

44 天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
※アルミニウム製 ・	⊙450×450 ・600×600 ・	○一般形 ・気密形	・屋内外用 ⊙屋内用	⊙額縁タイプ ・目地タイプ	⊙額縁タイプ ・目地タイプ

45 床点検口

材種	寸法	形式		備考
・アルミニウム製 ⊙ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ⊙600×600 ・	○一般形 ⊙密閉形	・屋内外用 ⊙屋内用	⊙蝶付き

密閉型とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする。

46 くつふきマット

材種	受け枠	備考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製 ・	・ステンレス製(SUS304) ・硬質アルミニウム合金 ・	

47 流し台ユニット

材種	寸法(mm) W	D	H	備考
・流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
・つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	―	―	市販品 ステンレス製 ・1段式　・

品質・性能　外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1 による。
　　構成材は、JIS A 4420の8 により試験を行ったとき、表1 の規定による。
形状　※図示　・

48 鋼製書架及び物品棚

種　類	規　格　等	JIS による種類
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種　・2種　・3種
・鋼製物品棚		・4種　・5種　・6種　・

49 屋内掲示板

枠の材質　※アルミニウム製　・
表面の材質　※塩ビ発泡シート張り　・

50 洗面カウンター

材種　・メラミン樹脂化粧板張り（芯材：集成材）　⊙人工大理石
奥行き(mm)　・約450　・約600　※図示

51 防煙垂れ壁

・固定式

材　質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備　考
※網入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

種　類	材　質	高さ(mm)	備　考
・垂直降下式 （巻取り型）	※不燃布 （不燃認定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

52 収納家具

材質、形状、寸法　※図示　・
材料のホルムアルデヒド放散量
　※F☆☆☆☆　・

7 塗装改修工事

① 材料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・　[7.1.3]
防火材料　※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
　・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所：　　）

② 下地調整

塗替えＲＢ種の場合の既存塗膜の除去範囲　[7.2.1～7]
　※劣化部分は除去し、活膜部分は残す　・図示　・

下地調整

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	ひび割れ部の補修
木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種	―
鉄鋼面	・RA種(注)　※RB種　・	―
亜鉛めっき面	・RA種(注)　※RB種　・	―
亜鉛めっき面(鋼製建具)	・RA種　※RB種　・	―
ﾓﾙﾀﾙ、せっこうﾌﾟﾗｽﾀｰ面	・RA種　※RB種　・	・行う ・行わない
コンクリート面(DP以外) ＡＬＣパネル面	・RA種　※RB種　・	・行う ・行わない
押出成形セメント板面	・RA種(注) ・RB種　・RC種	・行う ・行わない
コンクリート面(DP)	・RA種(注) ・RB種　・RC種	・行う ・行わない
せっこうボード面及び その他ボード面	・RA種　※RB種　・	―

(注)DP以外からDPへ塗替える場合の下地調整は、既存塗膜の種類及び劣化状況に応じてRA種(既存塗膜全除去)又はRB種(既存塗膜一部除去)を選定すること。

③ 素地ごしらえ　[7.3.2～7]

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※Ａ種　・Ｂ種
	透明塗料塗りの場合	・Ａ種　※Ｂ種
鉄鋼面（DP以外）		・Ａ種　・Ｂ種　※Ｃ種
鉄鋼面（DP）		・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種
亜鉛めっき鋼面		・Ａ種　・Ｂ種
モルタル面及びせっこうプラスター面		・Ａ種　※Ｂ種
コンクリート面（DP以外）及びALCパネル面		・Ａ種　※Ｂ種
押出成形セメント板面及びコンクリート面（DP）		・Ａ種　・Ｂ種
コンクリート面（DPのみ）		・Ａ種　※Ｂ種
せっこうボード面及び その他ボード面	目地：継目処理工法	※Ａ種　・Ｂ種
	目地：継目処理工法以外	・Ａ種　※Ｂ種

④ 錆止め塗料塗り

錆止め塗料塗りの種別　[7.4.2、3]

素地面	塗装の種類		塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	SOP (工程の種別は［表7.4.3］)	塗替え	Ａ種	※Ｃ種　・
		新規見え掛り	Ａ種	※Ａ種　・
		新規見え隠れ	Ａ種	※Ｂ種　・
	EP-G (工程の種別は［表7.4.3］)	塗替え	・Ａ種　※Ｂ種	※Ｃ種　・
		新規見え掛り	・Ａ種　※Ｂ種	※Ａ種　・
		新規見え隠れ	・Ａ種　※Ｂ種	※Ｂ種　・
	DP (工程の種別は［表7.4.4］)	塗替え	7.4.2(1)(イ)(b)による	・Ａ種(下地調整RA種) ・Ｂ種(下地調整RB種) ・Ｃ種(下地調整RC種)
		新規	7.4.2(1)(イ)(a)による	Ａ種
亜鉛めっき鋼面	SOP (工程の種別は［表7.4.5］)	塗替え	※Ａ種　・Ｂ種	※Ｃ種　・
		新規鋼製建具等	※Ａ種　・Ｂ種	※Ａ種　・
		新規その他	※Ｂ種　・	※Ｂ種　・
	EP-G (工程の種別は［表7.4.5］)	塗替え	Ｃ種　・	※Ｃ種　・
		新規鋼製建具等	Ｃ種　・	※Ａ種　・
		新規その他	Ｃ種　・	※Ｂ種　・
	DP (工程の種別は［表7.4.6］)	塗替え	Ｂ種　・	―
		新規	Ｂ種　・	―

⑤ 塗装 G　[7.5.2～7.12.2]

塗装の種類	塗装面	工程 塗替え	新規
⊙合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 塗料の種別 ※1種　・2種	木部屋外	※Ｂ種　・	※Ａ種　・
	木部屋内	※Ｂ種　・	※Ｂ種　・
	鉄鋼面	※Ｂ種　・	※Ｂ種　・Ａ種
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)	※Ａ種　・	※Ｂ種　・
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)	※Ｂ種　・	※Ｂ種　・
・クリヤラッカー塗り(CL)		※Ｂ種　・Ａ種	※Ｂ種　・Ａ種
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※Ｂ種　・Ａ種	※Ｂ種　・Ａ種
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面　上塗り等級（　　）級	―	―
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級（　　）級	―	―
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・	・
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	コンクリート面等	※Ｂ種　・	※Ｂ種　・Ａ種
	屋内の木部	※Ｂ種　・	※Ａ種　・
	屋内の鉄鋼面	※Ｂ種　・	※Ｂ種　・Ａ種
	屋内の亜鉛めっき鋼面	※Ａ種　・	・Ｂ種　※Ａ種
⊙合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※Ｂ種　・	・Ａ種　※Ｂ種
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※Ｂ種　・Ａ種	※Ｂ種　・Ａ種
・ステイン塗り		・ピグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)	
・木材保護塗料塗り(WP)		※Ｂ種　・Ａ種	※Ｂ種　・Ａ種

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、せっこうﾌﾞﾗｽﾀｰ面、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面）の塗替えの場合のしみ止め
　※B種又はC種の場合は[表7.9.1]の工程１の下塗りをしみ止めシーラーとする　・

合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め
　※B種又はC種の場合は[表7.10.1]の工程１の下塗りをしみ止めシーラーとする　・

注）DP以外からDPへの塗替えは、下地調整の種別に注意すること。

・高日射反射塗料塗り G
下地調整［7.2.2］　・ＲＡ種　※ＲＢ種　・ＲＣ種

工程	塗料その他 規格番号	規格名称	種類	等級	塗付け量(kg/㎡)
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射塗料	2種	・1級　・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による

クリヤラッカー塗りＡ種の工程2の適用
　・適用しない
　・適用する(着色剤：・溶剤系着色剤　・油性染料着色剤)
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用
　・適用する　・適用しない
オイルステン塗りの工程等
　・製造所の仕様による

8 耐震改修工事

特記仕様書（改修その７～８）による

9 環境配慮改修工事

1 石綿粉じん濃度測定

測定時期、場所及び測定点　[9.1.1]

適用 ﾚﾍﾞﾙ1	ﾚﾍﾞﾙ2	ﾚﾍﾞﾙ3	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（処理作業室ごと）
※	※	・	測定１	処理作業前	処理作業室内	・各2点　・（　）点
※	※	・	測定２		施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点・（　）点
・	・	・	測定３	処理作業中	処理作業室内	・各2点　・（　）点
※		・	測定４		ｾｷｭﾘﾃｨｰｿﾞｰﾝ入口	・各1点　・（　）点
※	・	・	測定５		集じん・排気装置の装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/s以下の位置 ・各1点　・（　）点
※	・	・	測定６		施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点・（　）点
※	※	※	測定７	処理作業後(隔離ｼｰﾄ撤去前)	処理作業室内	・各2点(ﾚﾍﾞﾙ3は各1点) ・（　）点
※	※	・	測定８		施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点
・	・	・	測定９	処理作業後(ｼｰﾄ撤	処理作業室内	・（　）点
・	・	・	測定10	去後1週間以降)	施工区画周辺又は敷地境界	・（　）点

さいたま市内で測定を行う場合は市条例を遵守して実施すること。

測定方法
　測定５のみ ※ﾊﾟｰﾃｨｸﾙｶｳﾝﾀｰ、粉じん相対濃度計（ﾃﾞｼﾞﾀﾙ粉じん計）、繊維状粒子自動計測器（ﾘｱﾙﾀｲﾑﾌｧｲﾊﾞｰﾓﾆﾀｰ）等、排気の粉じん濃度を迅速に計測できる機器にて測定

測定５以外は下表による

	測定3	測定1,4,7,9	測定2,6,8,10
ﾒﾝﾌﾞﾚﾝﾌｨﾙﾀの直径(mm)	25	25	47
試料の吸引流量(L/min)	※1　・	※5　・	※5　・
試料の吸引時間(min)	※5　・	※120　・	※240　・

2 石綿含有吹付け材の除去（レベル１）

除去対象範囲　・図示　・　[9.1.3]
除去工法　※[9.1.3](2)(ｱ)による　・
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
　※密封処理　※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
　・埋立処分（管理型最終処分場）
　・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

3 石綿含有保温材等の除去（レベル２）

除去工法　[9.1.4]
　※[9.1.4](2)による（原形のまま、手ばらしが可能な場合）
　　除去対象範囲　・図示　・
　・[9.1.3](2)による（損傷、劣化等で石綿粉塵を発散するおそれがある場合）
　　除去対象範囲　・図示　・
除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置
　※密封処理　※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
　・埋立処分（管理型最終処分場）
　・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

④ 石綿含有成形板の除去（レベル３）

除去対象範囲　⊙図示　・　[9.1.5]
石綿含有けい酸カルシウム板第一種の場合の隔離養生（負圧不要）方法
　・ビニールシート等による養生を行う　・
除去した石綿含有成形板の処分
　・石綿含有せっこうボード
　　※埋立処分（管理型最終処分場）
　⊙石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
　　⊙埋立処分（安定型最終処分場）
　　・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分
　・埋立処分（安定型最終処分場）
　・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

5 石綿含有建築用仕上塗材等の除去（レベル３）

除去対象範囲　・図示　・　[9.1.6]
着工前の試験施工　・行う　・行わない
除去工法（　　）
除去した石綿含有建築用仕上塗材等の飛散防止
　※密封処理　※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有建築用仕上塗材等の処分
　・埋立処分（安定型最終処分場）
　・埋立処分（管理型最終処分場）
　・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

6 PCB含有シーリング材処分

種類	採取する部位・箇所数	備　考
・ＰＣＢ含有シーリング 分析調査（第一次判定）	部　位　・図示　・ 箇所数：　箇所	
・ＰＣＢ含有シーリング 分析調査（第二次判定）	部　位　・図示　・ 箇所数：　箇所	

詳細は監督員との協議による

7 外断熱改修工事 G

断熱材　[9.2.1～4]
　種類（　　）厚さ（　　mm）施工箇所（・図示　・　　）
　ホルムアルデヒド放射量　※F☆☆☆☆　・
外装材

種　類	防火性能	備　考

鋼材　改修特記仕様書第8章　8-3　鉄骨工事　・鋼材による。
笠木　改修特記仕様書第3章　・アルミニウム製笠木による。
既存外壁の処置
　既存外壁仕上げ材の撤去　・行う　・行わない
　下地面の清掃　・行う　・行わない
　欠損部の改修工法　・改修特記仕様書第4章　外壁改修工事による　・
工法
　建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
　不陸等の下地調整　・
　断熱材の施工　・断熱材の製造所の仕様による　・
　外装材の施工　・外装材製造所の仕様による　・
　通気層の有無　・あり（　　mm）　・なし
　外装材の外壁への取付け　・図示　・
　笠木の施工　・改修特記仕様書第3章　アルミニウム製笠木による

8 断熱・防露改修工事 G

フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量　[9.3.2～4]
　※F☆☆☆☆　・
開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量
　※F☆☆☆☆　・
工法
・断熱材打込み工法
　断熱材　JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材
　種類　・
　厚さ(mm)　・
　施工箇所　・
・断熱材現場発泡工法
　断熱材の種類　※A種1　・A種1H
　厚さ(mm)　・25　・30　・
　施工箇所　・図示　・
・断熱材後張り工法
　断熱材　JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材
　種類　・　厚さ(mm)　・
　・せっこうボード等を張り付けたパネルを使用
　　材質　・　厚さ(mm)　・
　・張り付け工法
　　断熱材の張り付け工法　・
　　断熱材へのボードの張付け工法　・

9 屋上緑化改修工事 G

植栽基盤及び材料　[9.4.2～4]
　屋上緑化軽量システム　・適用する　・適用しない
　芝及び地被類の樹種並びに種類等　※図示　・
　見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等　※図示　・
工法
　建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
　かん水装置　・設置する（種類　　）
　既存保護層の撤去　・行う　・行わない
　新植した芝及び地被類の枯補償の期間　※引き渡しの日から1年　・

10 透水性アスファルト舗装改修工事

適用範囲：歩道　[9.5.2～5、9]
既存舗装の撤去及び再利用　※図示　・

路床の材料

種　別	材　料	厚さ(mm)
・盛土	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 ・建設汚泥から再生した処理土 G	・図示 ・
・凍上抑制層	・再生クラッシャラン G　・クラッシャラン ・切込み砂利 ・砂（改修標準仕様書表9.5.1による） ・	・図示 ・
・フィルター層	・改修標準仕様書9.5.3(2)(ｳ)による ・	・図示 ・

（凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験）
　・行う　・行わない

・路床安定処理　・適用する　・適用しない
　安定処理の方法　・置き換え工法（・　　）　・安定処理工法
　路床安定処理用添加材料
　　種類　・普通ポルトランドセメント　・高炉セメントＢ種 G
　　・フライアッシュセメントＢ種
　　・生石灰（・特号　・１号）　・消石灰（・特号　・１号）
　　添加量　（　　）kg/m³　（目標CBR　※3以上　・　　）
　　目標CBRを満足する添加量の確認方法　・安定処理土のCBD試験　・
・ジオテキスタイル
　単位面積質量　・60g/㎡以上　・
　厚さ(mm)　・0.5～1.0　・
　引張強さ　・98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・
　透水係数　・1.5×10⁻¹cm/sec以上　・

試験
　路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験　・行う　・行わない
　現場ＣＢＲ試験　・行う　・行わない
　路床締固め度の試験　・行う　・行わない
　六価クロム溶出試験　・行う　・行わない

路盤
　路盤の構成及び厚さ　・図示　・
　路盤材料（改修標準仕様書表9.7.3による種別）
　　・クラッシャラン
　　・粒度調整砕石
　　・再生クラッシャラン G
　　・再生粒度調整砕石 G
　　・クラッシャラン鉄鋼スラグ G
　　・粒度調整鉄鋼スラグ G
　　・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G
舗装の構成　・図示　・
舗装の平たん性　※著しく不陸がないもの　・
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない

11 舗装版切断時に発生する濁水の処理
（舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書）

濁水の処理
　1）受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。
　　種類及び処理量　・図示による
　　処理方法
　　・中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却含まず）
　　・中間処理後、最終処分場又はセメント工場に搬入（処理に焼却含む）
　2）受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。
共通事項
　1）受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。
　2）受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。
　3）受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。
　4）受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとする。
提出書類等
　1）受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。
　2）受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。
その他
　1）濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。
　2）受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。
　3）疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

CRAFTMAN　ARCHITECTS　&　ASSOCIATES
有限会社　クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号　一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE	DATE
	坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事	
DRAWN BY	DRW NAME	SCALE A2 NS　A3 NS
	特記仕様書（改修その４）	SHEET NO A-04

10 鉄筋工事

1 鉄筋

鉄筋の種類 (5.2.1)

種類の記号	呼び径(mm)	備考
・SD295	※ D16以下	
・SD345	※ D19以上	
・		
・		

②溶接金網

形状等 (5.2.2)

種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	使用部位
○溶接金網	WFP	6φ-150x150	土間コンクリート(渡り廊下)
・鉄筋格子			

3 鉄筋の継手

鉄筋の継手方法等 (5.3.4)

部位	継手方法	呼び径(mm)
柱、梁の主筋	・ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手	※ D19以上
耐力壁の鉄筋	・重ね継手 ・	
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手 ・ガス圧接	
その他の鉄筋(　　)	○重ね継手 ・	

継手位置
・図示による(構造関係共通図(配筋標準図)5.1、6.1、7.1、7.3、8.1)
基礎梁主筋の継手位置 ・図5.2 ・図5.3 ・図5.4
・図示による(　　) ・
柱及び梁の重ね継手の長さ
・図示による(　　) ・
耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ
※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)3(1)(ｳ))
・図示による(　　) ・
柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一箇所に設ける部分の位置及び施工方法等
・図示による(　　) ・

4 鉄筋の定着

鉄筋の定着長さ (5.3.4)
・図示による(　　)

機械式定着工法
運用場所
・図示による(　　) ・
種類
・摩擦圧接接合 ・螺合グラウト固定
・鈑合グラウト固定 ・
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法とする
必要定着長さ
※評定等の評価内容による
補強筋形状
※評定等の評価内容による
かぶり厚さ
※評定等の評価内容による
品質確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による

鉄筋の余長の長さ
構造関係共通図(配筋標準図)による。これによらない箇所は図示による。

⑤鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む)

最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) (5.3.5)
※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)4(1)表4.1)
・図示による(　　) ・

柱及び梁の主筋にD29以上の使用
・あり 適用箇所(　　)
主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する
耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等)
・あり 適用箇所(　　)
・最小かぶり厚さに加える厚さ (　　)mm
・

6 各部配筋

※図示による (5.3.7)

7 ガス圧接

圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10)
外観試験
※行う(全ての圧接部)
抜取試験
※超音波探傷試験(試験方法 標準仕様書5.4.10(ｲ)(a)による)
・引張試験
試験方法 ※標準仕様書5.4.10(ｲ)(b)による
・

8 機械式継手

適用箇所 (5.5.3、5)
・図示による(　　) ・
H12建告第1463号に適合する性能
・A級 ・
種類
・ねじ式鉄筋継手
充填方式
・無機グラウト方式 ・有機グラウト方式 ・
・端部ねじ加工継手
・モルタル充填式継手
・
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法
鉄筋相互のあき
※評定等の評価内容による
品質の確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による
施工完了後の継手部の試験
・外観試験
試験対象 ※全数
試験項目
・評定等の評価内容による ・
試験方法
・評定等の評価内容による ・
・超音波測定試験
試験対象
・抜取り
ロット
・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする
・
試験の箇所数
・1ロットに対して(　　)箇所
・全数
試験項目 ※挿入長さ
試験方法
※JIS Z 3064(鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準)による
不合格となった場合の措置
・

9 溶接継手

適用箇所 (5.5.3、5)
・図示による(　　) ・
H12建告第1463号に適合する性能
・A級 ・
溶接継手の工法
・図示による(　　) ・
鉄筋相互のあき
・標準仕様書5.3.5(4)による
・評定等の評価内容による
・図示による(　　)

施工完了後の溶接部の試験
・外観試験
試験対象 ※全数
試験項目
・評定等の評価内容による ・
試験方法
・評定等の評価内容による ・
・超音波測定試験
試験対象
・抜取り
ロット
・1組の作業班が1日に行った溶接箇所で、最大200箇所程度とする
・
試験の箇所数
・1ロットに対して(　　)箇所
・全数
試験項目 ※内部欠陥の検出
試験方法
※JIS Z 3063(鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準)による
不合格となった場合の措置
・

11 コンクリート工事

①コンクリートの種類等

類別 (6.2.1)
※Ⅰ類(JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート)
・Ⅱ類(JIS A 5308 に適合したコンクリート)

普通コンクリート (6.2.1～6.2.4)

設計基準強度(N/mm²)	気乾単位容積質量(t/m³)	スランプ	適用箇所
○24	2.3程度	○15又は18 ・18	土間コンクリート(渡り廊下)
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

構造体強度補正値(S) (6.3.2)
※標準仕様書 表6.3.2による
補正値S＝3(　月　日～　月　日、　月　日～　月　日)
S＝6(　月　日～　月　日、　月　日～　月　日)
・

②セメント

種類 (6.3.1)
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
適用箇所(※下記以外全て　　)
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352J/g以下、かつ28日目で 402J/g以下のものとする。
・高炉セメントB種 G
適用箇所(・1FLより下部(立上り部含む) ・　　)
・フライアッシュセメントB種 G
適用箇所(・　　)
・

③骨材

アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1)
※A ・B(コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m³ 以下)

④混和材料

・混和剤 (6.3.1)
混和剤の種類
※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・
・混和材
混和材の種類
※標準仕様書6.3.1(4)(b)による ・

5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地

打継ぎの位置 (6.6.4)
梁及びスラブ
※スパンの中央又は端から1/4の付近
・図示による(　　) ・
柱及び壁
※スラブ、壁梁又は基礎の上端
・図示による(　　) ・

目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)
・標準仕様書 9.7.3(1)(ｱ)による ・
※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する
・図示による(　　) ・

ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1)
・図示による(　　) ・

6 湿潤養生

湿潤養生の期間 (6.7.2)
・セメントの種類が普通エコセメントの場合 (　　)日

⑦コンクリートの仕上り

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.8.2)

種別	適用箇所
・A種	※図示による(　　)
・B種	※図示による(　　)
・C種	※図示による(　　)

コンクリートの仕上りの平たんさ

種別	適用箇所
・a種	※図示による(　　)
○・b種	※図示による(　　)
・c種	※図示による(　　)

8 打増し厚さ(打放し仕上げ部)

打増し厚さ (6.8.1)
・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)
・20mm ・
・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
・10mm ・20mm ・
・外装タイル後張り面の打増し処理
・20mm ・
打増し範囲
・図示による(　　) ・

⑨型枠

せき板の材料及び厚さ (6.8.2)
○合板(※12mm ・　)G
コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。
・断熱材を兼用した型枠の使用
適用箇所 ・図示による(　　) ・
・MCR工法用シートの使用
適用箇所 ・図示による(　　) ・
打増し厚さ ・20mm ・
打増し範囲 ・図示による(　　) ・
スリーブの材種・規格等
・図示による(　　) ・

存置期間及び取外し (6.8.4)
※標準仕様書6.8.4による
・普通エコセメントの場合(※図示による(　　) ・　　)

10 軽量コンクリート

適用箇所 (6.10.1、2)
・図示による(　　) ・
種類
・1種 ・2種
気乾単位容積質量
・標準仕様書 表6.10.1による ・
スランプ
※21cm ・

11 寒中コンクリート

適用期間(　月　日～　月　日) (6.11.1、2)
構造体強度補正値(S)を積算温度を基に定める場合
・図示による(　　)、S＝(　)・

12 暑中コンクリート

適用期間(　月　日～　月　日) (6.12.2)
構造体強度補正値(S)
※6N/mm² ・図示による(　　)、S＝(　)・

13 マスコンクリート

適用箇所 (6.13.1、2)
・図示による(　　) ・
セメントの種類
・普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ ・中庸熱ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ ・低熱ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ
・高炉セメントB種 ・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB種 ・シリカセメント
混和材料の適用
・あり(・標準仕様書6.13.2(2)(ｱ)による ・標準仕様書6.13.2(2)(ｲ)による
・　　)
スランプ
※15cm ・
構造体強度補正値(S)
※標準仕様書表6.13.1による ・

14 無筋コンクリート

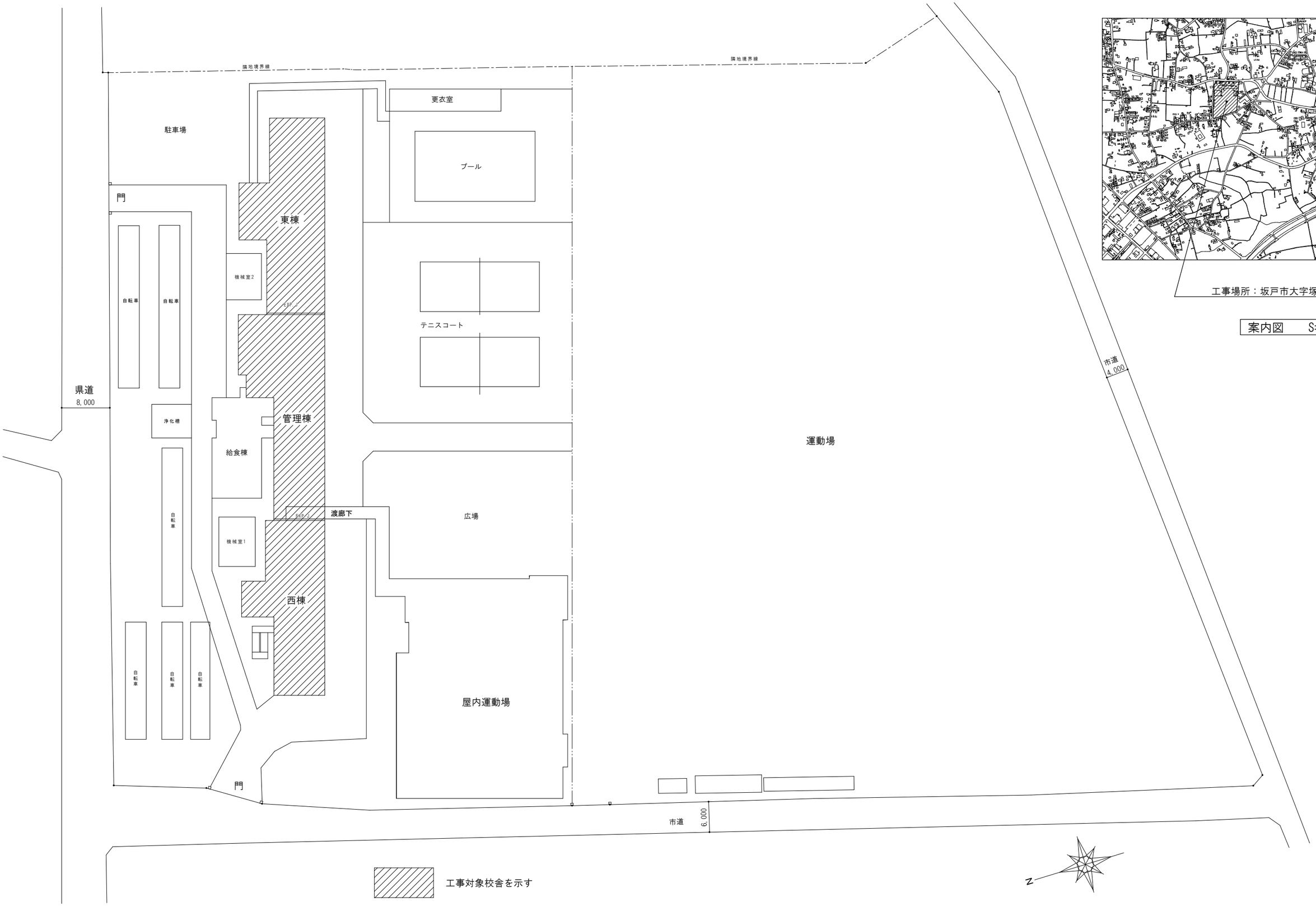
コンクリートの種類 (6.14.1)
※普通コンクリート ・
セメントの種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種 G
設計基準強度 ※18(N/mm²) ・
スランプ ※15cm又は18cm ・
適用箇所
※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・図示による(　　)

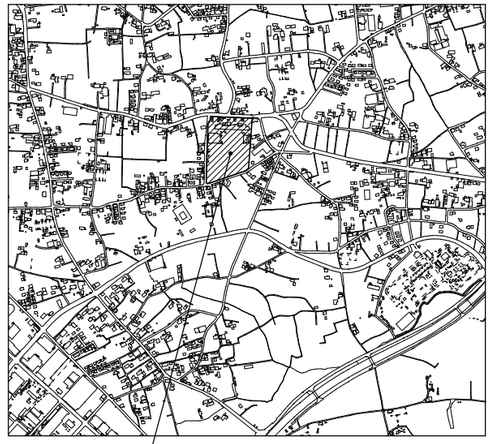
15 コンクリートの単位水量測定

実施要領
(1)単位水量の測定は、150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。
(2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。
(3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。
1)測定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工する。
2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。
3)設計値±20kg/m³ を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。
4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。
(4)単位水量管理についての記録を書面(計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。
(5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、ｴｱﾒｰﾀ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。

CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES
有限会社 クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号 一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE	DATE
	坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事	
DRAWN BY	DRW NAME	SCALE A2 NS A3 NS
	特記仕様書(改修その5)	SHEET NO A-05





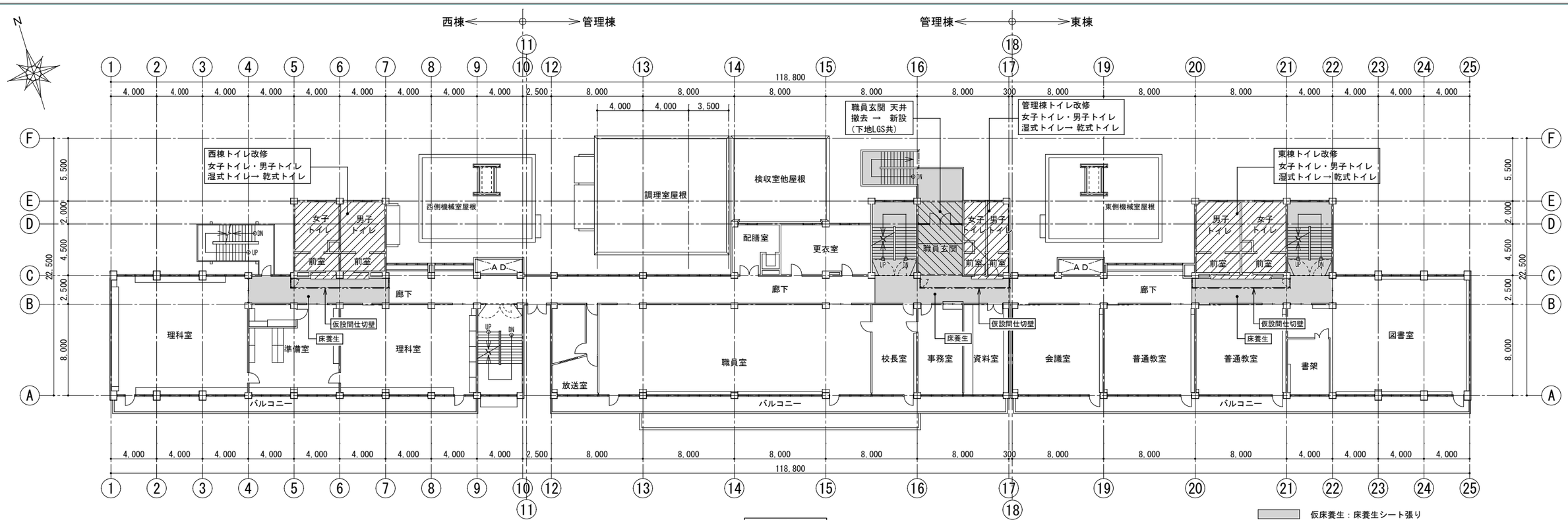
工事場所：坂戸市大字塚越114番地の1

案内図　S=1/15000

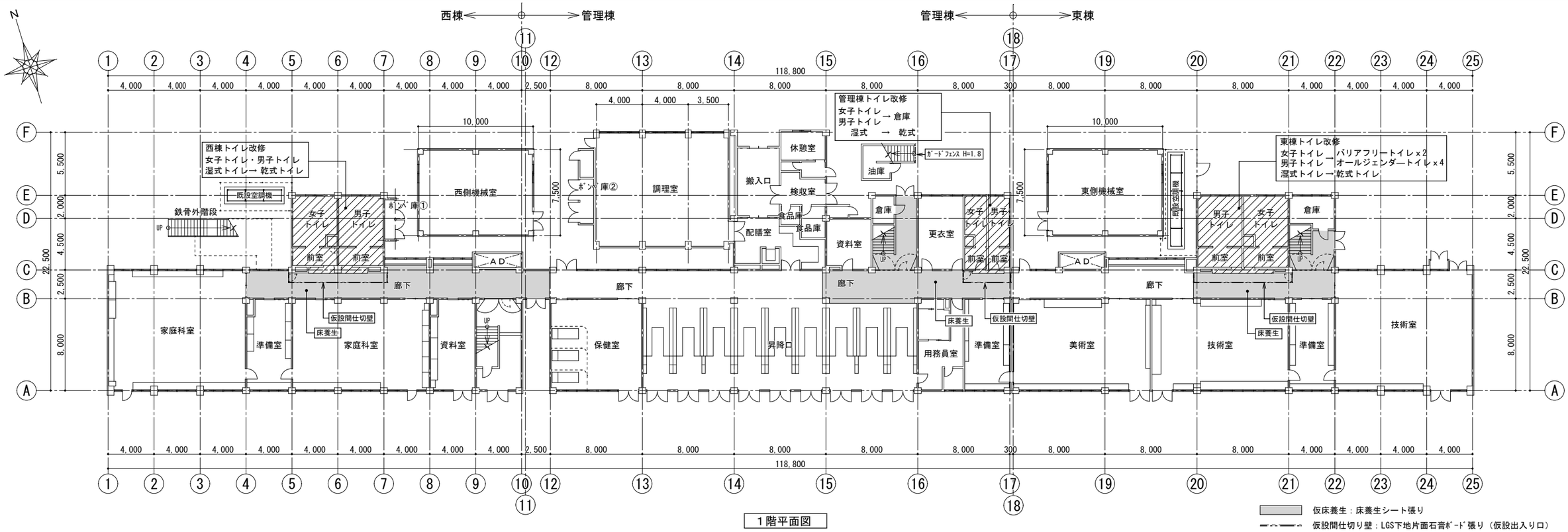
CRAFT MAN

CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES
有限会社 クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号　一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE 坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事		DATE
DRAWN BY	DRW NAME 案内図・配置図	SCALE A2 1/500　A3 1/700	SHEET NO A-06

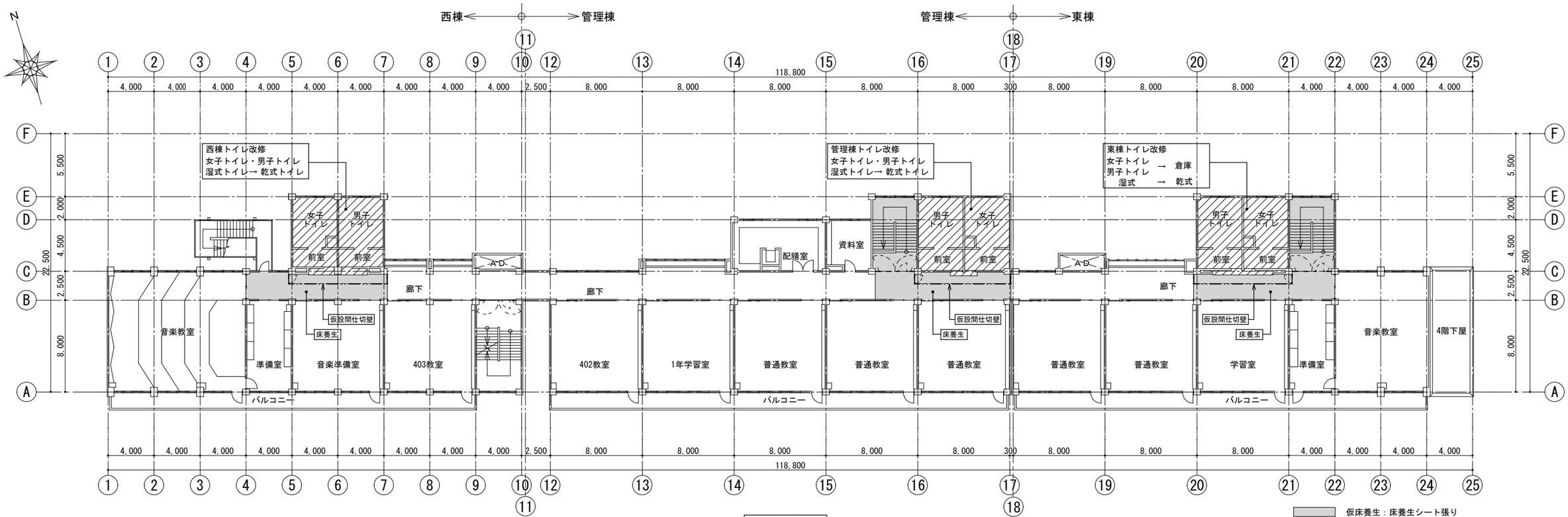


２階平面図

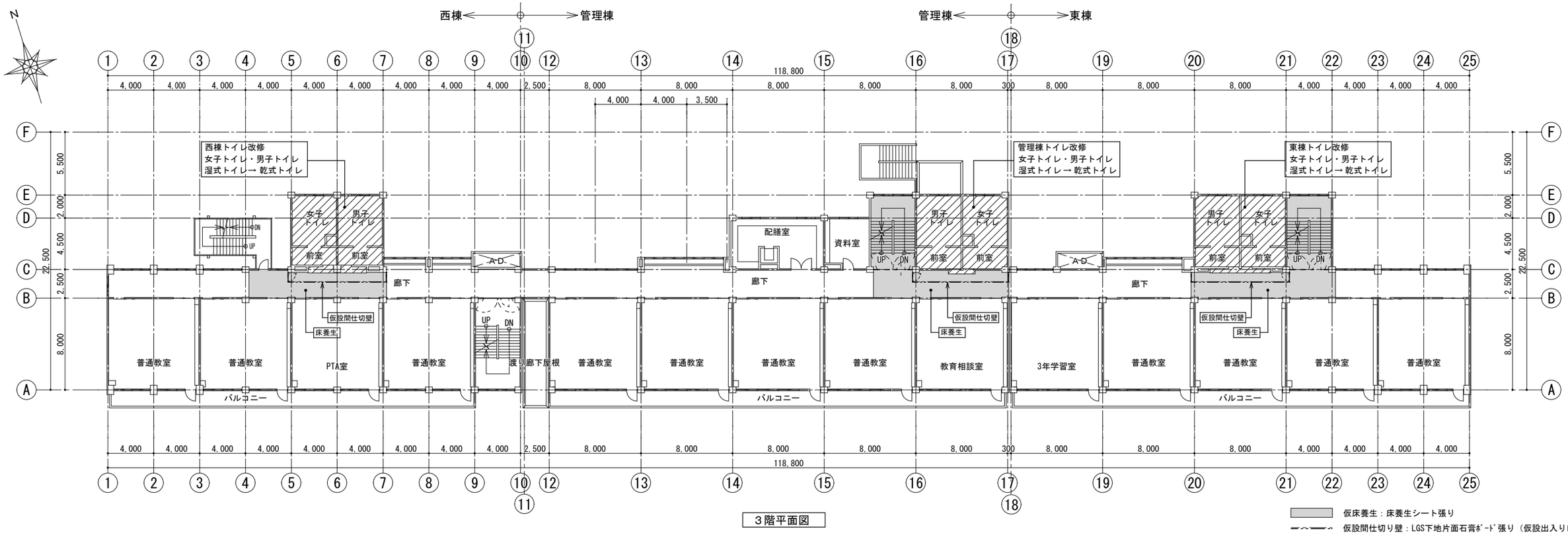


１階平面図

CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES 有限会社 クラフトマン建築設計事務所 一級建築士事務所登録 第6592号 一級建築士登録 第253411号 小泉正義	CHECKED DRAWN BY	TITLE 坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事 DRW NAME 既存 １階・２階 平面図、仮設計画図(参考)	DATE SCALE A2 1/250 A3 1/350 SHEET NO A-07



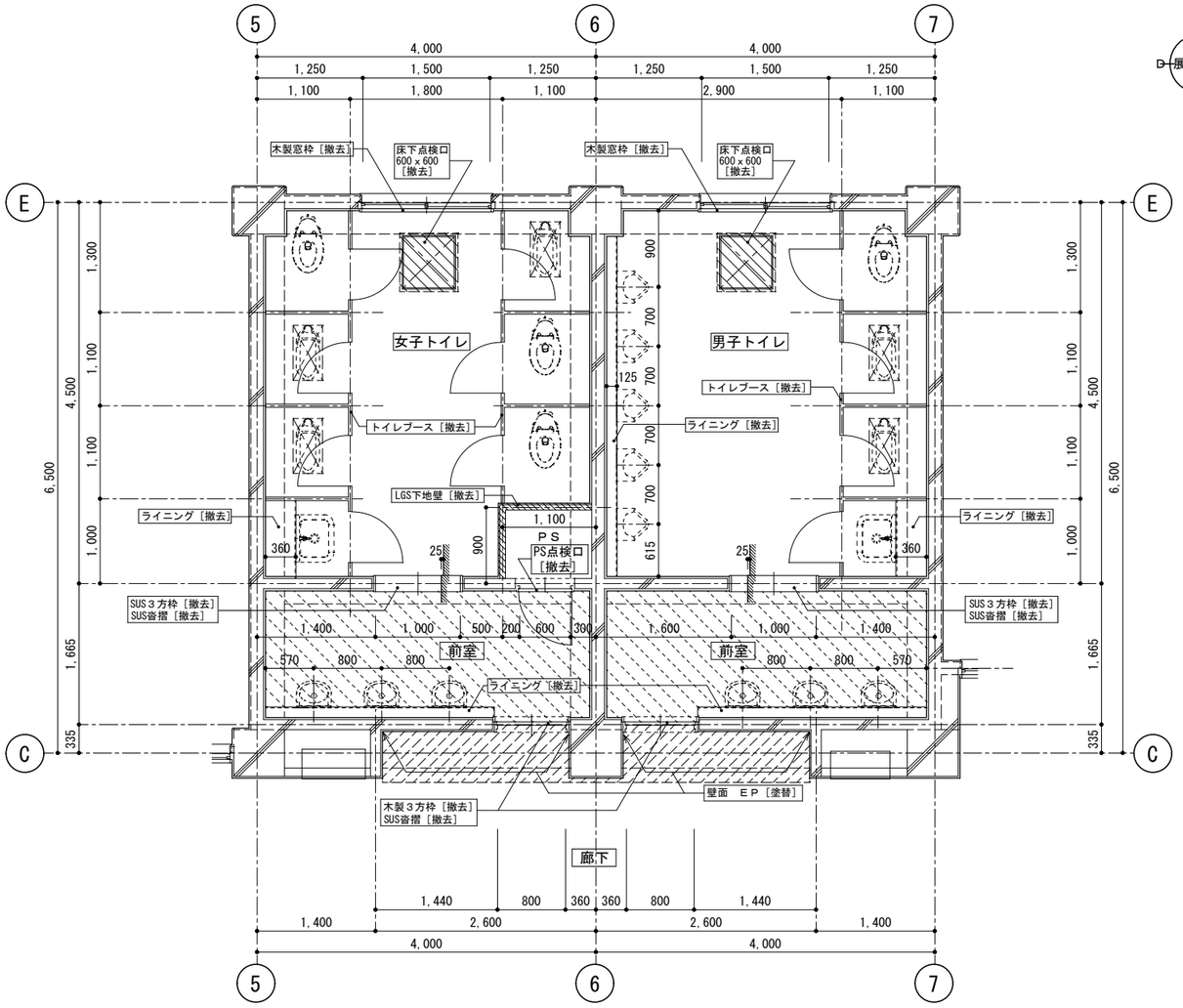
4階平面図



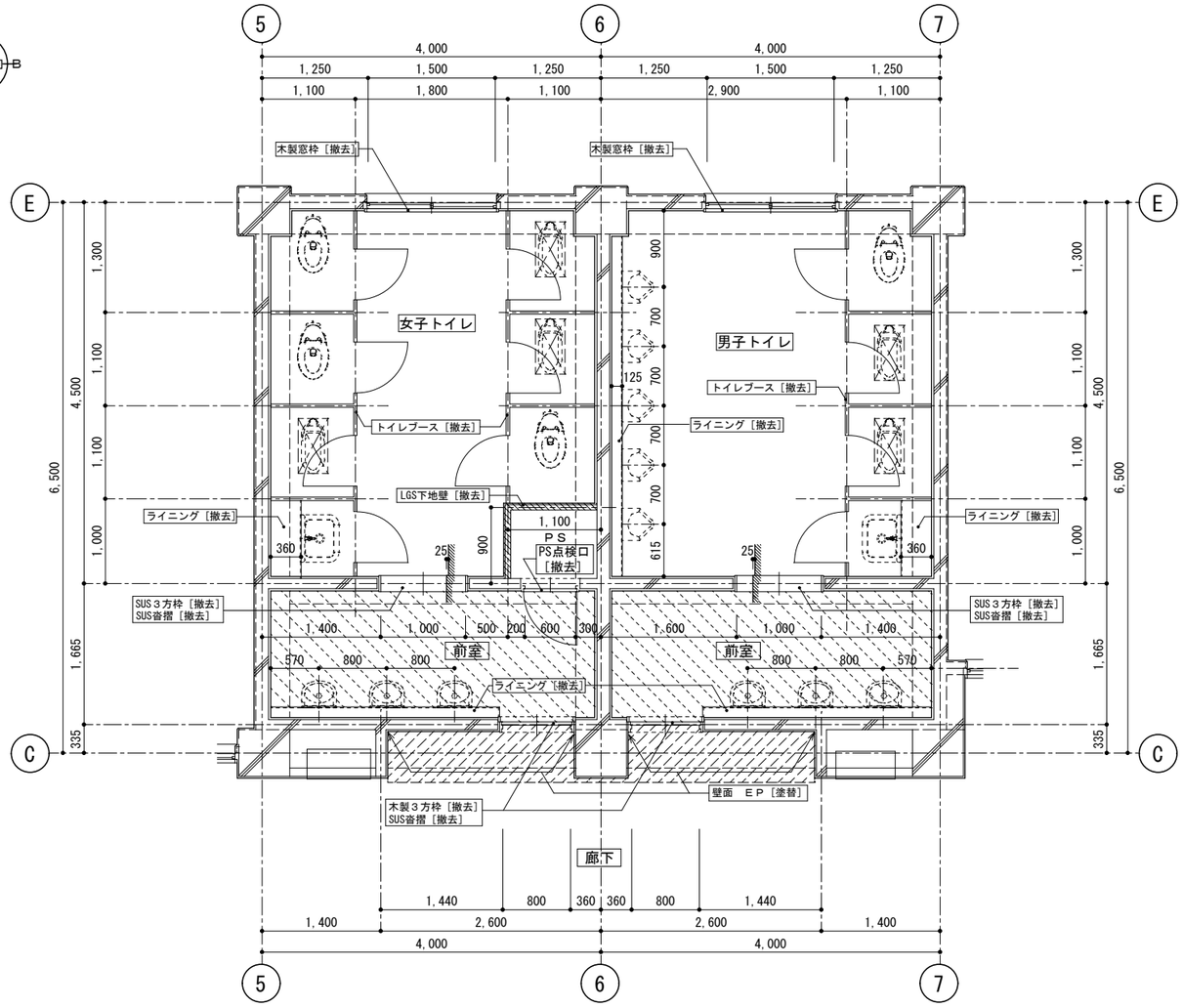
3階平面図

CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES
有限会社 クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号 一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE	DATE
	坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事	
DRAWN BY	DRW NAME 既存 3階・4階 平面図、仮設計画図(参考)	SCALE A2 1/250 A3 1/350
		SHEET NO A-08



西棟　１階トイレ 平面詳細図（既存）



西棟　２階トイレ 平面詳細図（既存）

女子トイレ・男子トイレ		
床	25角 モザイクタイル貼り	［既存のまま］
巾木	100角 半磁器質タイル貼り	［浮き部分撤去］
壁	100角 半磁器質タイル貼り LGS下地ＰＳ壁［撤去］	［浮き部分撤去］
天井	ケイ酸カルシウム板 t=6.0　ＥＰ［撤去］　LGS下地［撤去］	※アスベスト含有
廻縁	塩ビ製［撤去］	
備考	トイレブース［撤去］　天井点検口［撤去］　床下点検口(1階のみ)［撤去］ ライニング CB t=100　甲板：テラゾーブロック［撤去］　PS点検口600x1000［撤去］	

前室		
床	モルタル下地　エポキシ樹脂塗床	［撤去］
巾木	100角 半磁器質タイル貼り	［浮き部分撤去］
壁	100角 半磁器質タイル貼り	［浮き部分撤去］
天井	ケイ酸カルシウム板 t=6.0　ＥＰ［撤去］　LGS下地［撤去］	※アスベスト含有
廻縁	塩ビ製［撤去］	
備考	ライニング CB t=100　甲板：テラゾーブロック［撤去］ SUS３方枠［撤去］　SUS沓摺［撤去］	

廊下		
床	ビニル床タイル t=2.0 ［一部撤去］	※アスベスト含有
巾木	ラワン ＯＰ［既存のまま］	
壁	モルタル金コテ ＥＰ［塗替］	
天井	石膏ボード t=9.0　ＥＰ［既存のまま］	
廻縁	塩ビ製［既存のまま］	
備考	室名札［撤去］　木製３方枠［撤去］　SUS沓摺［撤去］	

床撤去部分を示す
ビニル床タイル t=2.0

床撤去部分を示す。
モルタル下地　エポキシ樹脂塗床

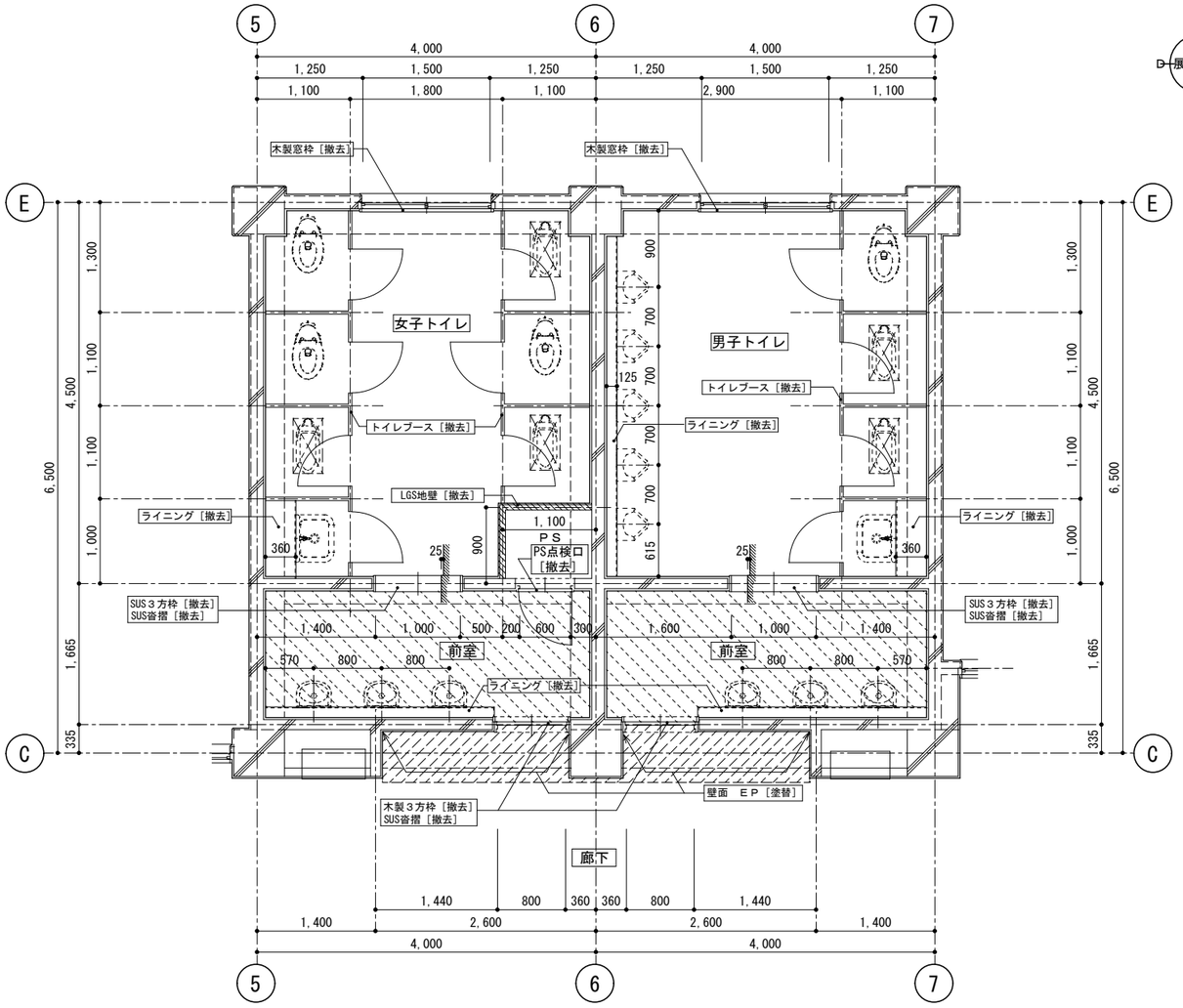
和便器部分孔閉鎖

衛生設備［撤去］は機械設備工事

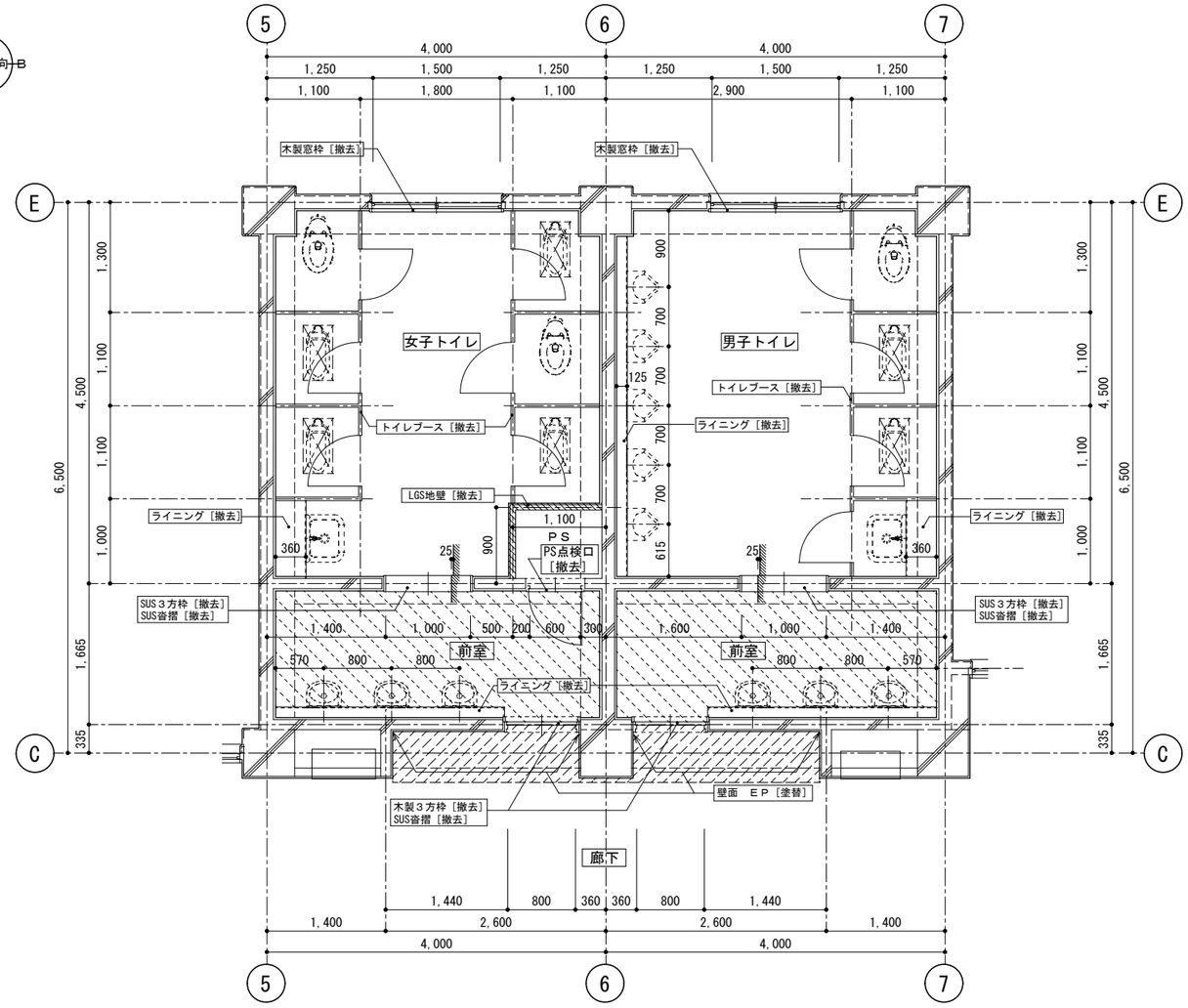
既存梁ラインを示す

CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES
有限会社 クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号　一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE	DATE
	坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事	
DRAWN BY	DRW NAME	SCALE A2 1/50　A3 1/70	SHEET NO
	西棟 1・2階 平面詳細図（既存）		A-09



西棟　３階トイレ　平面詳細図（既存）



西棟　４階トイレ　平面詳細図（既存）

女子トイレ・男子トイレ		
床	25角 モザイクタイル貼り	［既存のまま］
巾木	100角 半磁器質タイル貼り	［浮き部分撤去］
壁	100角 半磁器質タイル貼り LGS下地ＰＳ壁［撤去］	［浮き部分撤去］
天井	ケイ酸カルシウム板 t=6.0　ＥＰ［撤去］　LGS下地［撤去］	※アスベスト含有
廻縁	塩ビ製［撤去］	
備考	トイレブース［撤去］　天井点検口［撤去］ ライニング CB t=100　甲板：テラゾーブロック［撤去］　PS点検口600x1000［撤去］	

前室		
床	モルタル下地　エポキシ樹脂塗床	［撤去］
巾木	100角 半磁器質タイル貼り	［浮き部分撤去］
壁	100角 半磁器質タイル貼り	［浮き部分撤去］
天井	ケイ酸カルシウム板 t=6.0　ＥＰ［撤去］　LGS下地［撤去］	※アスベスト含有
廻縁	塩ビ製［撤去］	
備考	ライニング CB t=100　甲板：テラゾーブロック［撤去］ SUS３方枠［撤去］　SUS沓摺［撤去］	

廊下		
床	ビニル床タイル t=2.0 ［一部撤去］	※アスベスト含有
巾木	ラワン ＯＰ［既存のまま］	
壁	モルタル金コテ ＥＰ［塗替］	
天井	石膏ボード t=9.0　ＥＰ［既存のまま］	
廻縁	塩ビ製［既存のまま］	
備考	室名札［撤去］　木製３方枠［撤去］　SUS沓摺［撤去］	

床撤去部分を示す
ビニル床タイル　t=2.0

床撤去部分を示す。
モルタル下地　エポキシ樹脂塗床

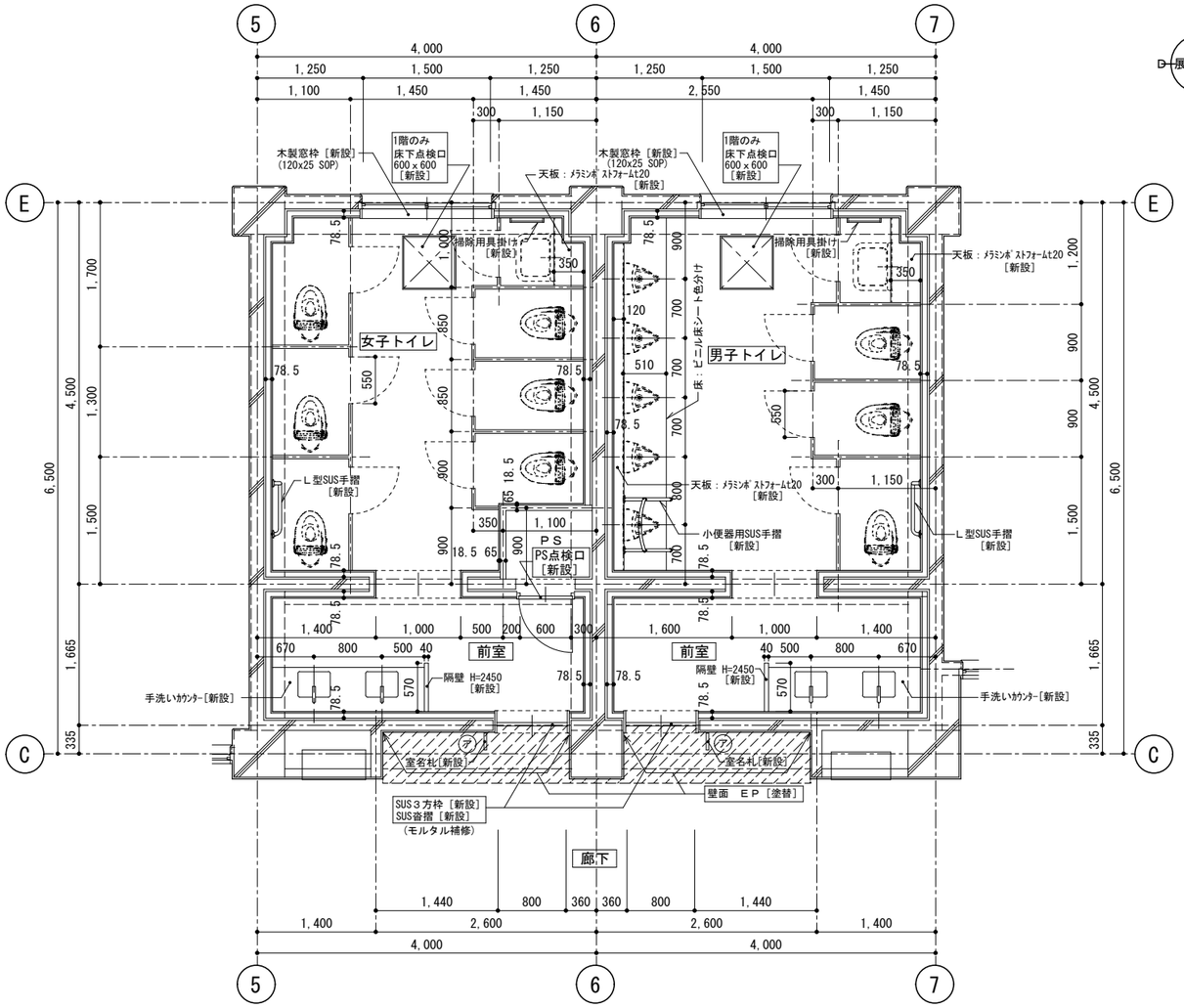
和便器部分孔閉鎖

衛生設備［撤去］は機械設備工事

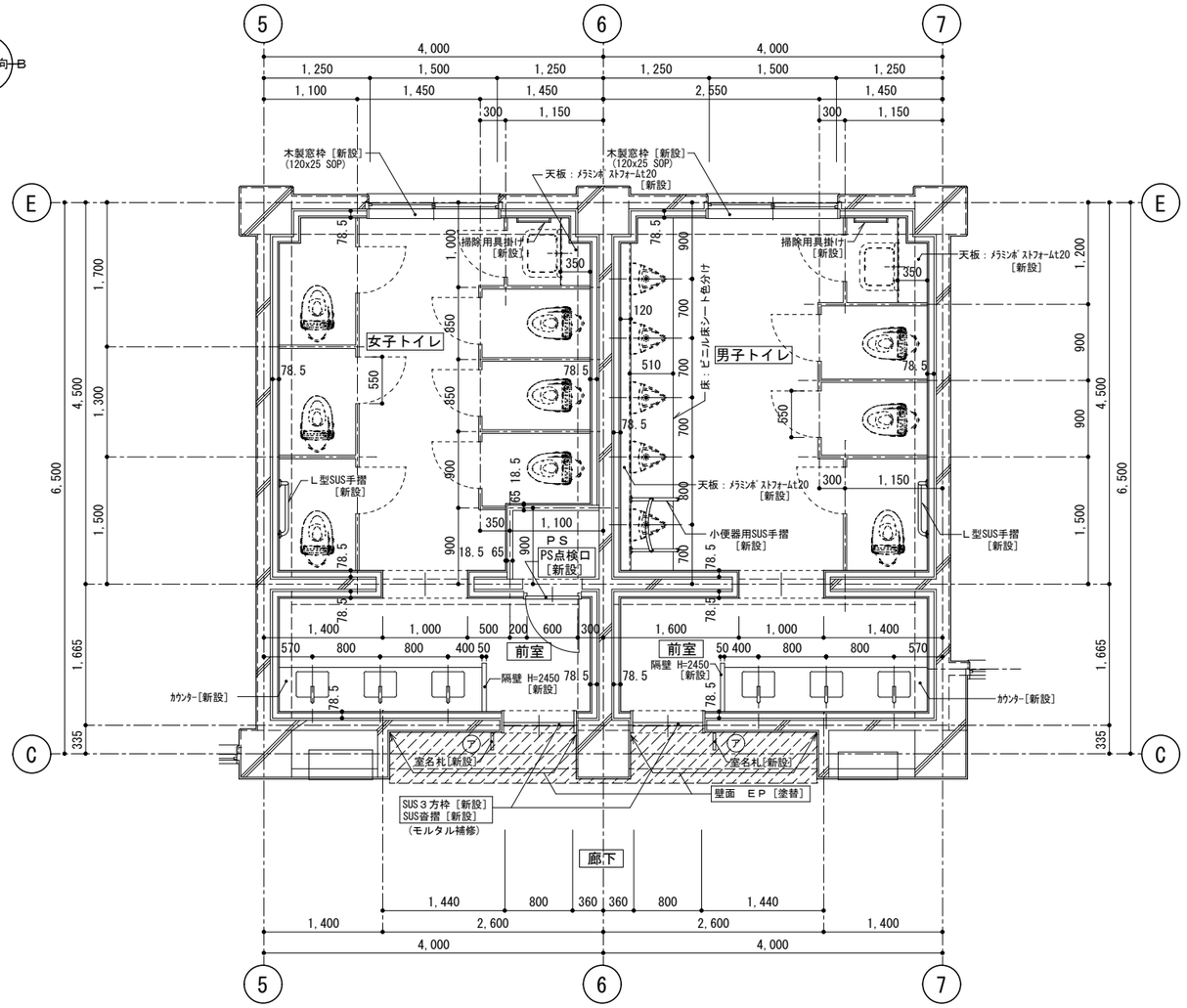
既存梁ラインを示す

CRAFTMAN　ARCHITECTS　&　ASSOCIATES
有限会社　クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号　一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE	坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事	DATE
DRAWN BY	DRW NAME	西棟 3・4階 平面詳細図（既存）	SCALE A2 1/50　A3 1/70
			SHEET NO A-10



西棟 1・2・4階トイレ 平面詳細図（改修）



西棟 3階トイレ 平面詳細図（改修）

女子トイレ・男子トイレ		
床	抗菌ビニル床シートt-2.0貼り　モルタル金コテ下地 t=20～30	［新設］
巾木	ビニル巾木 H=60	［新設］
壁	LGS下地　耐水石膏ボードt=12.5＋化粧ケイ酸カルシウム板t=6.0	［新設］
天井	LGS下地　化粧石こうボード t-9.5(不燃)	［新設］
廻縁	塩ビ製	［新設］
備考	トイレブース ［新設］　天井点検口 ［新設］床下点検口 ［新設］ L型SUS手摺 ［新設］　小便器用SUS手摺 ［新設］　掃除用具掛け ［新設］ ライニング LGS下地　甲板：メラミンポストフォームt=20［新設］	

前室		
床	抗菌ビニル床シートt-2.0貼り	［新設］
巾木	ビニル巾木 H=60	［新設］
壁	LGS下地　耐水石膏ボードt=12.5＋化粧ケイ酸カルシウム板t=6.0	［新設］
天井	LGS下地　化粧石こうボード t-9.5(不燃)	［新設］
廻縁	塩ビ製	［新設］
備考	手洗いカウンター：マーブライトカウンター(参考)	［新設］
	隔板（高圧メラミン樹脂化粧板）	［新設］

廊下	
床	ビニル床タイル t-2.0　［一部新設］
巾木	ラワン ＯＰ［既存のまま］
壁	モルタル金コテ ＥＰ［塗替］
天井	石コウボード t-9.0　ＥＰ［既存のまま］
廻縁	塩ビ製［既存のまま］
備考	室名札［新設］

室名札

㋐ 2ヵ所	木製室名札（突出型） タモ材練付け板 225W×200H ピクトと文字 (株)フジタ ＦＷＹＡ-200Ｒ-ＳＶ(参考)

床仕上一部新設部分を示す（廊下）
ビニル床タイル t-2.0

衛生設備［新設］は機械設備工事

既存梁ラインを示す

女子トイレ・男子トイレ		
床	抗菌ビニル床シートt-2.0貼り　モルタル金コテ下地 t=20～30	［新設］
巾木	ビニル巾木 H=60	［新設］
壁	LGS下地　耐水石膏ボードt=12.5＋化粧ケイ酸カルシウム板t=6.0	［新設］
天井	LGS下地　化粧石こうボード t-9.5(不燃)	［新設］
廻縁	塩ビ製	［新設］
備考	トイレブース ［新設］　天井点検口 ［新設］ L型SUS手摺 ［新設］　小便器用SUS手摺 ［新設］　掃除用具掛け ［新設］ ライニング LGS下地　甲板：メラミンポストフォームt=20［新設］	

前室		
床	抗菌ビニル床シートt-2.0貼り	［新設］
巾木	ビニル巾木 H=60	［新設］
壁	LGS下地　耐水石膏ボードt=12.5＋化粧ケイ酸カルシウム板t=6.0	［新設］
天井	LGS下地　化粧石こうボード t-9.5(不燃)	［新設］
廻縁	塩ビ製	［新設］
備考	手洗いカウンター：マーブライトカウンター(参考)	［新設］
	隔板（高圧メラミン樹脂化粧板）	［新設］

廊下	
床	ビニル床タイル t-2.0　［一部新設］
巾木	ラワン ＯＰ［既存のまま］
壁	モルタル金コテ ＥＰ［塗替］
天井	石コウボード t-9.0　ＥＰ［既存のまま］
廻縁	塩ビ製［既存のまま］
備考	室名札［新設］

室名札

㋐ 2ヵ所	木製室名札（突出型） タモ材練付け板 225W×200H ピクトと文字 (株)フジタ ＦＷＹＡ-200Ｒ-ＳＶ(参考)

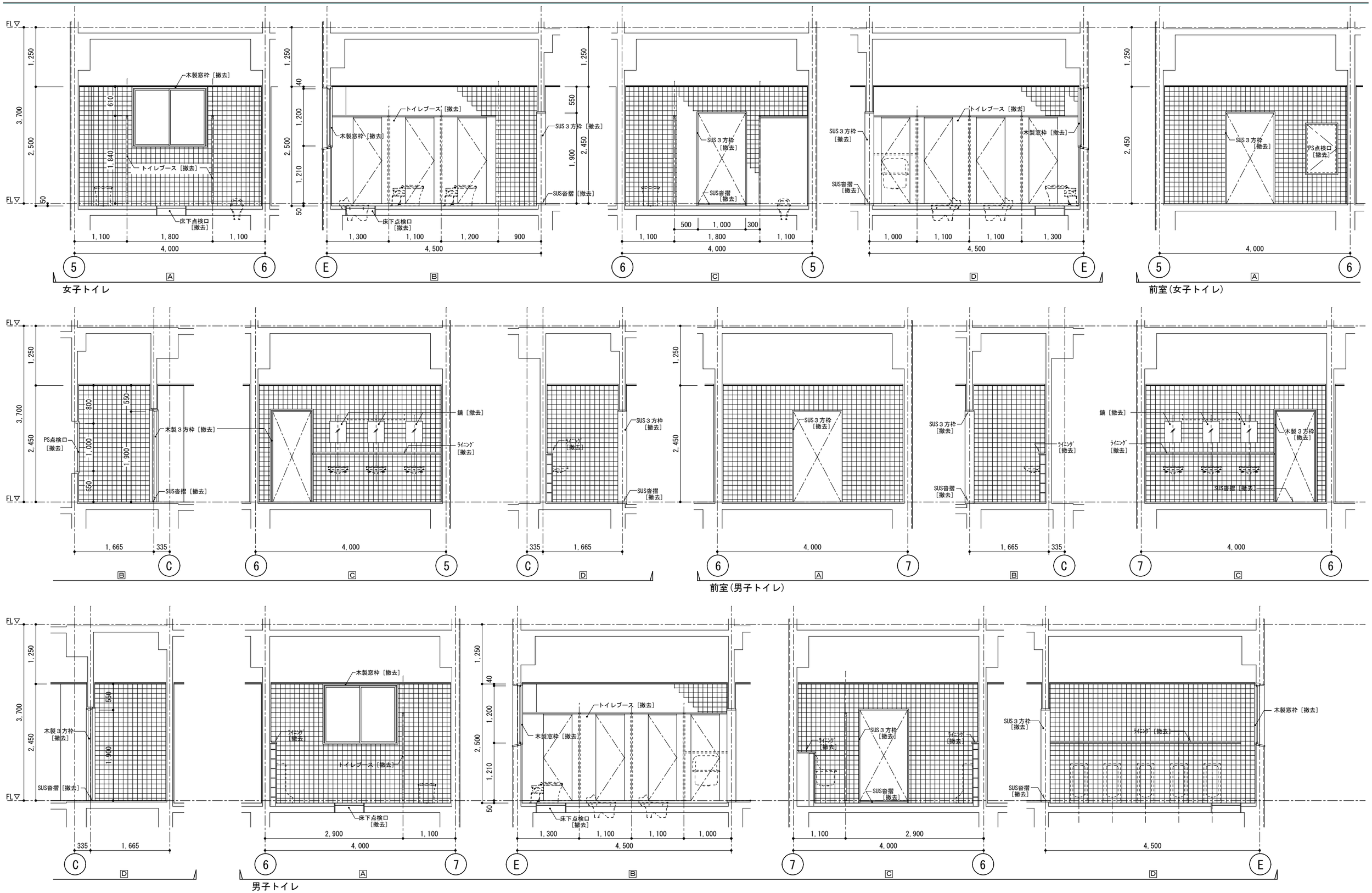
床仕上新設部分を示す
ビニル床タイル t-2.0

衛生設備［新設］は機械設備工事

既存梁ラインを示す

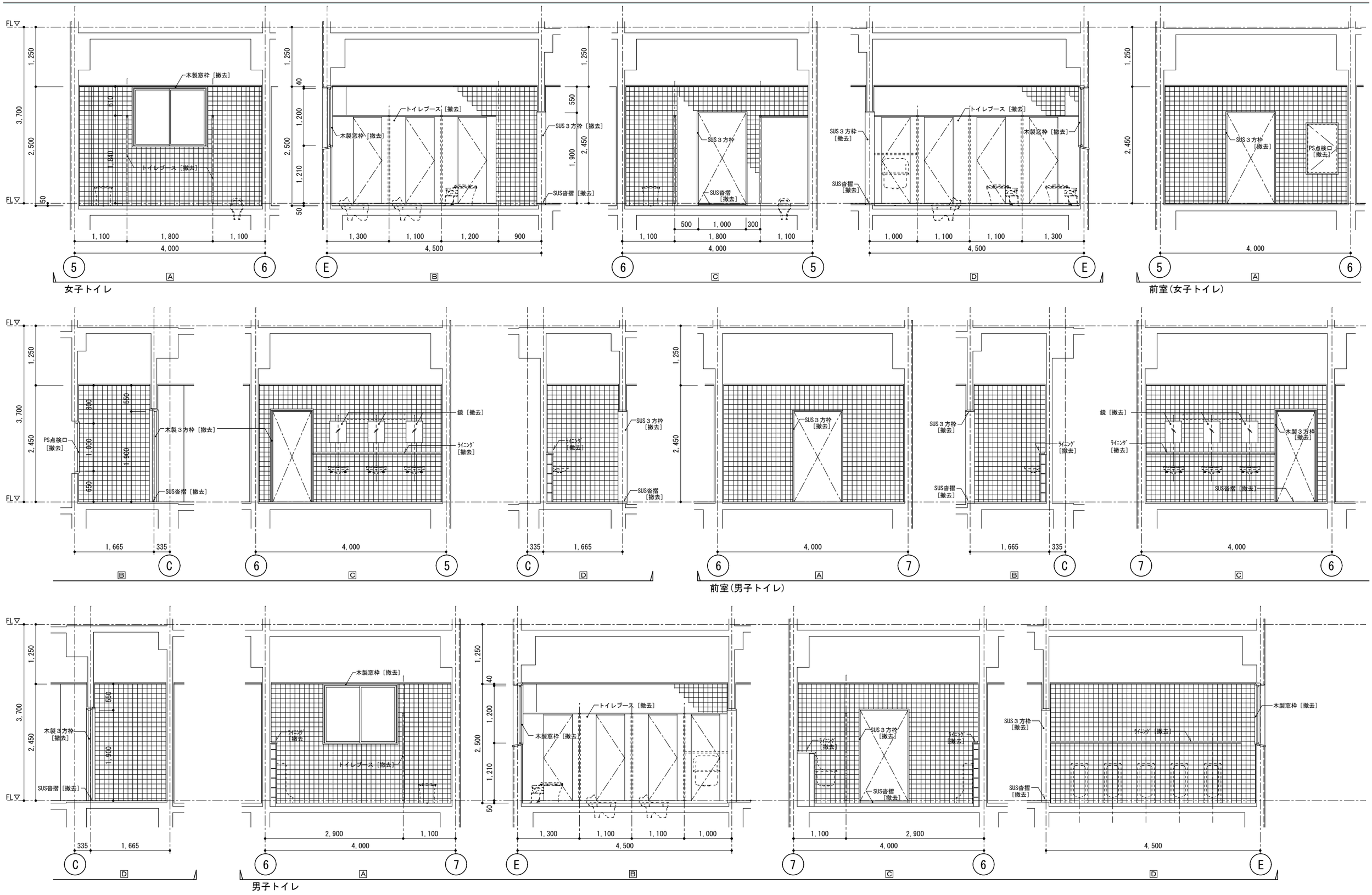
CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES
有限会社 クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号　一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE 坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事		DATE
DRAWN BY	DRW NAME 西棟 1-4階 平面詳細図（改修）	SCALE A2 1/50　A3 1/70	SHEET NO A-11



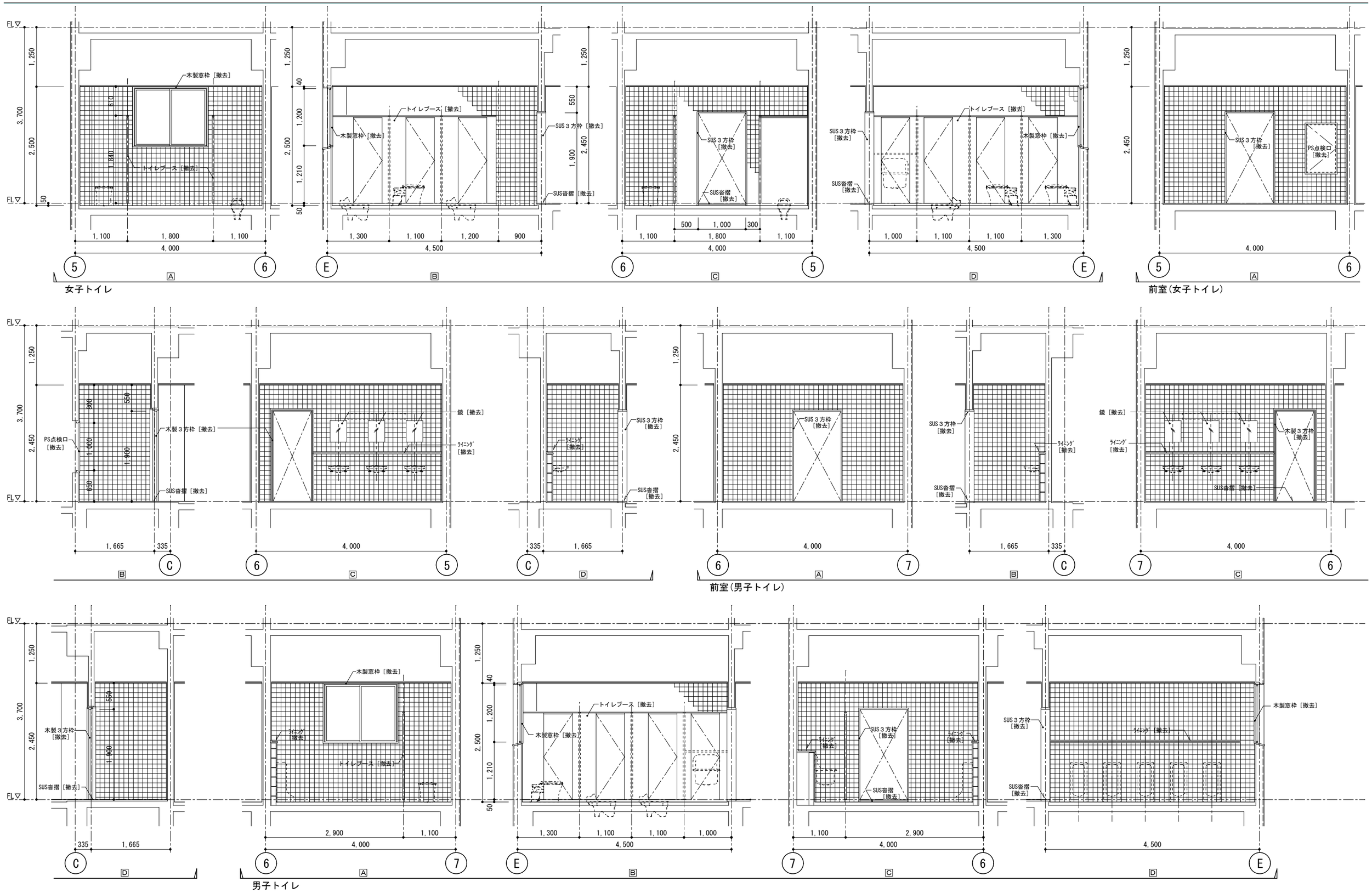
CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES
有限会社 クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号 一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE 坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事		DATE
DRAWN BY	DRW NAME 西棟 1階 展開図（既存）	SCALE A2 1/50 A3 1/70	SHEET NO A-12

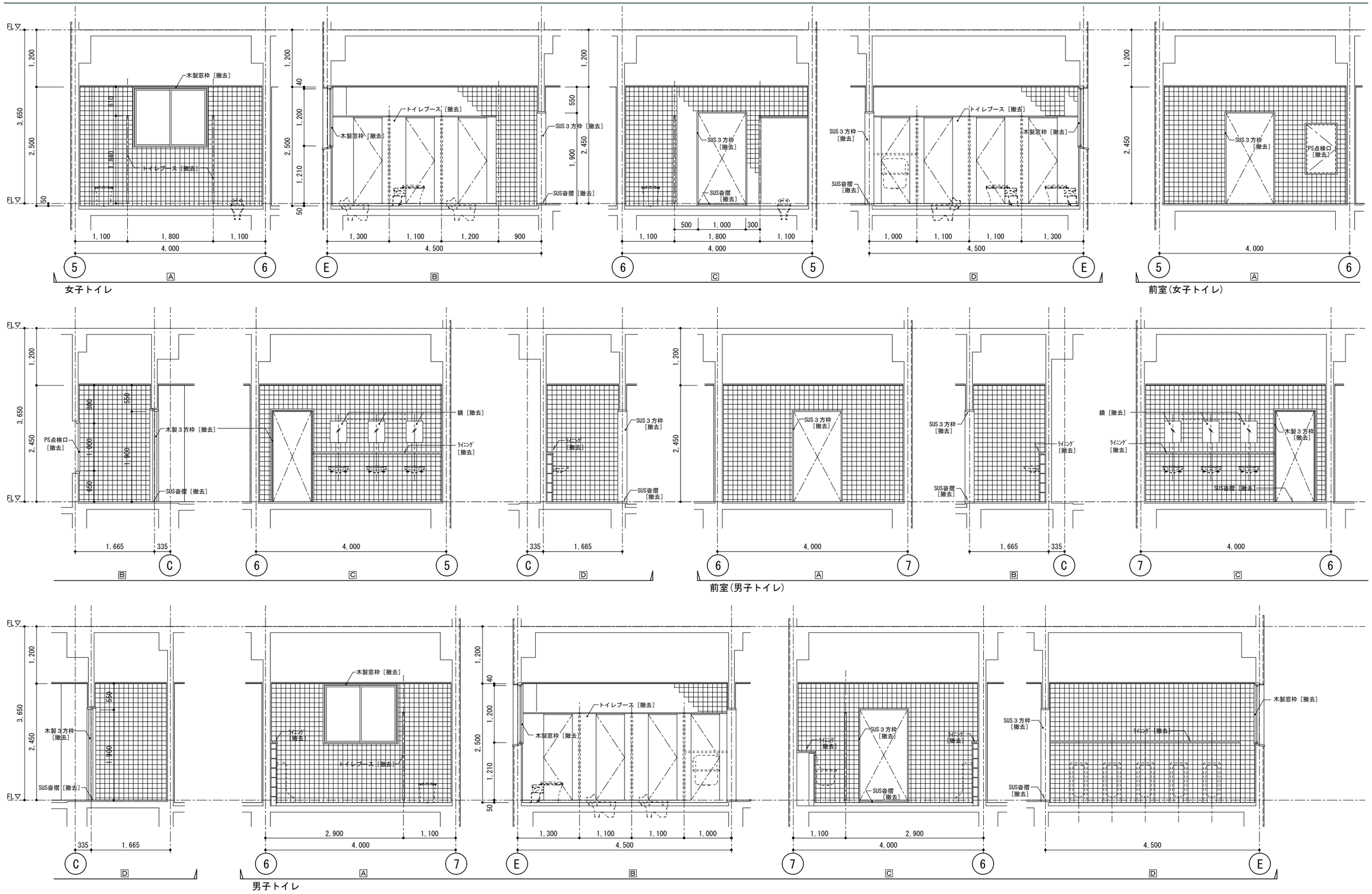


CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES
有限会社 クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号　一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE 坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事		DATE
DRAWN BY	DRW NAME 西棟 2階　展開図（既存）	SCALE A2 1/50　A3 1/70	SHEET NO A-13

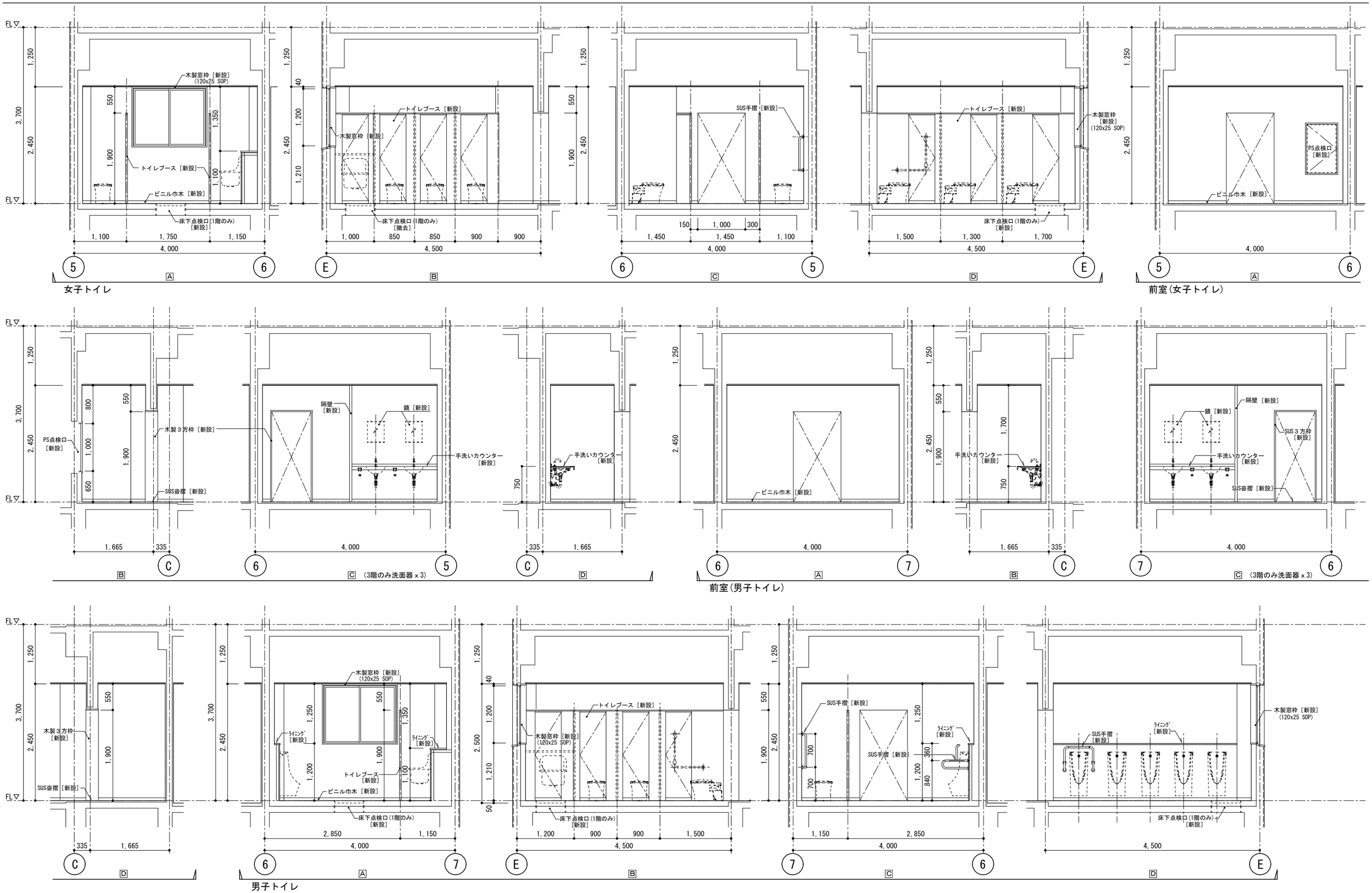


CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES 有限会社 クラフトマン建築設計事務所 一級建築士事務所登録 第6592号 一級建築士登録 第253411号 小泉正義	CHECKED	TITLE 坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事	DATE
	DRAWN BY	DRW NAME 西棟 3階 展開図（既存）	SCALE A2 1/50 A3 1/70
			SHEET NO A-14



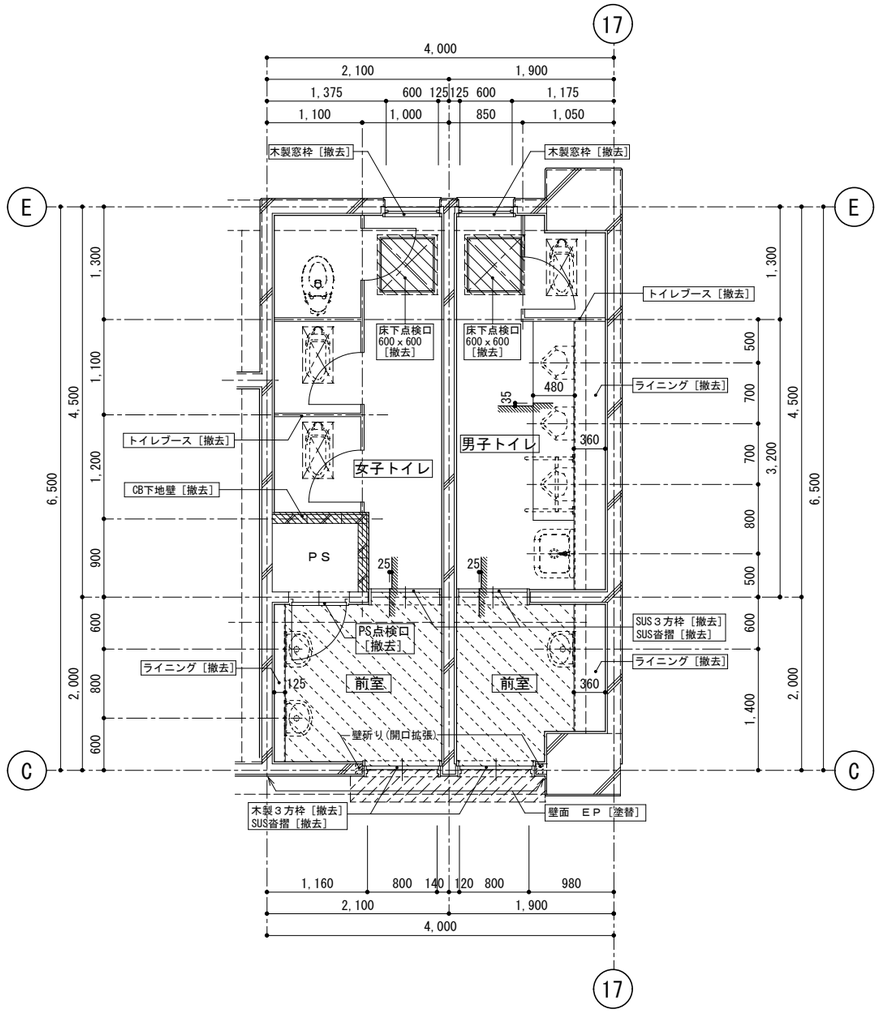
CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES
有限会社 クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号 一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE 坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事		DATE
DRAWN BY	DRW NAME 西棟 4階 展開図（既存）	SCALE A2 1/50 A3 1/70	SHEET NO A-15

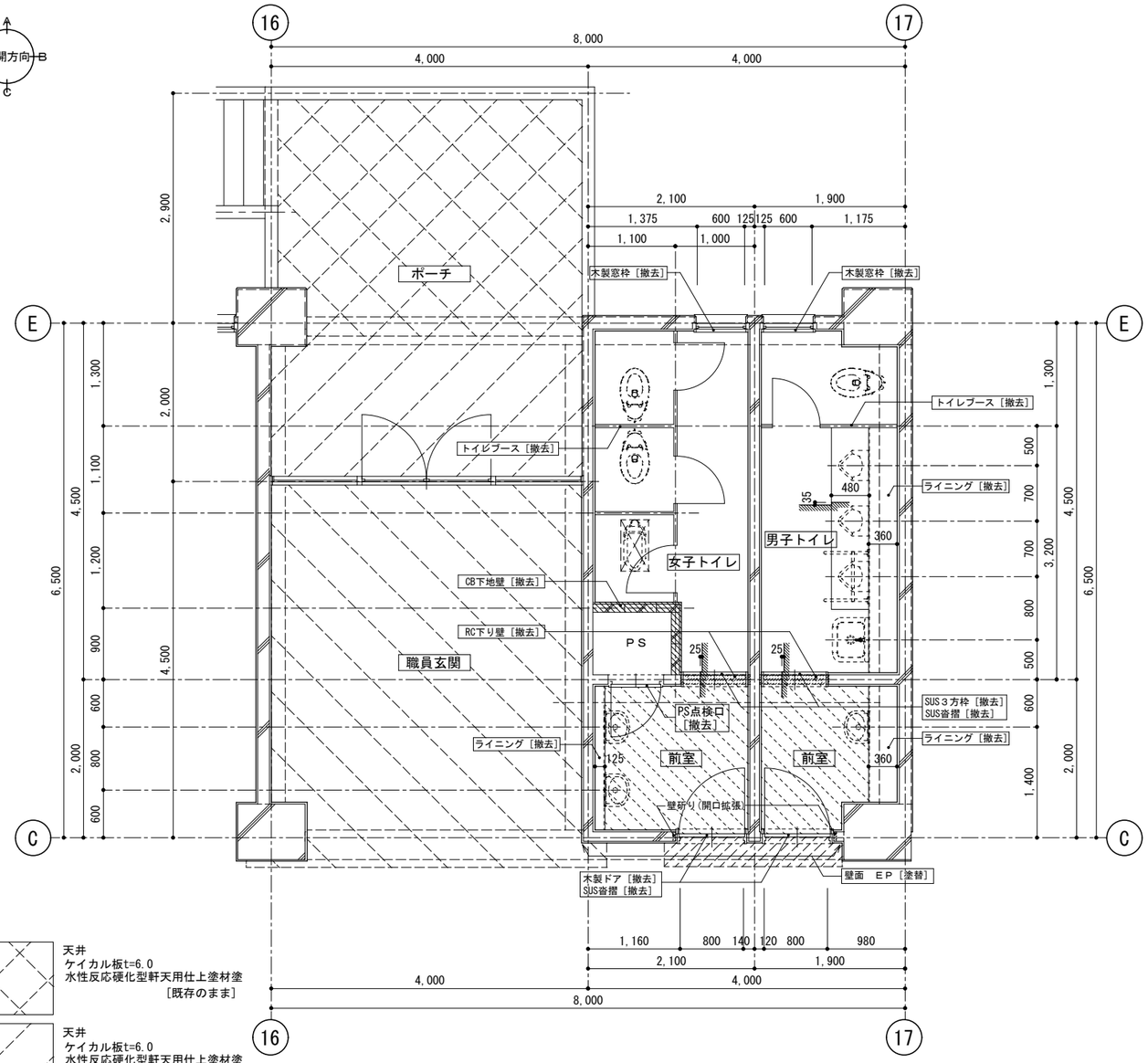


CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES
有限会社 クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号　一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE 坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事		DATE
DRAWN BY	DRW NAME 西棟 1-4階　展開図（改修）	SCALE A2 1/50　A3 1/70	SHEET NO A-16



管理棟　１階トイレ　平面詳細図（既存）



管理棟　２階トイレ　平面詳細図（既存）

天井
ケイカル板t=6.0
水性反応硬化型軒天用仕上塗材塗
［既存のまま］

天井
ケイカル板t=6.0
水性反応硬化型軒天用仕上塗材塗
［取外し］
LGS下地［撤去］

天井
石膏ボードt=9.0 ＥＰ［撤去］
LGS下地［撤去］

ポーチ		
天井	ケイカル板 t6.0 水性反応硬化型軒天用仕上塗材塗り［一部取外し］　LGS下地［一部撤去］	

職員玄関		
天井	石膏ボード t=9.0　ＥＰ［撤去］　LGS下地［撤去］	

女子トイレ・男子トイレ		
床	25角 モザイクタイル貼り	［既存のまま］
巾木	100角 半磁器質タイル貼り	［浮き部分撤去］
壁	100角 半磁器質タイル貼り CB下地ＰＳ壁［撤去］	［浮き部分撤去］
天井	ケイ酸カルシウム板 t=6.0　ＥＰ［撤去］　LGS下地［撤去］	※アスベスト含有
廻縁	塩ビ製［撤去］	
備考	トイレブース［撤去］　天井点検口［撤去］　床下点検口(1階のみ)［撤去］ ライニング CB t=100　甲板：テラゾーブロック［撤去］　PS点検口600x1000［撤去］	

前室		
床	モルタル下地　エポキシ樹脂塗床	［撤去］
巾木	100角 半磁器質タイル貼り	［浮き部分撤去］
壁	100角 半磁器質タイル貼り	［浮き部分撤去］
天井	ケイ酸カルシウム板 t=6.0　ＥＰ［撤去］　LGS下地［撤去］	※アスベスト含有
廻縁	塩ビ製［撤去］	
備考	ライニング CB t=100　甲板：テラゾーブロック［撤去］ SUS３方枠［撤去］　SUS沓摺［撤去］	

廊下		
床	ビニル床タイル t=2.0 ［一部撤去］	※アスベスト含有
巾木	ラワン ＯＰ［既存のまま］	
壁	モルタル金コテ ＥＰ［塗替］	
天井	石膏ボード t=9.0　ＥＰ［既存のまま］	
廻縁	塩ビ製［既存のまま］	
備考	室名札［撤去］ SUS沓摺［撤去］　木製３方枠(1階のみ)［撤去］　木製ドア(2階のみ)［撤去］	

床撤去部分を示す
ビニル床タイル t=2.0

床撤去部分を示す。
モルタル下地　エポキシ樹脂塗床

和便器部分孔閉鎖

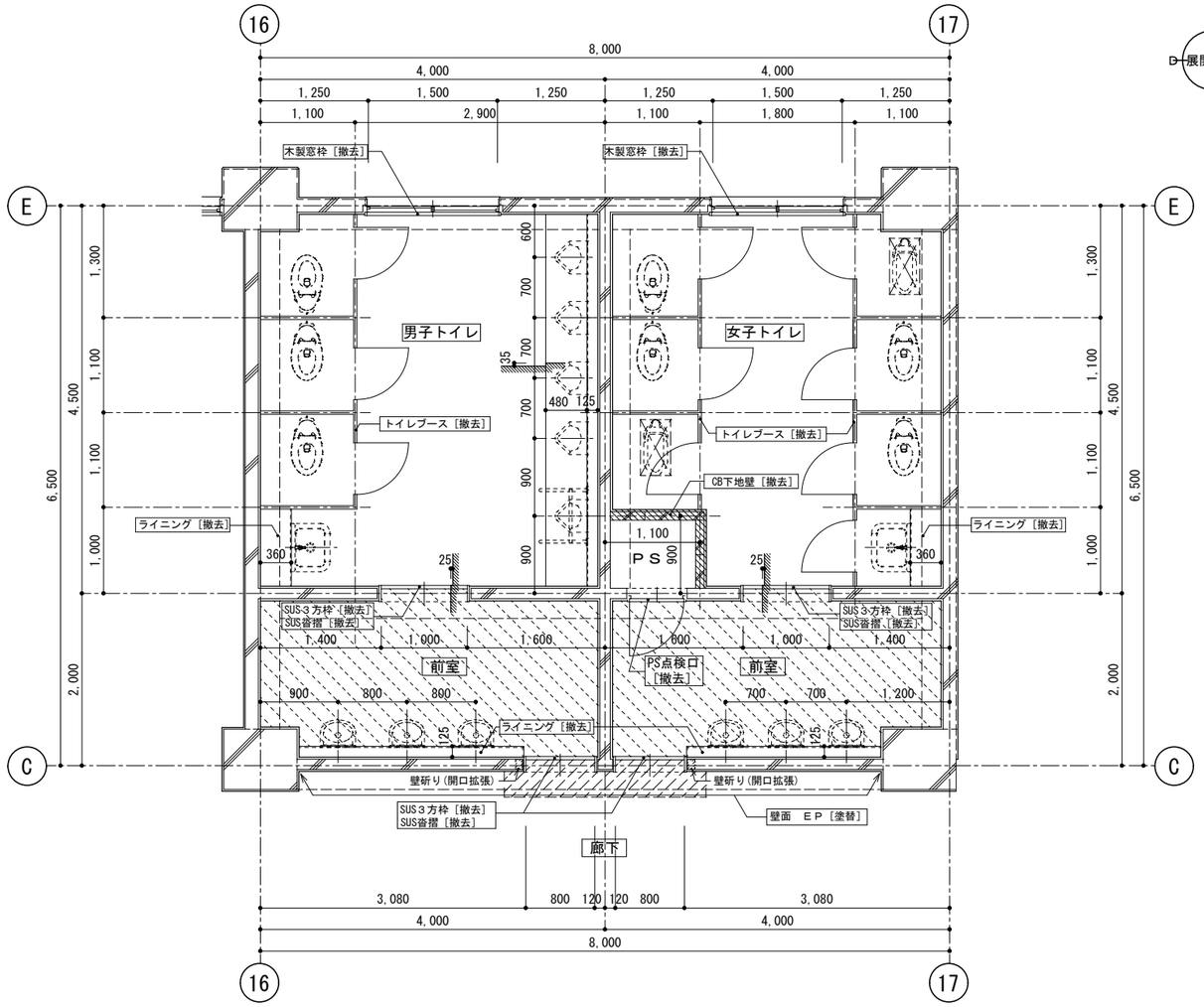
衛生設備［撤去］は機械設備工事

既存梁ラインを示す

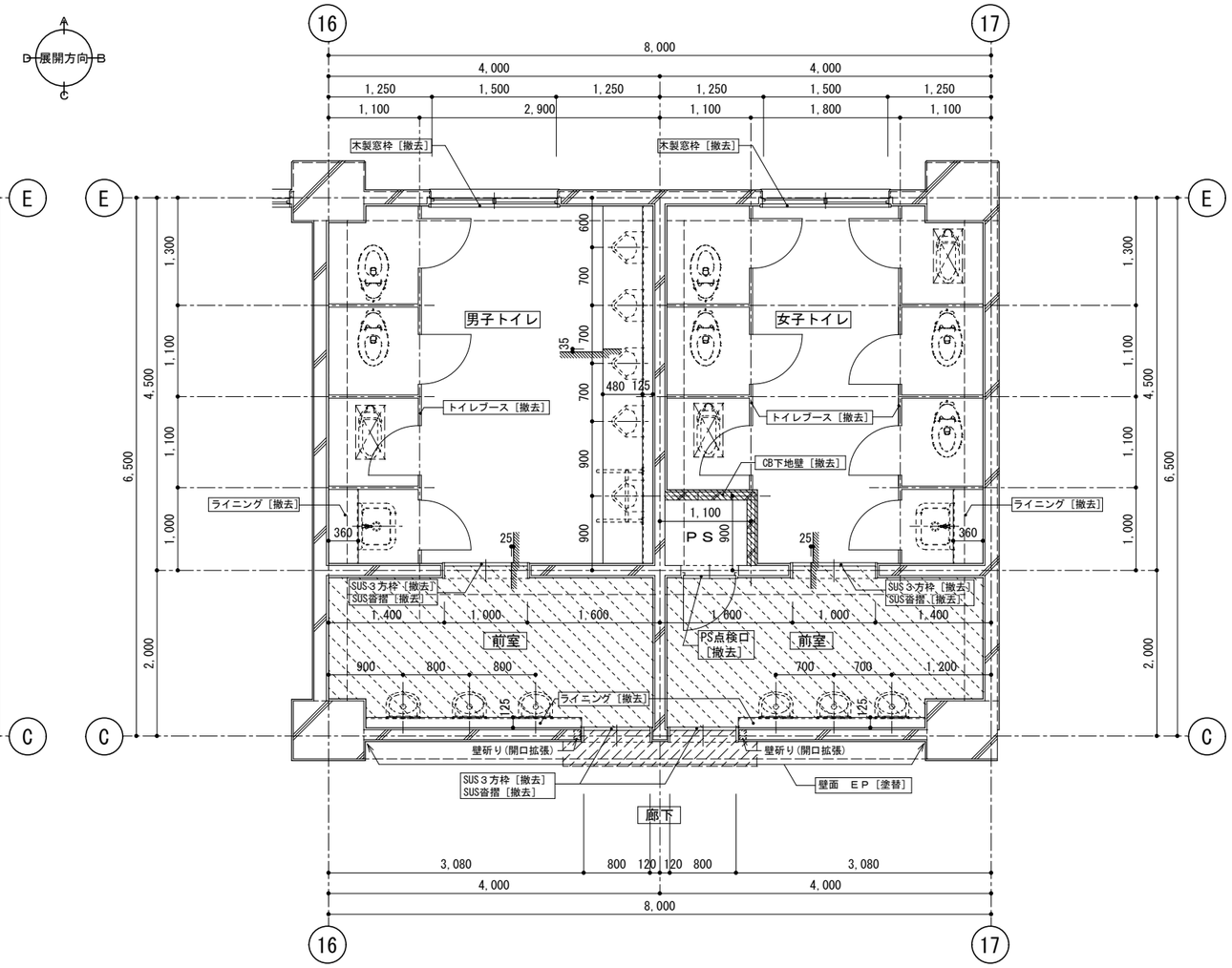
梁下ＲＣ壁［撤去］範囲を示す

CRAFTMAN　ARCHITECTS　&　ASSOCIATES
有限会社　クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号　一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE	坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事		DATE
DRAWN BY	DRW NAME	管理棟 1・2階 平面詳細図（既存）	SCALE A2 1/50　A3 1/70	SHEET NO A-17



管理棟　3階トイレ　平面詳細図（既存）



管理棟　4階トイレ　平面詳細図（既存）

女子トイレ・男子トイレ		
床	25角 モザイクタイル貼り	［既存のまま］
巾木	100角 半磁器質タイル貼り	［浮き部分撤去］
壁	100角 半磁器質タイル貼り LGS下地ＰＳ壁［撤去］	［浮き部分撤去］
天井	ケイ酸カルシウム板 t=6.0　ＥＰ［撤去］　LGS下地［撤去］	※アスベスト含有
廻縁	塩ビ製［撤去］	
備考	トイレブース［撤去］　天井点検口［撤去］ ライニング CB t=100　甲板：テラゾーブロック［撤去］　PS点検口600x1000［撤去］	

前室		
床	モルタル下地　エポキシ樹脂塗床	［撤去］
巾木	100角 半磁器質タイル貼り	［浮き部分撤去］
壁	100角 半磁器質タイル貼り	［浮き部分撤去］
天井	ケイ酸カルシウム板 t=6.0　ＥＰ［撤去］　LGS下地［撤去］	※アスベスト含有
廻縁	塩ビ製［撤去］	
備考	ライニング CB t=100　甲板：テラゾーブロック［撤去］ SUS３方枠［撤去］　SUS沓摺［撤去］	

廊下		
床	ビニル床タイル t=2.0 ［一部撤去］	※アスベスト含有
巾木	ラワン ＯＰ［既存のまま］	
壁	モルタル金コテ ＥＰ［塗替］	
天井	石膏ボード t=9.0　ＥＰ［既存のまま］	
廻縁	塩ビ製［既存のまま］	
備考	室名札［撤去］　SUS３方枠［撤去］　SUS沓摺［撤去］	

床撤去部分を示す
ビニル床タイル　t=2.0

床撤去部分を示す。
モルタル下地　エポキシ樹脂塗床

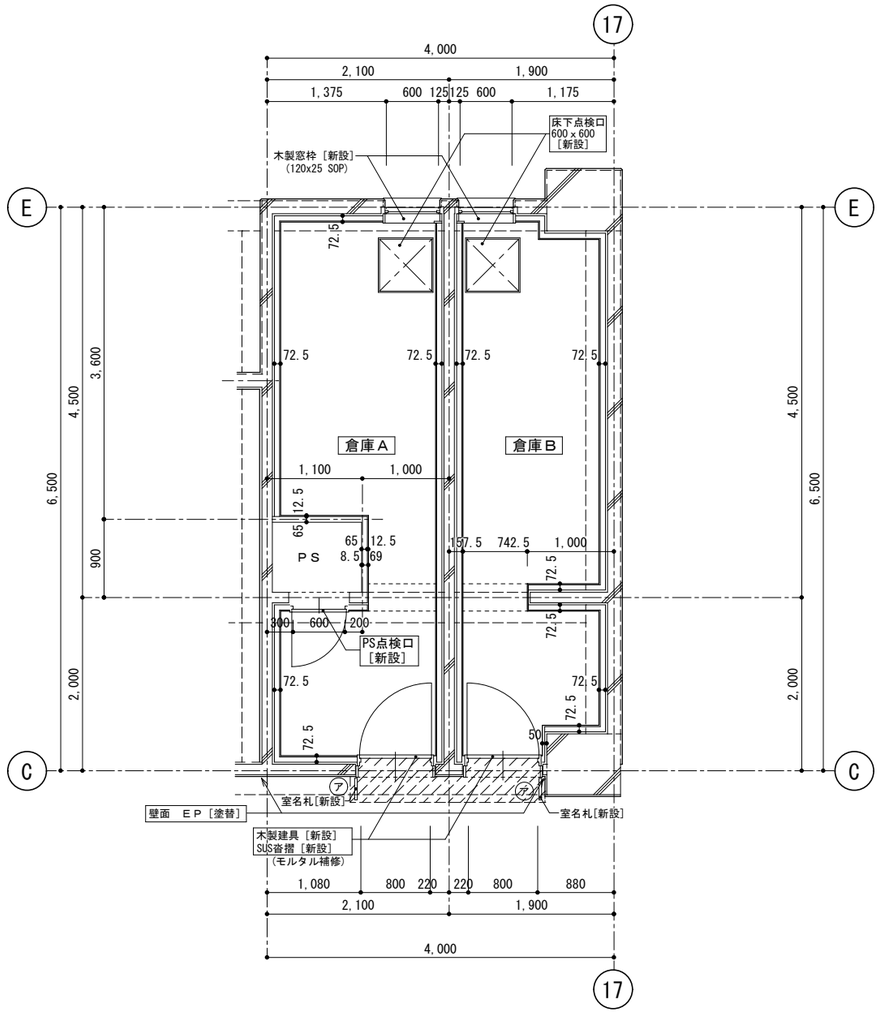
和便器部分孔閉鎖

衛生設備［撤去］は機械設備工事

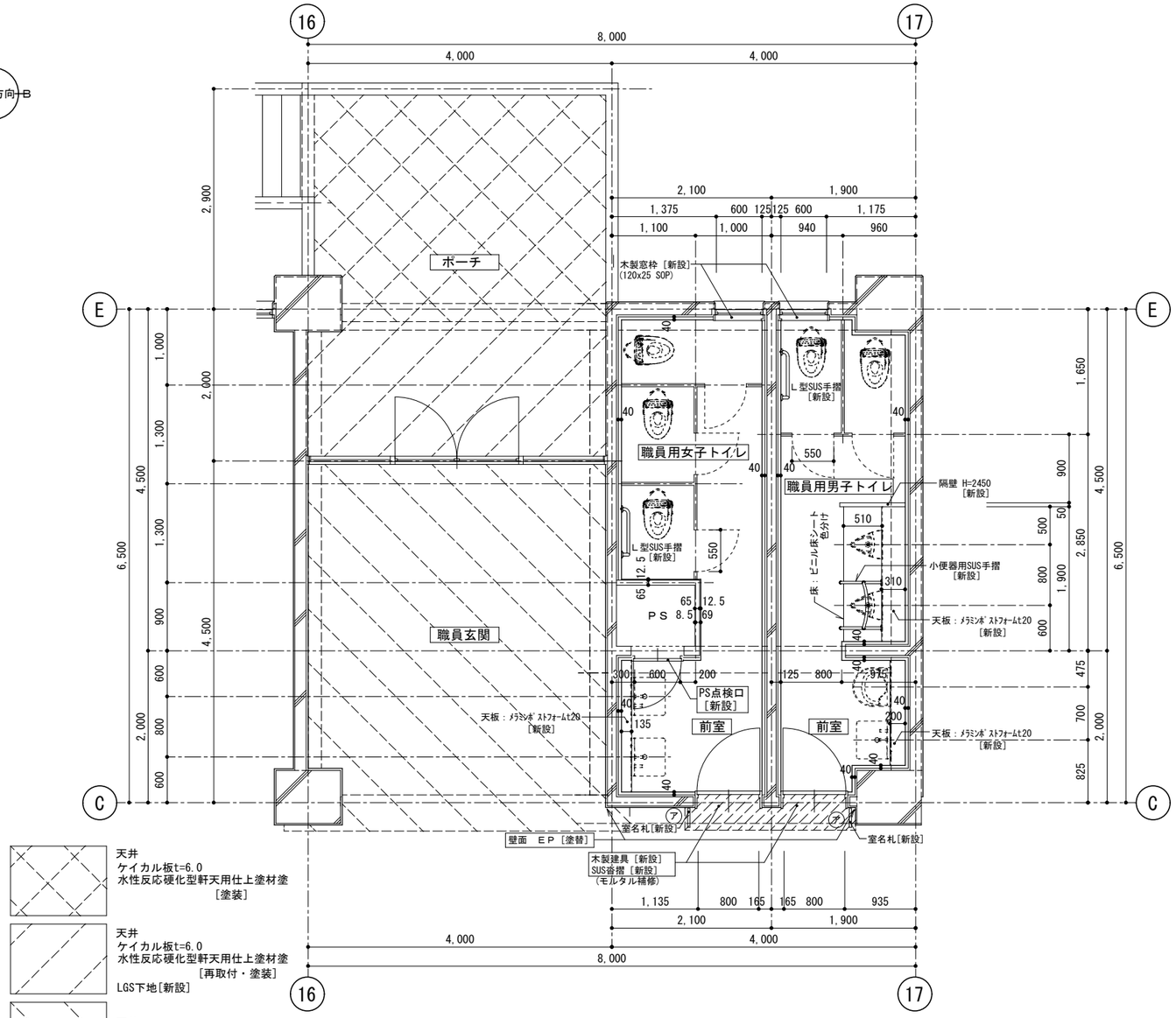
既存梁ラインを示す

CRAFTMAN　ARCHITECTS　&　ASSOCIATES
有限会社　クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号　一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE	坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事	DATE
DRAWN BY	DRW NAME	管理棟 3・4階 平面詳細図（既存）	SCALE A2 1/50　A3 1/70
			SHEET NO A-18



管理棟　1階 倉庫 平面詳細図（改修）



管理棟　2階トイレ 平面詳細図（改修）

天井
ケイカル板t=6.0
水性反応硬化型軒天用仕上塗材塗
［塗装］

天井
ケイカル板t=6.0
水性反応硬化型軒天用仕上塗材塗
［再取付・塗装］
LGS下地［新設］

天井
石膏ボードt=9.0 EP［新設］
LGS下地［新設］

倉庫A・B		
床	抗菌ビニル床シートt-2.0貼り　一部 モルタル金コテ下地 t=20～30	［新設］
巾木	ビニル巾木 H=60	［新設］
壁	LGS下地　耐水石膏ボードt=12.5＋ビニールクロス	［新設］
天井	LGS下地　化粧石こうボード t-9.5(不燃)	［新設］
廻縁	塩ビ製	［新設］
備考	天井点検口［新設］床下点検口［新設］	

廊下	
床	ビニル床タイル t-2.0 ［一部新設］
巾木	ラワン OP［既存のまま］
壁	モルタル金コテ EP［塗替］
天井	石コウボード t-9.0 EP［既存のまま］
廻縁	塩ビ製［既存のまま］
備考	室名札［新設］

室名札

㋐ 2ヵ所	木製室名札（突出型） タモ材練付け板 225W×200H ピクトと文字 (株)フジタ FWYA-200R-SV(参考)

床仕上一部新設部分を示す（廊下）
ビニル床タイル t-2.0

－－－－－ 既存梁ラインを示す

女子トイレ・男子トイレ		
床	抗菌ビニル床シートt-2.0貼り　モルタル金コテ下地 t=20～30	［新設］
巾木	ビニル巾木 H=60	［新設］
壁	耐水石膏ボードt=12.5＋化粧ケイ酸カルシウム板t=6.0	［新設］
天井	LGS下地　化粧石こうボード t-9.5(不燃)	［新設］
廻縁	塩ビ製	［新設］
備考	トイレブース［新設］　天井点検口［新設］ L型SUS手摺［新設］　小便器用SUS手摺［新設］ ライニング LGS下地　甲板：メラミンポストフォームt=20［新設］ 隔板（高圧メラミン樹脂化粧板）［新設］	

前室		
床	抗菌ビニル床シートt-2.0貼り	［新設］
巾木	ビニル巾木 H=60	［新設］
壁	耐水石膏ボードt=12.5＋化粧ケイ酸カルシウム板t=6.0	［新設］
天井	LGS下地　化粧石こうボード t-9.5(不燃)	［新設］
廻縁	塩ビ製	［新設］
備考	ライニング LGS下地　甲板：メラミンポストフォームt=20	［新設］

ポーチ	
天井	ケイカル板 t6.0 水性反応硬化型軒天用仕上塗材塗り［一部再取付・全面塗装］ LGS下地［一部新設］

職員玄関	
天井	石膏ボード t=9.0 EP［新設］　LGS下地［新設］

廊下	
床	ビニル床タイル t-2.0 ［一部新設］
巾木	ラワン OP［既存のまま］
壁	モルタル金コテ EP［塗替］
天井	石コウボード t-9.0 EP［既存のまま］
廻縁	塩ビ製［既存のまま］
備考	室名札［新設］

室名札

㋐ 2ヵ所	木製室名札（突出型） タモ材練付け板 225W×200H ピクトと文字 (株)フジタ FWYA-200R-SV(参考)

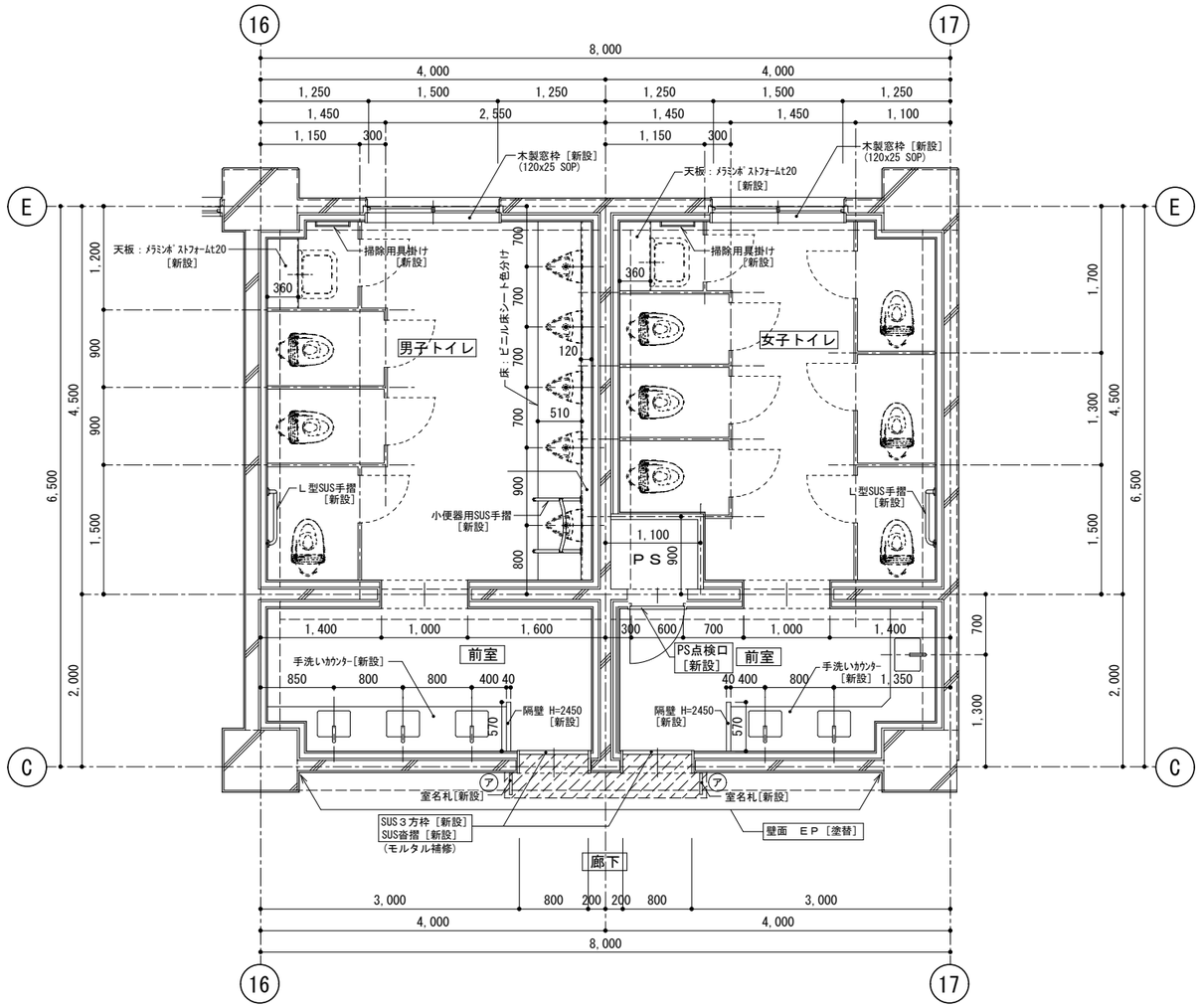
床仕上一部新設部分を示す（廊下）
ビニル床タイル t-2.0

－－－－－－－－ 衛生設備［新設］は機械設備工事

－－－－－ 既存梁ラインを示す

CRAFTMAN　ARCHITECTS　&　ASSOCIATES
有限会社　クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号　一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE	DATE
	坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事	
DRAWN BY	DRW NAME	SCALE / SHEET NO
	管理棟 1・2階 平面詳細図（改修）	A2 1/50　A3 1/70　A-19



管理棟 ３・４階トイレ 平面詳細図（改修）

女子トイレ・男子トイレ		
床	抗菌ビニル床シートt-2.0貼り　モルタル金コテ下地 t=20～30	［新設］
巾木	ビニル巾木 H=60	［新設］
壁	LGS下地　耐水石膏ボードt=12.5＋化粧ケイ酸カルシウム板t=6.0	［新設］
天井	LGS下地　化粧石こうボード t-9.5(不燃)	［新設］
廻縁	塩ビ製	［新設］
備考	トイレブース［新設］　天井点検口［新設］ Ｌ型SUS手摺［新設］　小便器用SUS手摺［新設］　掃除用具掛け［新設］ ライニング LGS下地　甲板：メラミンポストフォームt=20［新設］	

前室		
床	抗菌ビニル床シートt-2.0貼り	［新設］
巾木	ビニル巾木 H=60	［新設］
壁	LGS下地　耐水石膏ボードt=12.5＋化粧ケイ酸カルシウム板t=6.0	［新設］
天井	LGS下地　化粧石こうボード t-9.5(不燃)	［新設］
廻縁	塩ビ製	［新設］
備考	手洗いカウンター：マーブライトカウンター(参考) 隔板（高圧メラミン樹脂化粧板）	［新設］ ［新設］

廊下	
床	ビニル床タイル t-2.0 ［一部新設］
巾木	ラワン ＯＰ［既存のまま］
壁	モルタル金コテ ＥＰ［塗替］
天井	石コウボード t-9.0 ＥＰ［既存のまま］
廻縁	塩ビ製［既存のまま］
備考	室名札［新設］

室名札

㋐ 2ヵ所	木製室名札（突出型） タモ材練付け板 225W×200H ピクトと文字 (株)フジタ ＦＷＹＡ-200Ｒ-ＳＶ(参考)

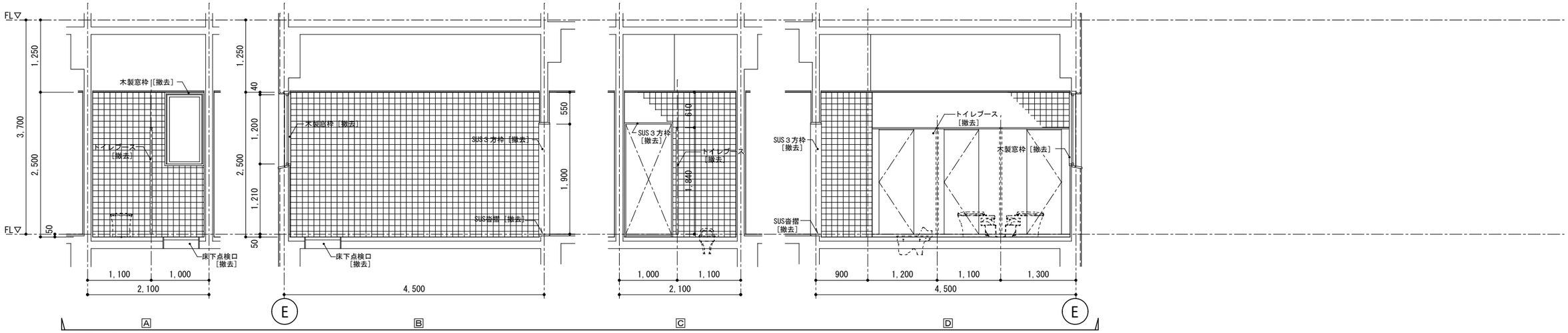
床仕上一部新設部分を示す（廊下）
ビニル床タイル t-2.0

- - - - - - - - 衛生設備［新設］は機械設備工事

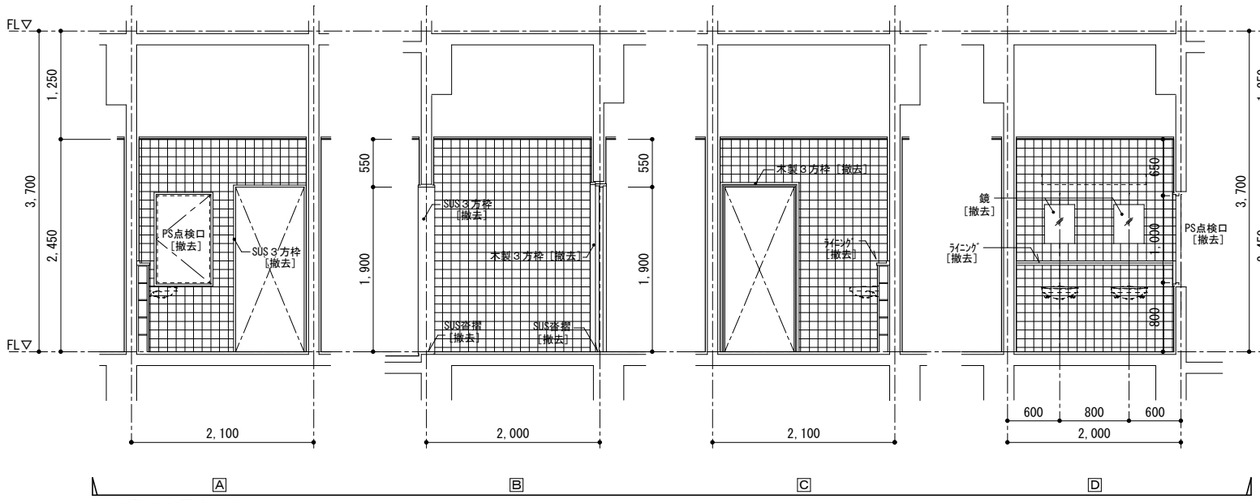
－－－－－ 既存梁ラインを示す

CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES
有限会社 クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号　一級建築士登録 第253411号 小泉正義

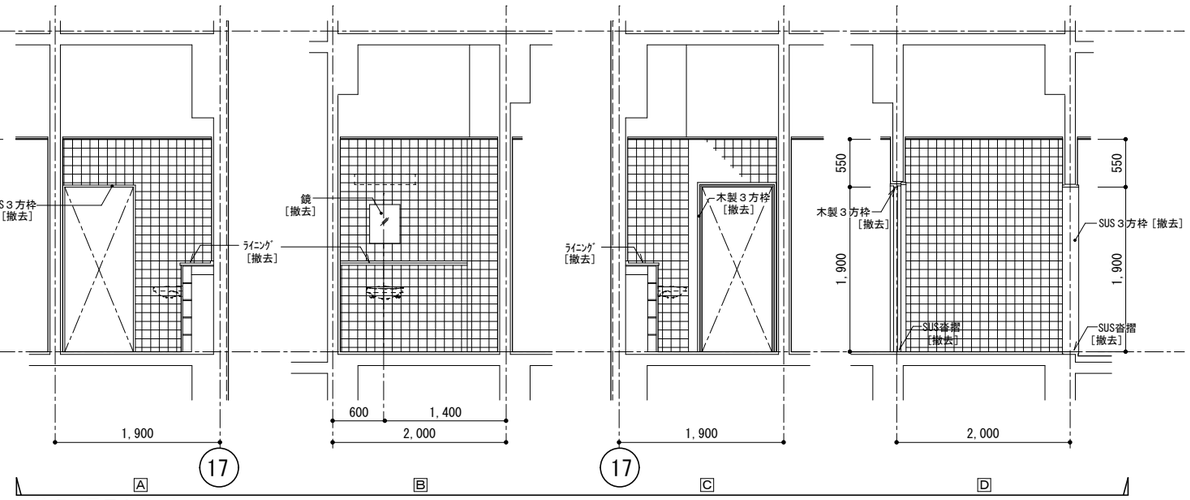
CHECKED	TITLE	坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事	DATE
DRAWN BY	DRW NAME	管理棟 3・4階 平面詳細図（改修）	SCALE A2 1/50 A3 1/70
			SHEET NO A-20



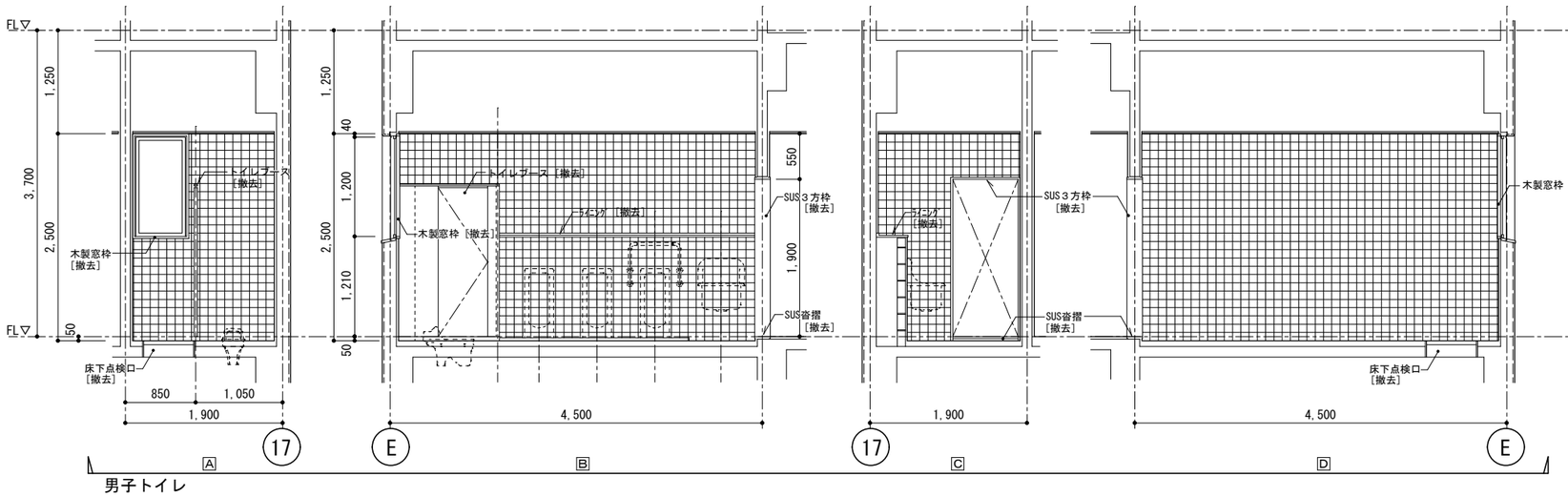
女子トイレ



前室（女子トイレ）

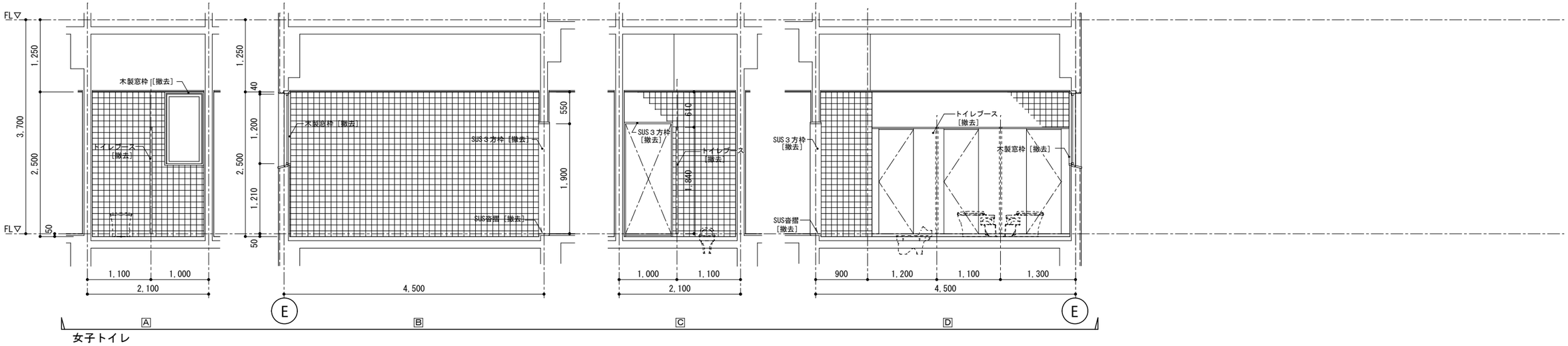


前室（男子トイレ）

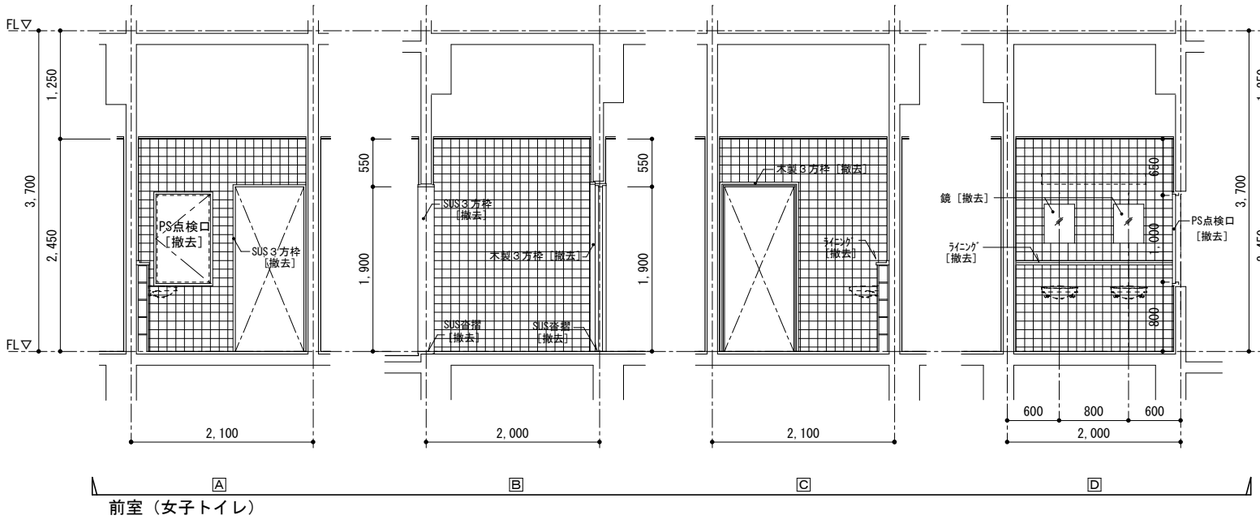


男子トイレ

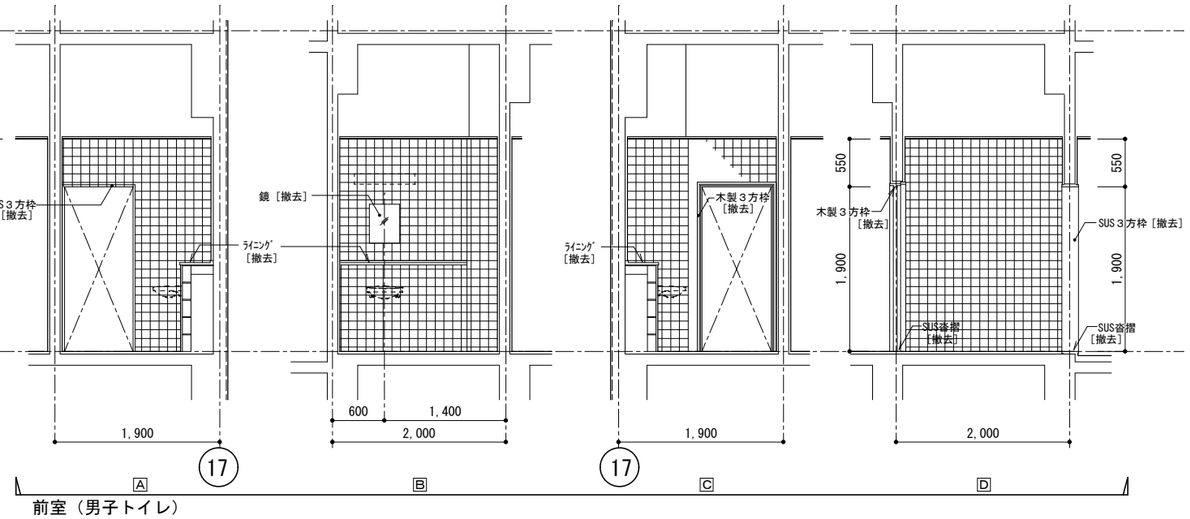
CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES 有限会社 クラフトマン建築設計事務所 一級建築士事務所登録 第6592号 一級建築士登録 第253411号 小泉正義	CHECKED	TITLE 坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事		DATE
	DRAWN BY	DRW NAME 管理棟 1階 展開図（既存）	SCALE A2 1/50 A3 1/70	SHEET NO A-21



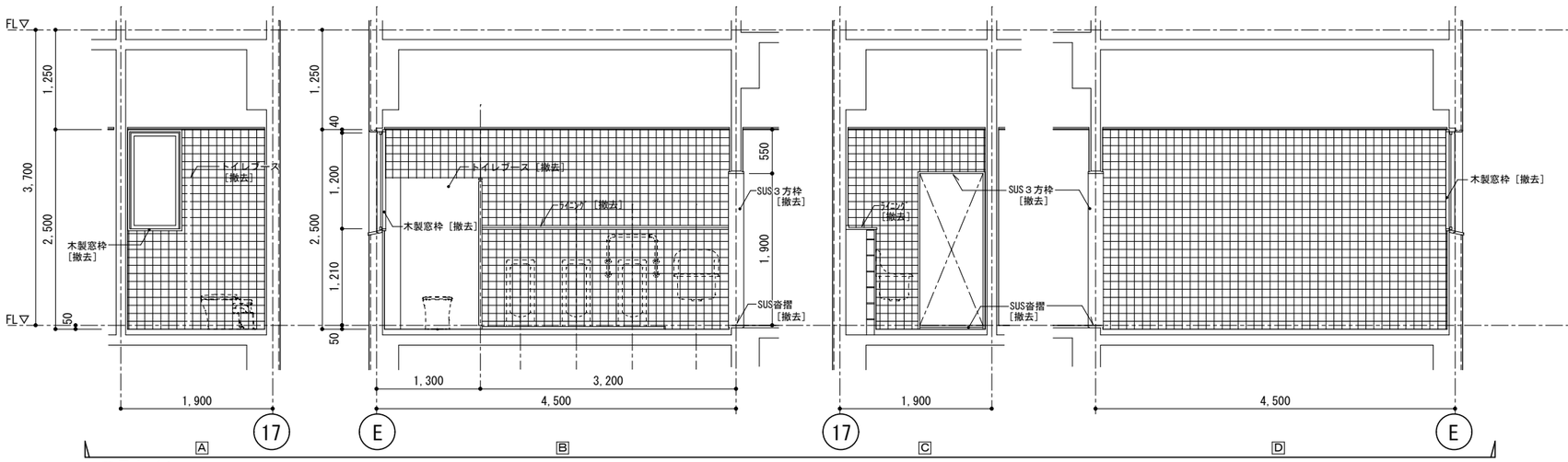
女子トイレ



前室（女子トイレ）



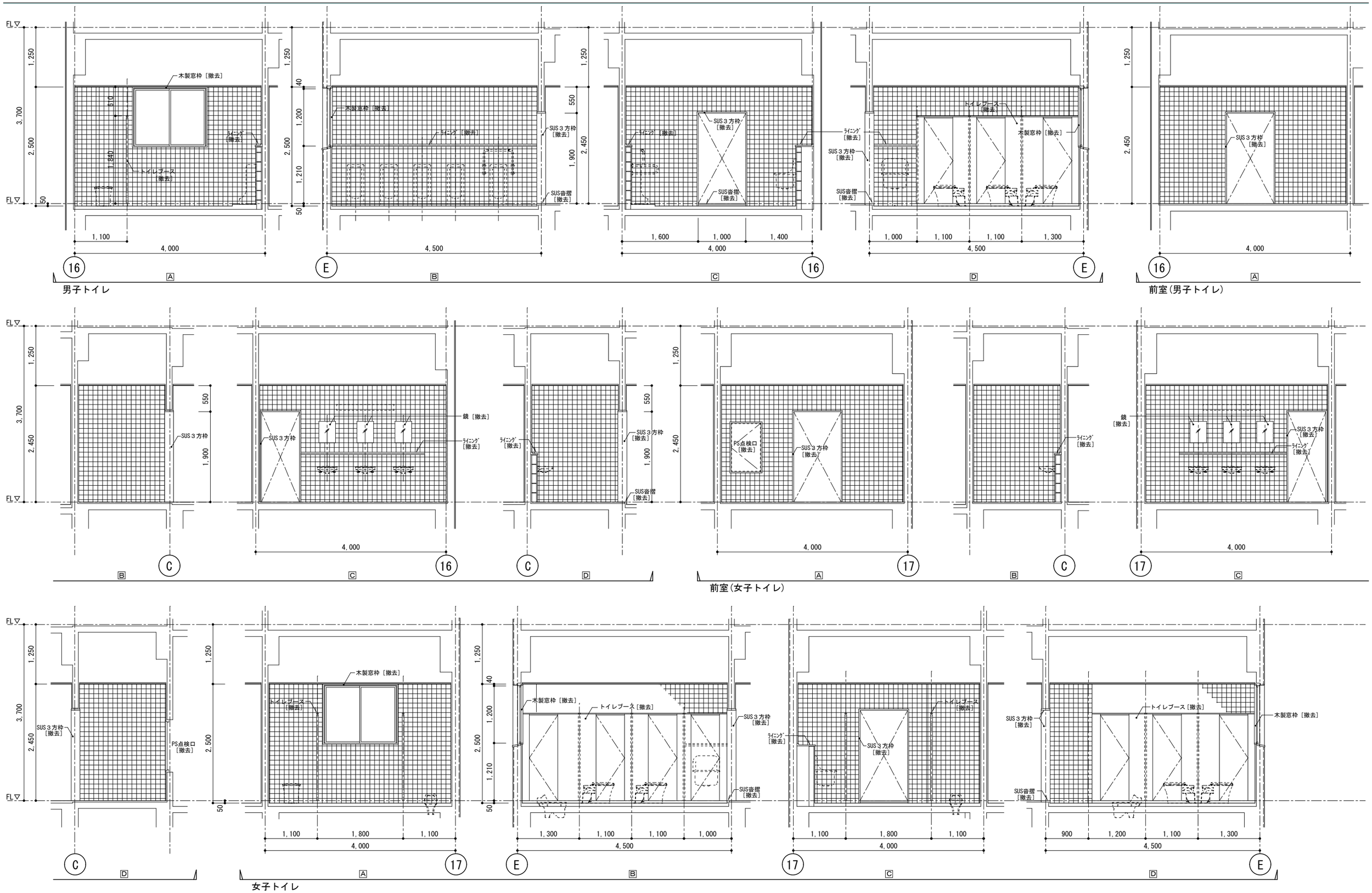
前室（男子トイレ）



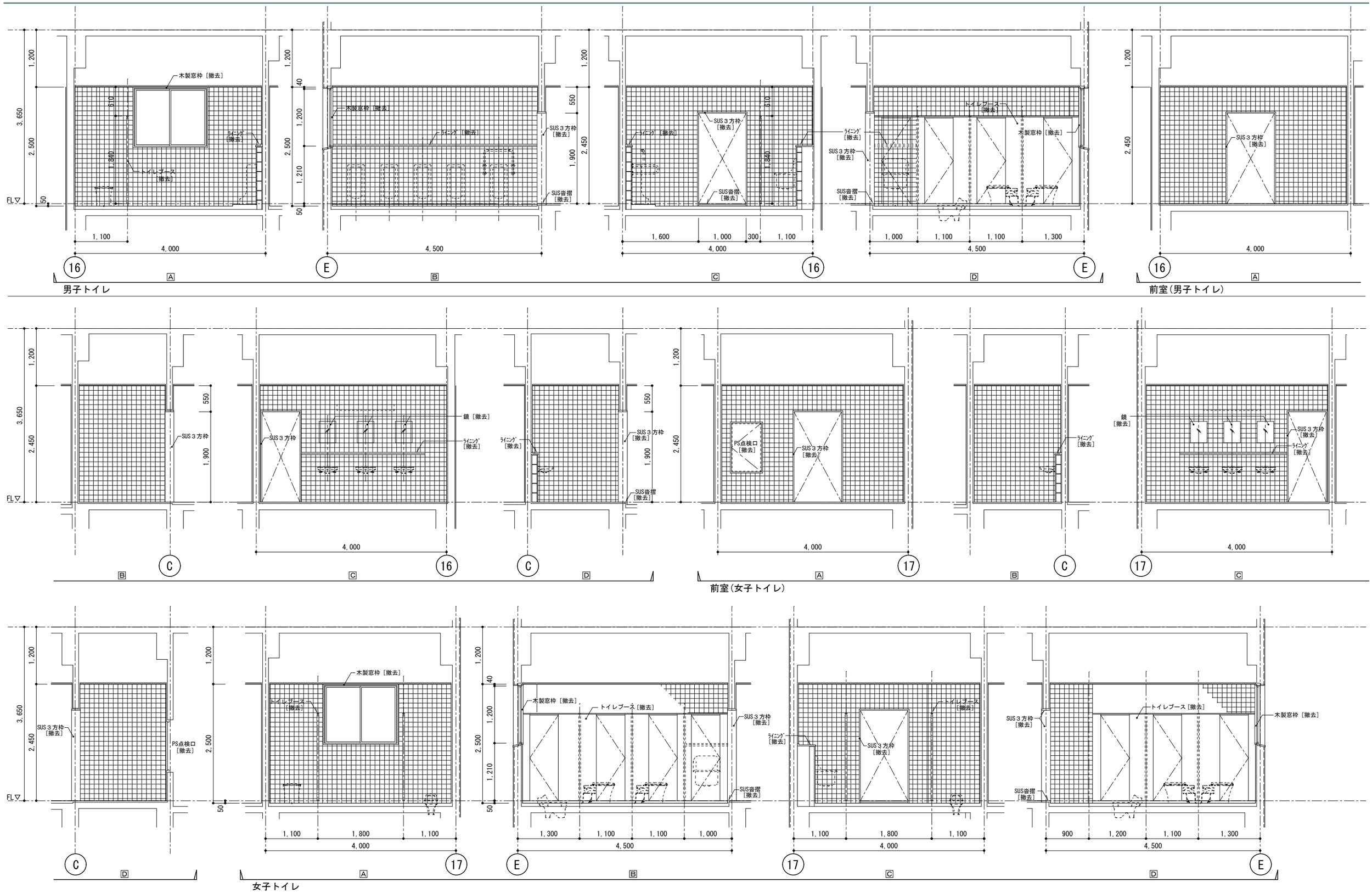
男子トイレ

CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES
有限会社 クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号 一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE 坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事		DATE
DRAWN BY	DRW NAME 管理棟 2階 展開図（既存）	SCALE A2 1/50 A3 1/70	SHEET NO A-22

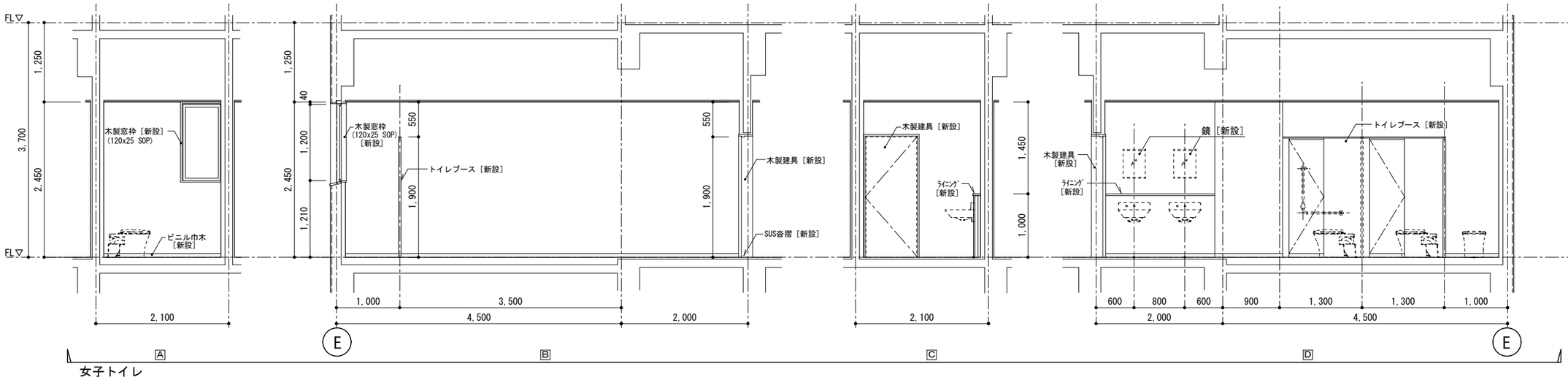


CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES 有限会社 クラフトマン建築設計事務所 一級建築士事務所登録 第6592号　一級建築士登録 第253411号 小泉正義	CHECKED	TITLE 坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事	DATE
	DRAWN BY	DRW NAME 管理棟 3階　展開図（既存）	SCALE A2 1/50　A3 1/70
			SHEET NO A-23

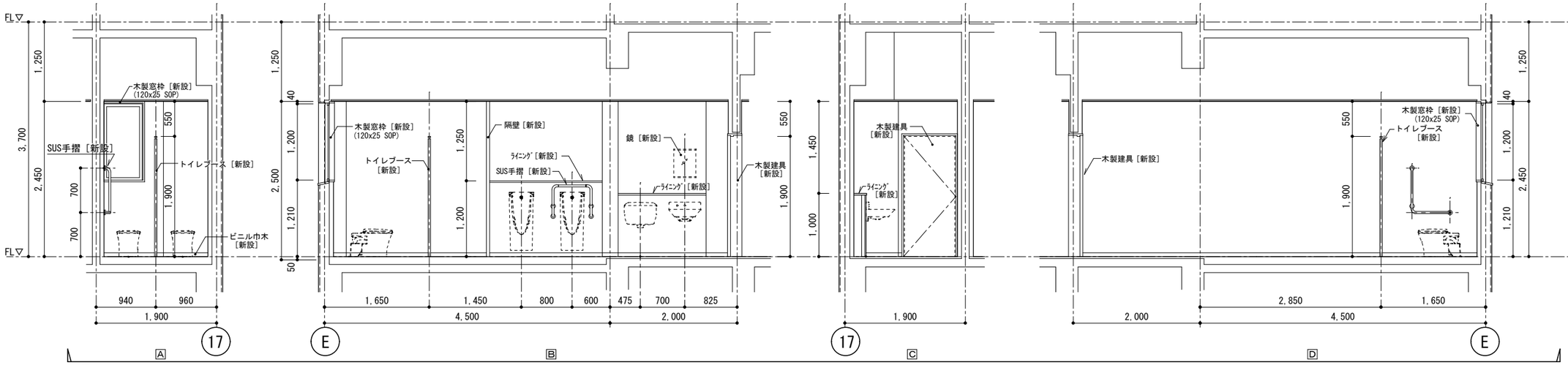


CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES
有限会社 クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号　一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE 坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事		DATE
DRAWN BY	DRW NAME 管理棟 4階 展開図（既存）	SCALE A2 1/50 A3 1/70	SHEET NO A-24



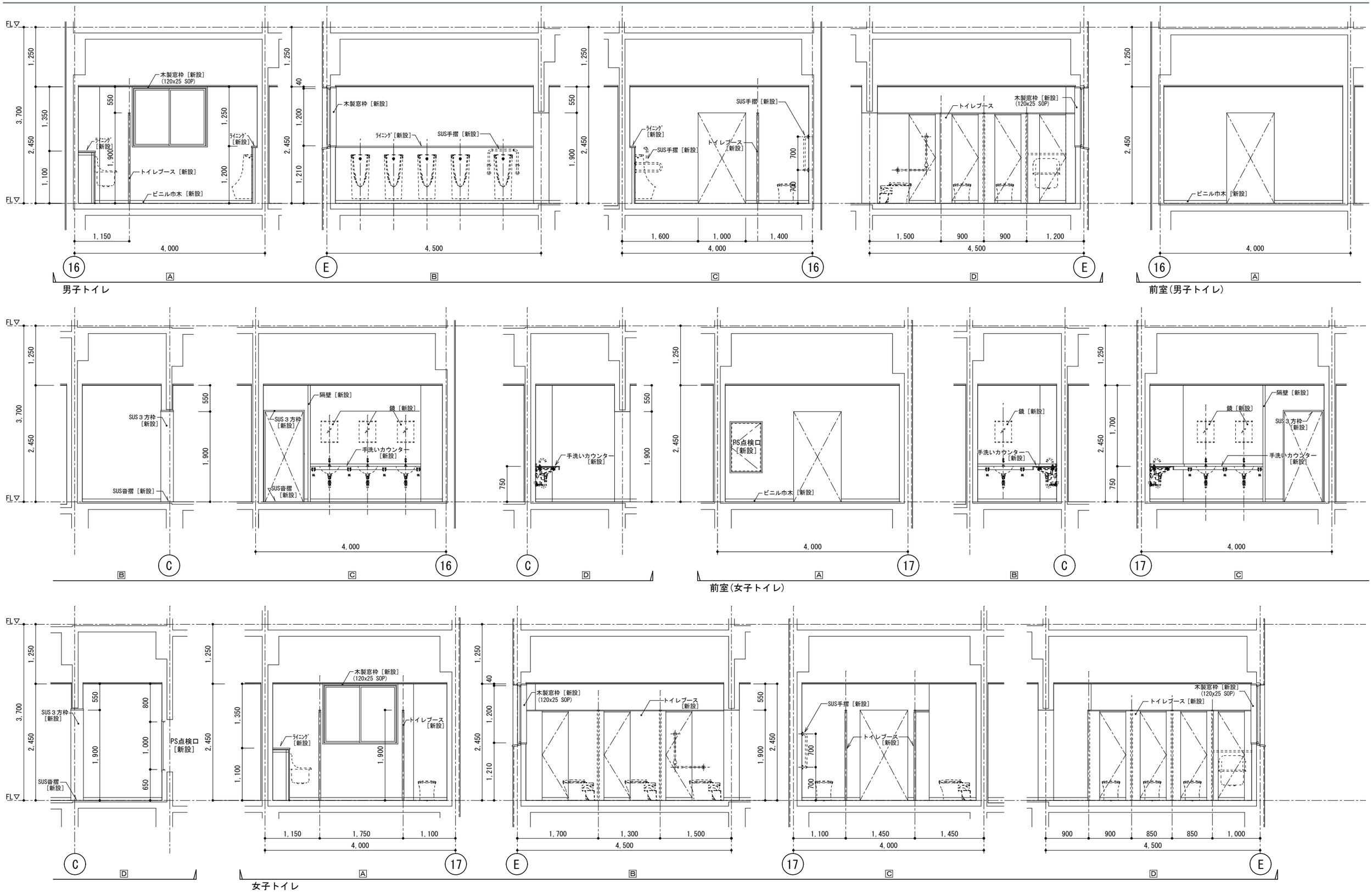
女子トイレ



男子トイレ

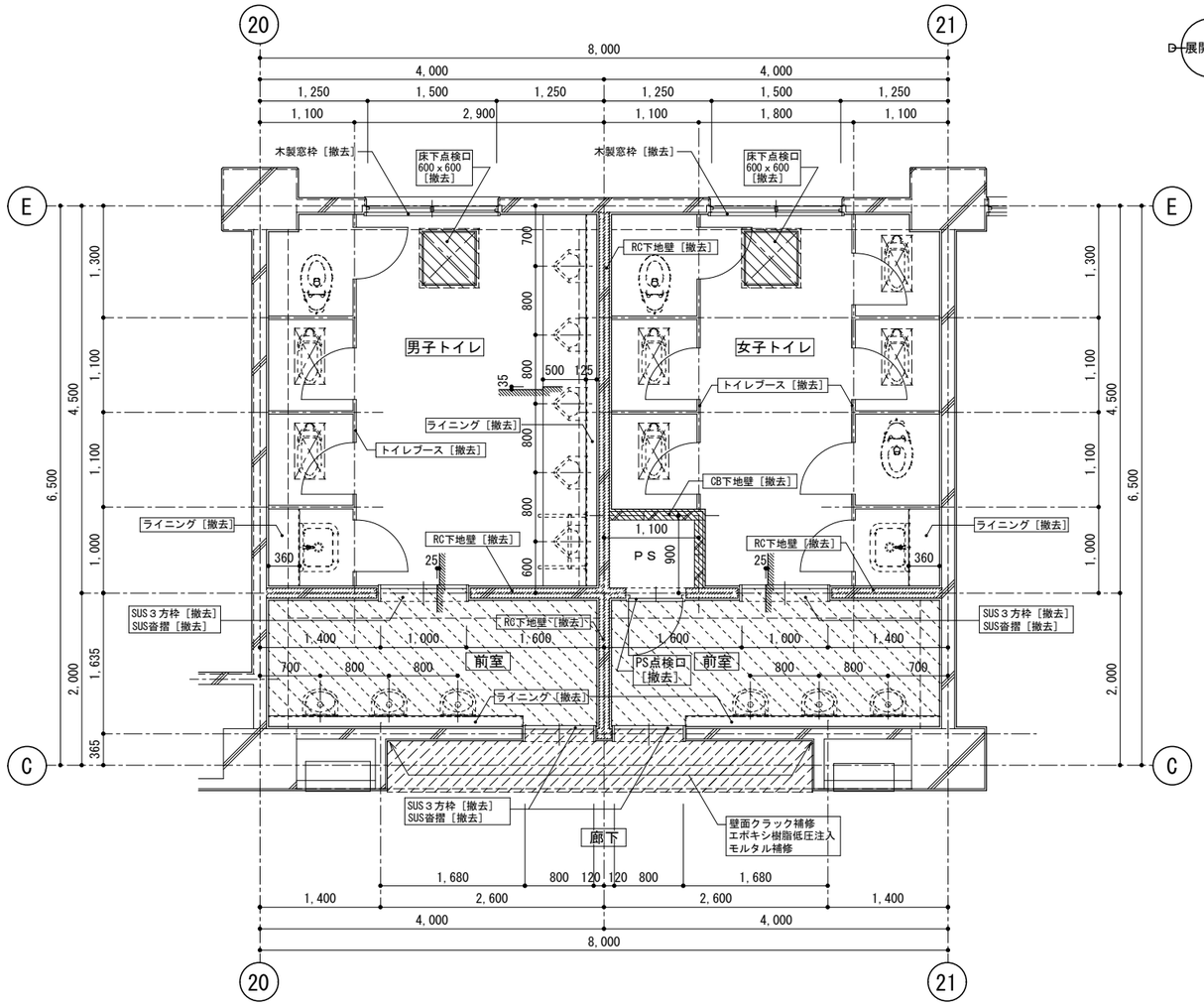
CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES
有限会社 クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号 一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE 坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事		DATE
DRAWN BY	DRW NAME 管理棟 2階 展開図（改修）	SCALE A2 1/50 A3 1/70	SHEET NO A-25

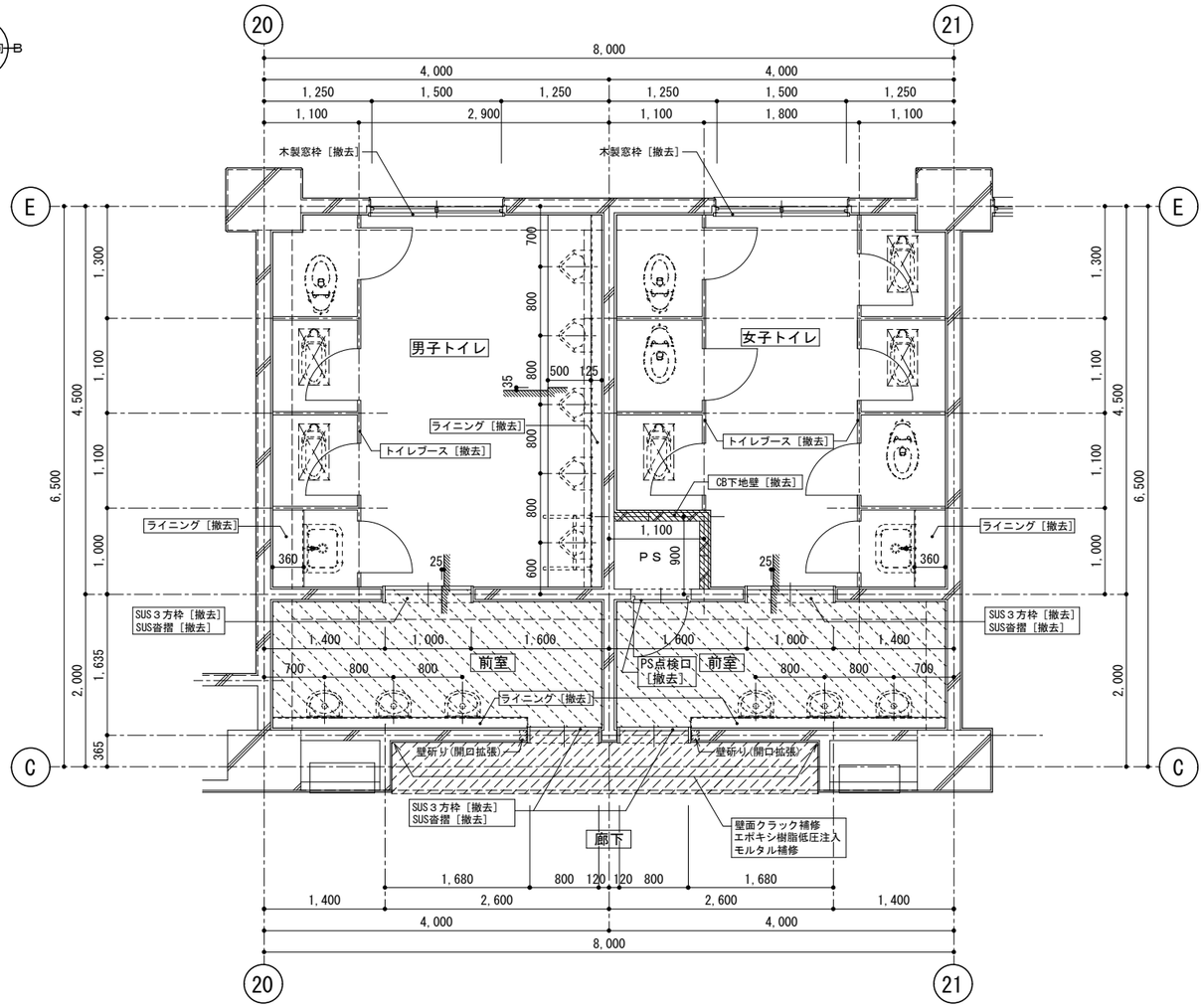


CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES
有限会社 クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号　一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE 坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事		DATE
DRAWN BY	DRW NAME 管理棟 3・4階 展開図（改修）	SCALE A2 1/50 A3 1/70	SHEET NO A-26



東棟　１階トイレ　平面詳細図（既存）



東棟　２階トイレ　平面詳細図（既存）

女子トイレ・男子トイレ		
床	25角 モザイクタイル貼り	［既存のまま］
巾木	100角 半磁器質タイル貼り	［浮き部分撤去］
壁	100角 半磁器質タイル貼り LGS下地ＰＳ壁［撤去］	［浮き部分撤去］
天井	ケイ酸カルシウム板 t=6.0　ＥＰ［撤去］　LGS下地［撤去］	※アスベスト含有
廻縁	塩ビ製［撤去］	
備考	トイレブース［撤去］　天井点検口［撤去］　床下点検口(1階のみ)［撤去］ ライニング CB t=100　甲板：テラゾーブロック［撤去］　PS点検口600x1000［撤去］	

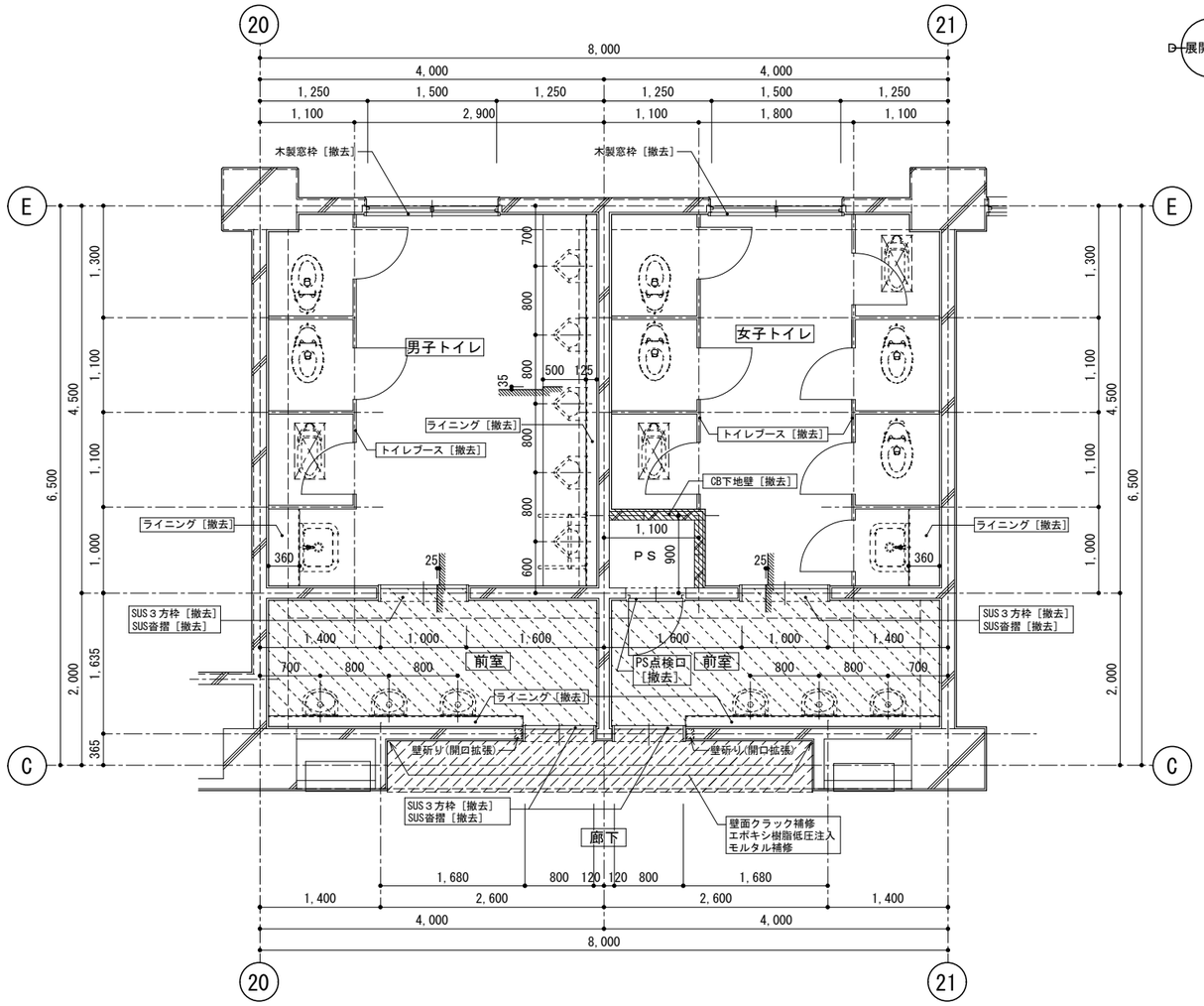
前室		
床	モルタル下地　エポキシ樹脂塗床	［撤去］
巾木	100角 半磁器質タイル貼り	［浮き部分撤去］
壁	100角 半磁器質タイル貼り	［浮き部分撤去］
天井	ケイ酸カルシウム板 t=6.0　ＥＰ［撤去］　LGS下地［撤去］	※アスベスト含有
廻縁	塩ビ製［撤去］	
備考	ライニング CB t=100　甲板：テラゾーブロック［撤去］ SUS３方枠［撤去］　SUS容摺［撤去］	

廊下		
床	ビニル床タイル t=2.0　［一部撤去］	※アスベスト含有
巾木	ラワン　ＯＰ［既存のまま］	
壁	モルタル金コテ　ＥＰ［補修・塗替］	
天井	石膏ボード t=9.0　ＥＰ［既存のまま］	
廻縁	塩ビ製［既存のまま］	
備考	室名札［撤去］　SUS３方枠［撤去］　SUS容摺［撤去］	

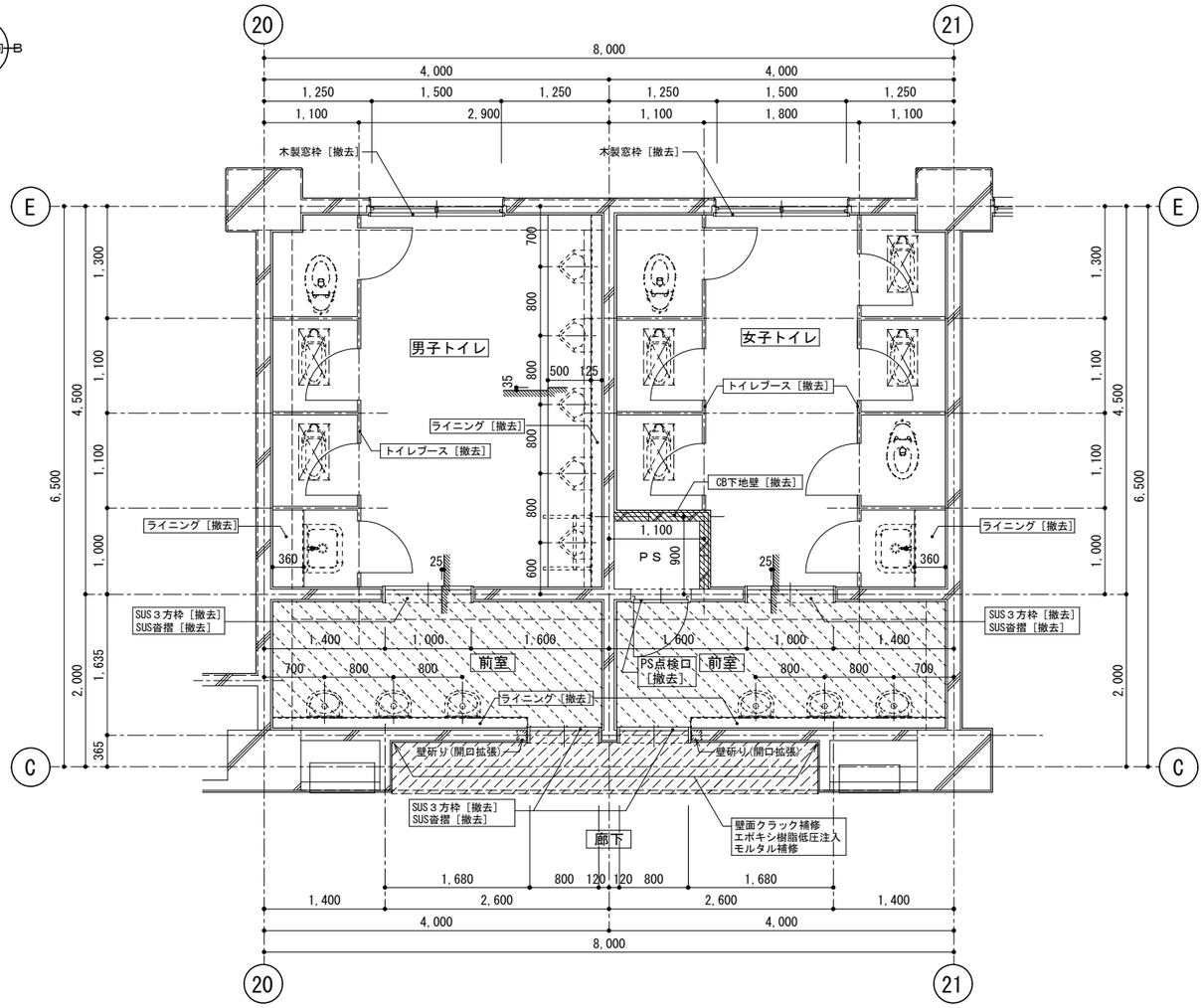
- ＲＣ壁撤去範囲を示す
- 床撤去部分を示す　ビニル床タイル　t=2.0
- 床撤去部分を示す　モルタル下地　エポキシ樹脂塗床
- 和便器部分孔閉鎖
- 衛生設備［撤去］は機械設備工事
- 既存梁ラインを示す

CRAFTMAN　ARCHITECTS　&　ASSOCIATES
有限会社　クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号　一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE	DATE
DRAWN BY	坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事	
	DRW NAME: 東棟 1・2階 平面詳細図（既存）	SCALE A2 1/50　A3 1/70
		SHEET NO A-27



東棟　３階トイレ　平面詳細図（既存）



東棟　４階トイレ　平面詳細図（既存）

女子トイレ・男子トイレ		
床	25角 モザイクタイル貼り	［既存のまま］
巾木	100角 半磁器質タイル貼り	［浮き部分撤去］
壁	100角 半磁器質タイル貼り LGS下地ＰＳ壁［撤去］	［浮き部分撤去］
天井	ケイ酸カルシウム板 t=6.0　ＥＰ［撤去］　LGS下地［撤去］	※アスベスト含有
廻縁	塩ビ製［撤去］	
備考	トイレブース［撤去］　天井点検口［撤去］ ライニング CB t=100　甲板：テラゾーブロック［撤去］　PS点検口600x1000［撤去］	

前室		
床	モルタル下地　エポキシ樹脂塗床	［撤去］
巾木	100角 半磁器質タイル貼り	［浮き部分撤去］
壁	100角 半磁器質タイル貼り	［浮き部分撤去］
天井	ケイ酸カルシウム板 t=6.0　ＥＰ［撤去］　LGS下地［撤去］	※アスベスト含有
廻縁	塩ビ製［撤去］	
備考	ライニング CB t=100　甲板：テラゾーブロック［撤去］ SUS３方枠［撤去］　SUS容摺［撤去］	

廊下		
床	ビニル床タイル t=2.0　［一部撤去］	※アスベスト含有
巾木	ラワン　ＯＰ［既存のまま］	
壁	モルタル金コテ　ＥＰ［補修・塗替］	
天井	石膏ボード t=9.0　ＥＰ［既存のまま］	
廻縁	塩ビ製［既存のまま］	
備考	室名札［撤去］　SUS３方枠［撤去］　SUS容摺［撤去］	

床撤去部分を示す
ビニル床タイル　t=2.0

床撤去部分を示す。
モルタル下地　エポキシ樹脂塗床

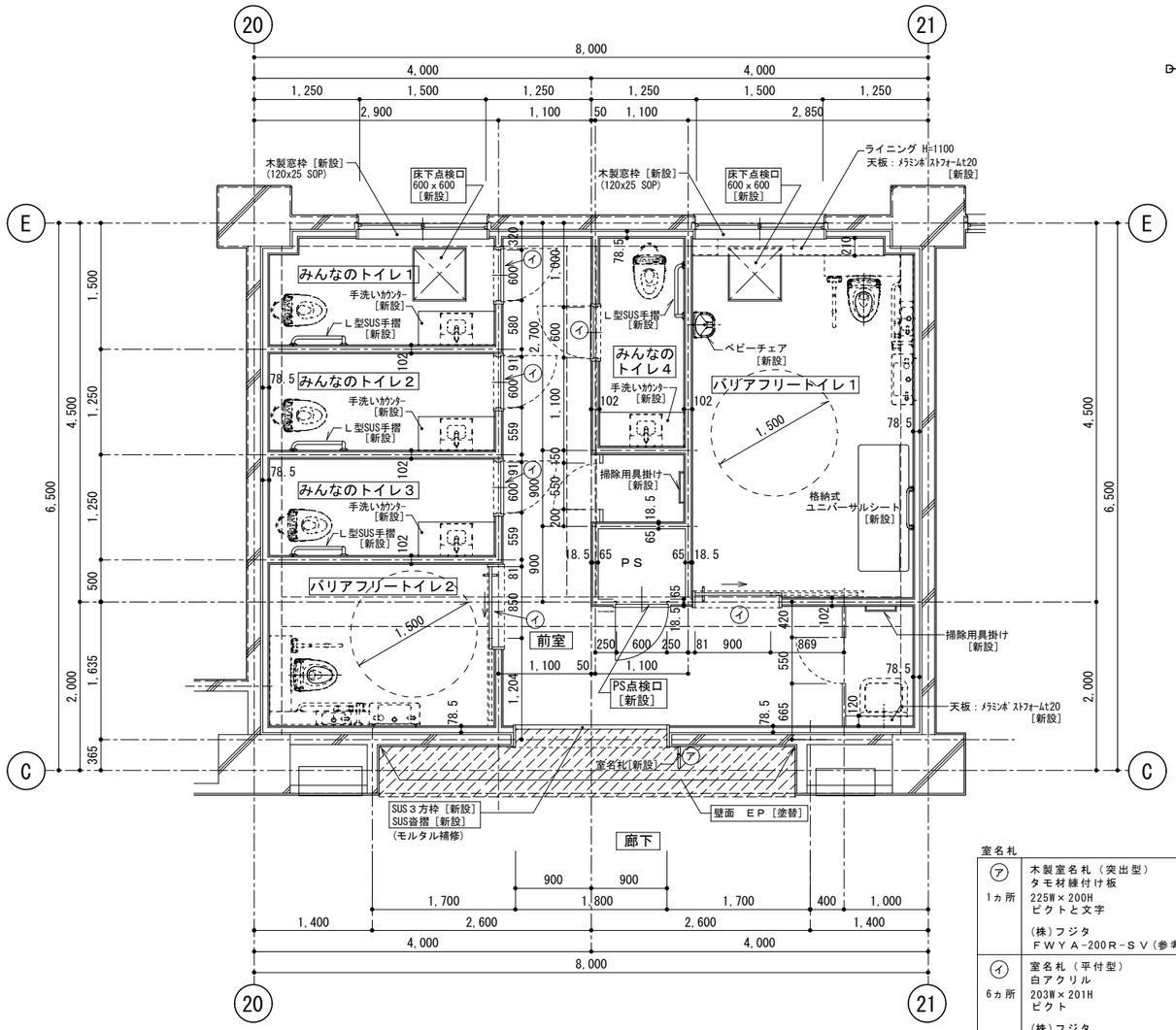
和便器部分孔閉鎖

衛生設備［撤去］は機械設備工事

既存梁ラインを示す

CRAFTMAN　ARCHITECTS　&　ASSOCIATES
有限会社　クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号　一級建築士登録 第253411号 小泉正義

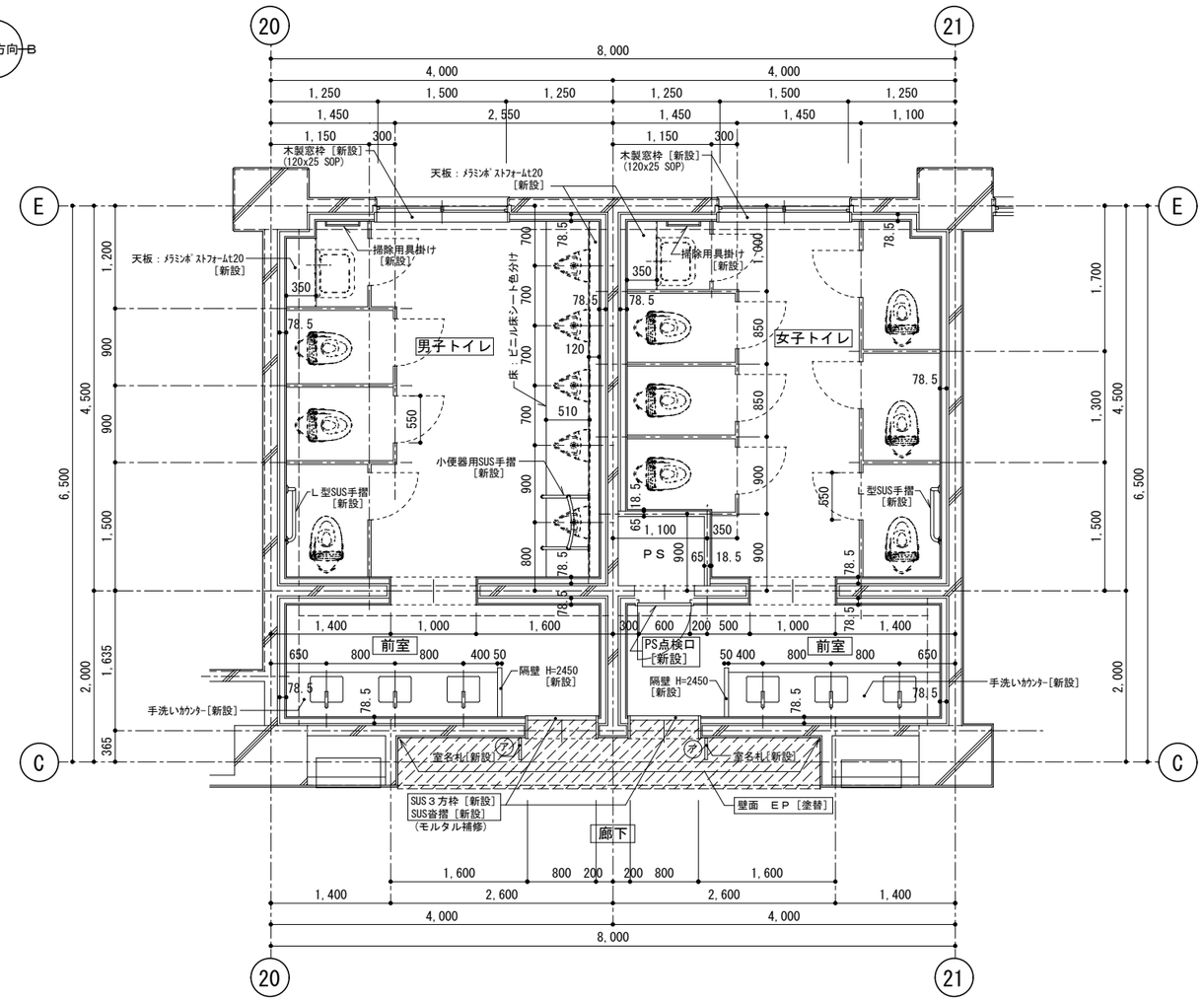
CHECKED	TITLE	DATE
	坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事	
DRAWN BY	DRW NAME / SCALE	SHEET NO
	東棟 3・4階 平面詳細図（既存） A2 1/50　A3 1/70	A-28



東棟 １階トイレ 平面詳細図（改修）

室名札

㋐ 1ヵ所	木製室名札（突出型） タモ材練付け板 225W×200H ピクトと文字 (株)フジタ ＦＷＹＡ-200Ｒ-ＳＶ(参考)
㋑ 6ヵ所	室名札（平付型） 白アクリル 203W×201H ピクト (株)フジタ ＦＷＹＡ-200Ｒ-ＳＶ(参考)



東棟 ２・３階トイレ 平面詳細図（改修）

みんなのトイレ１・２・３・４		
床	抗菌ビニル床シートt-2.0貼り　一部モルタル金コテ下地 t=20～30	［新設］
巾木	ビニル巾木 H=60	［新設］
壁	LGS下地　耐水石膏ボードt=12.5＋化粧ケイ酸カルシウム板t=6.0	［新設］
天井	LGS下地　化粧石こうボード t-9.5(不燃)	［新設］
廻縁	塩ビ製	［新設］
備考	天井点検口［新設］床下点検口［新設］ Ｌ型SUS手摺［新設］ 手洗いカウンター：マーブライトカウンター(参考)	

前室		
床	抗菌ビニル床シートt-2.0貼り　一部モルタル金コテ下地 t=20～30	［新設］
巾木	ビニル巾木 H=60	［新設］
壁	LGS下地　耐水石膏ボードt=12.5＋化粧ケイ酸カルシウム板t=6.0	［新設］
天井	LGS下地　化粧石こうボード t-9.5(不燃)	［新設］
廻縁	塩ビ製	［新設］
備考	天井点検口［新設］ 掃除用具掛け［新設］	

バリアフリートイレ１・２		
床	抗菌ビニル床シートt-2.0貼り　一部モルタル金コテ下地 t=20～30	［新設］
巾木	ビニル巾木 H=60	［新設］
壁	LGS下地　耐水石膏ボードt=12.5＋化粧ケイ酸カルシウム板t=6.0	［新設］
天井	LGS下地　化粧石こうボード t-9.5(不燃)	［新設］
廻縁	塩ビ製	［新設］
備考	天井点検口［新設］床下点検口［新設］ ベビーチェア［新設］　格納式ユニバーサルシート［新設］	

廊下	
床	ビニル床タイル t-2.0 ［一部新設］
巾木	ラワン ＯＰ［既存のまま］
壁	モルタル金コテ ＥＰ［塗替］
天井	石コウボード t-9.0 ＥＰ［既存のまま］
廻縁	塩ビ製［既存のまま］
備考	室名札［新設］

床仕上一部新設部分を示す（廊下）
ビニル床タイル t-2.0

--------- 衛生設備［新設］は機械設備工事

－－－－－ 既存梁ラインを示す

女子トイレ・男子トイレ		
床	抗菌ビニル床シートt-2.0貼り　モルタル金コテ下地 t=20～30	［新設］
巾木	ビニル巾木 H=60	［新設］
壁	LGS下地　耐水石膏ボードt=12.5＋化粧ケイ酸カルシウム板t=6.0	［新設］
天井	LGS下地　化粧石こうボード t-9.5(不燃)	［新設］
廻縁	塩ビ製	［新設］
備考	トイレブース［新設］　天井点検口［新設］ Ｌ型SUS手摺［新設］　小便器用SUS手摺［新設］　掃除用具掛け［新設］ ライニング LGS下地　甲板：メラミンポストフォームt=20［新設］	

前室		
床	抗菌ビニル床シートt-2.0貼り	［新設］
巾木	ビニル巾木 H=60	［新設］
壁	LGS下地　耐水石膏ボードt=12.5＋化粧ケイ酸カルシウム板t=6.0	［新設］
天井	LGS下地　化粧石こうボード t-9.5(不燃)	［新設］
廻縁	塩ビ製	［新設］
備考	手洗いカウンター：マーブライトカウンター(参考) 隔板（高圧メラミン樹脂化粧板）	［新設］ ［新設］

廊下	
床	ビニル床タイル t-2.0 ［一部新設］
巾木	ラワン ＯＰ［既存のまま］
壁	モルタル金コテ ＥＰ［塗替］
天井	石コウボード t-9.0 ＥＰ［既存のまま］
廻縁	塩ビ製［既存のまま］
備考	室名札［新設］

室名札

㋐ 2ヵ所	木製室名札（突出型） タモ材練付け板 225W×200H ピクトと文字 (株)フジタ ＦＷＹＡ-200Ｒ-ＳＶ(参考)

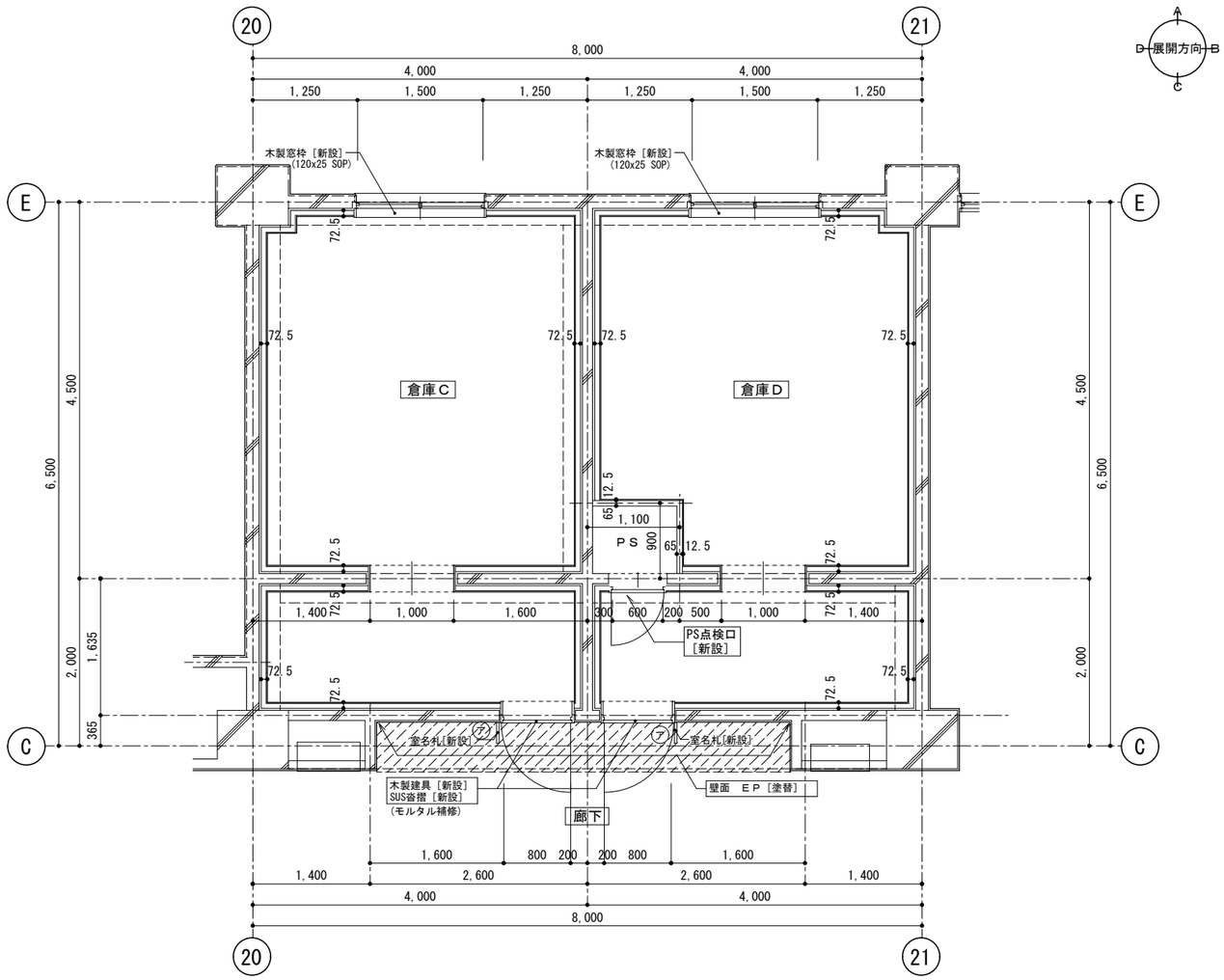
床仕上一部新設部分を示す（廊下）
ビニル床タイル t-2.0

--------- 衛生設備［新設］は機械設備工事

－－－－－ 既存梁ラインを示す

CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES
有限会社 クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号　一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE	坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事	DATE
DRAWN BY	DRW NAME	東棟 1-3階 平面詳細図（改修）	SCALE A2 1/50 A3 1/70
			SHEET NO A-29



東棟 ４階 倉庫 平面詳細図（改修）

倉庫Ｃ・Ｄ		
床	抗菌ビニル床シートt-2.0貼り　　一部 モルタル金コテ下地 t=20～30	［新設］
巾木	ビニル巾木 H=60	［新設］
壁	LGS下地　耐水石膏ボードt=12.5＋ビニルクロス	［新設］
天井	LGS下地　化粧石こうボード t-9.5(不燃)	［新設］
廻縁	塩ビ製	［新設］
備考	天井点検口［新設］	

廊下	
床	ビニル床タイル t-2.0 ［一部新設］
巾木	ラワン ＯＰ［既存のまま］
壁	モルタル金コテ ＥＰ［塗替］
天井	石コウボード t-9.0　ＥＰ［既存のまま］
廻縁	塩ビ製［既存のまま］
備考	室名札［新設］

室名札

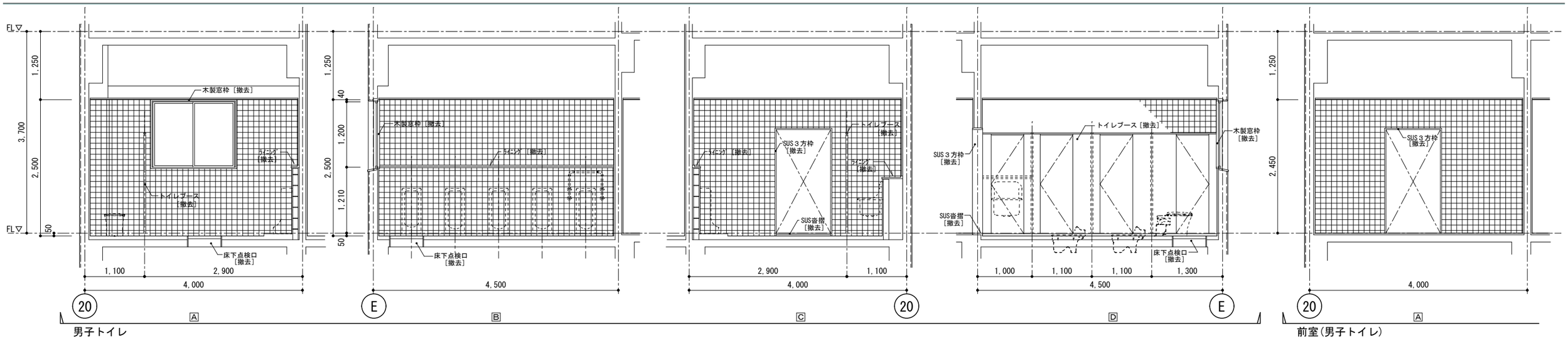
㋐ 2ヵ所	木製室名札（突出型） タモ材練付け板 225W×200H ピクトと文字 (株)フジタ ＦＷＹＡ-200Ｒ-ＳＶ(参考)

床仕上一部新設部分を示す（廊下）
ビニル床タイル t-2.0

－－－－－ 既存梁ラインを示す

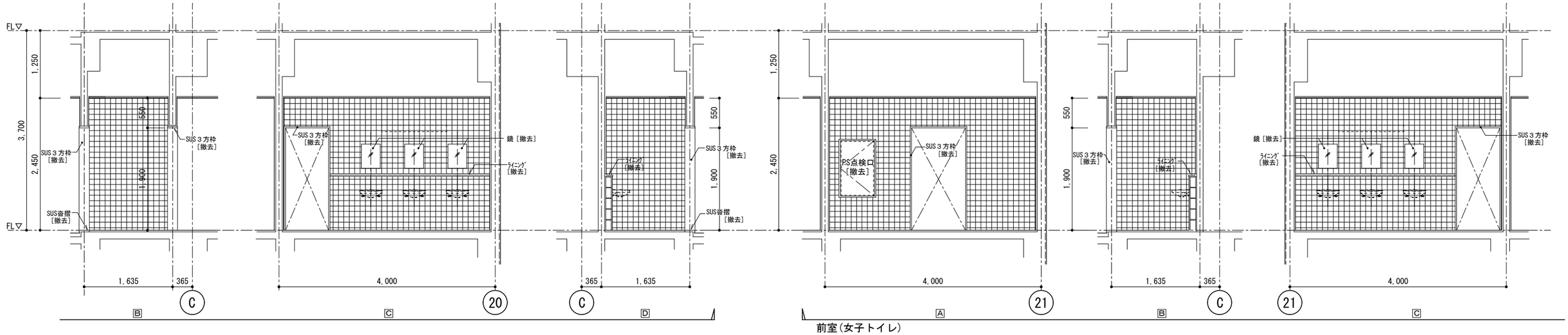
CRAFTMAN　ARCHITECTS　&　ASSOCIATES
有限会社　クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号　一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE	坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事		DATE
DRAWN BY	DRW NAME	東棟 4階 平面詳細図（改修）	SCALE A2 1/50　A3 1/70	SHEET NO A-30

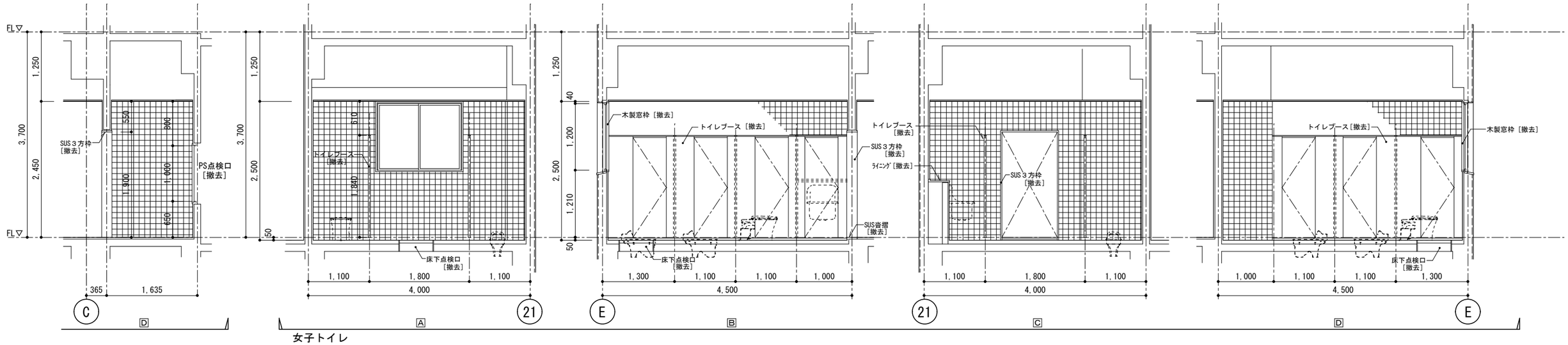


男子トイレ

前室（男子トイレ）



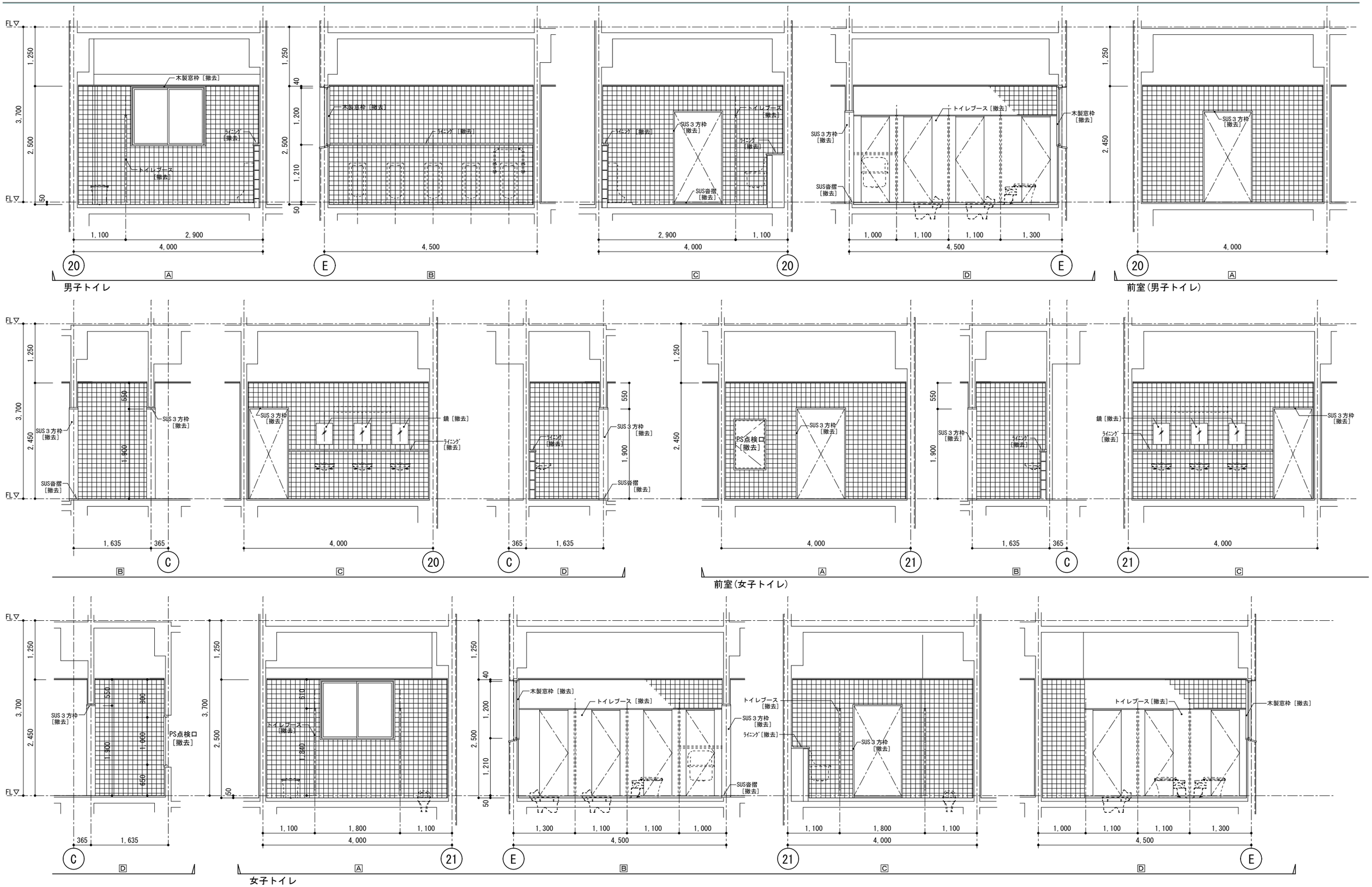
前室（女子トイレ）



女子トイレ

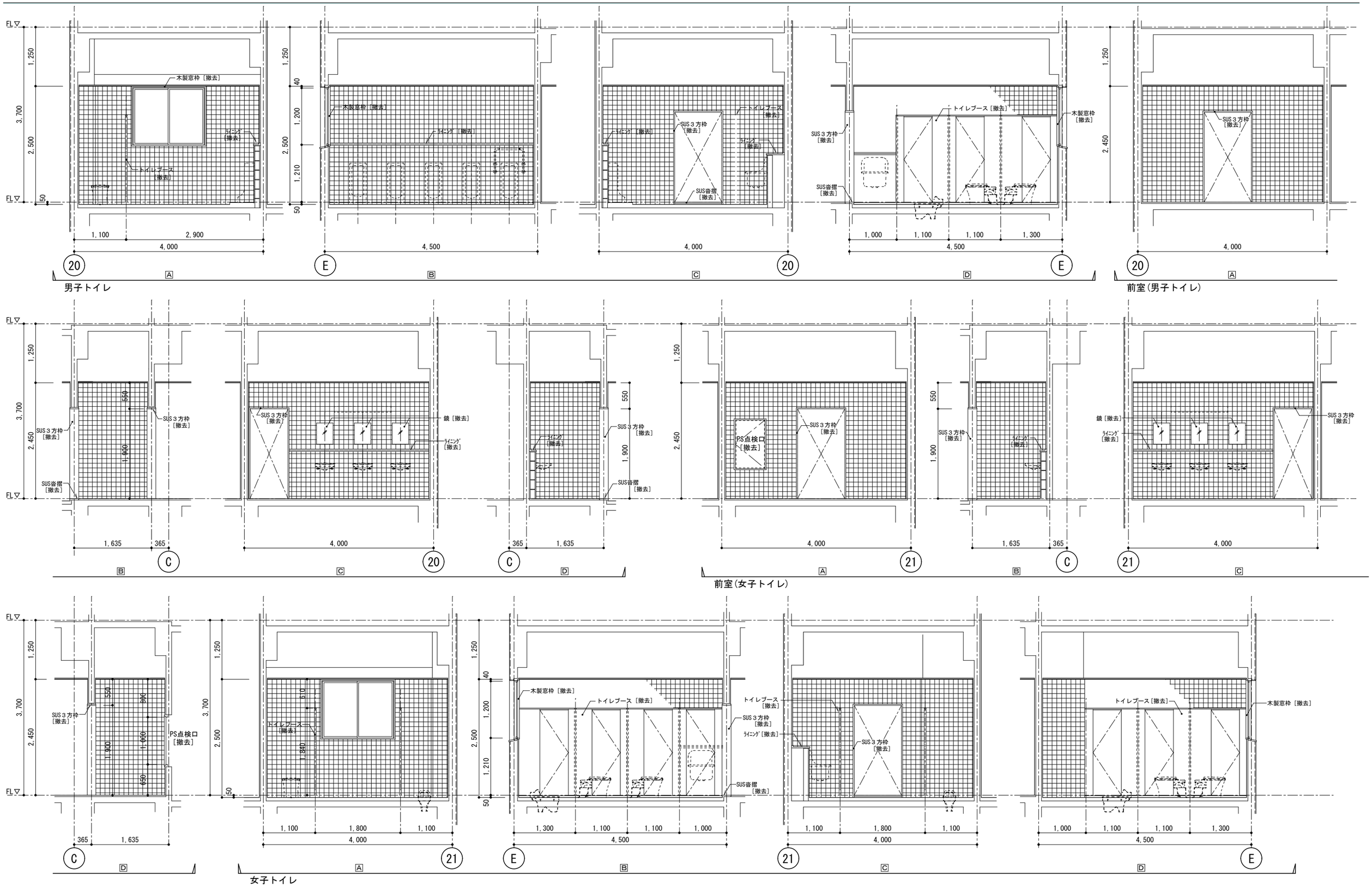
CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES
有限会社 クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号　一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE	DATE
	坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事	
DRAWN BY	DRW NAME	SCALE A2 1/50 A3 1/70 / SHEET NO
	東棟 1階　展開図（既存）	A-31



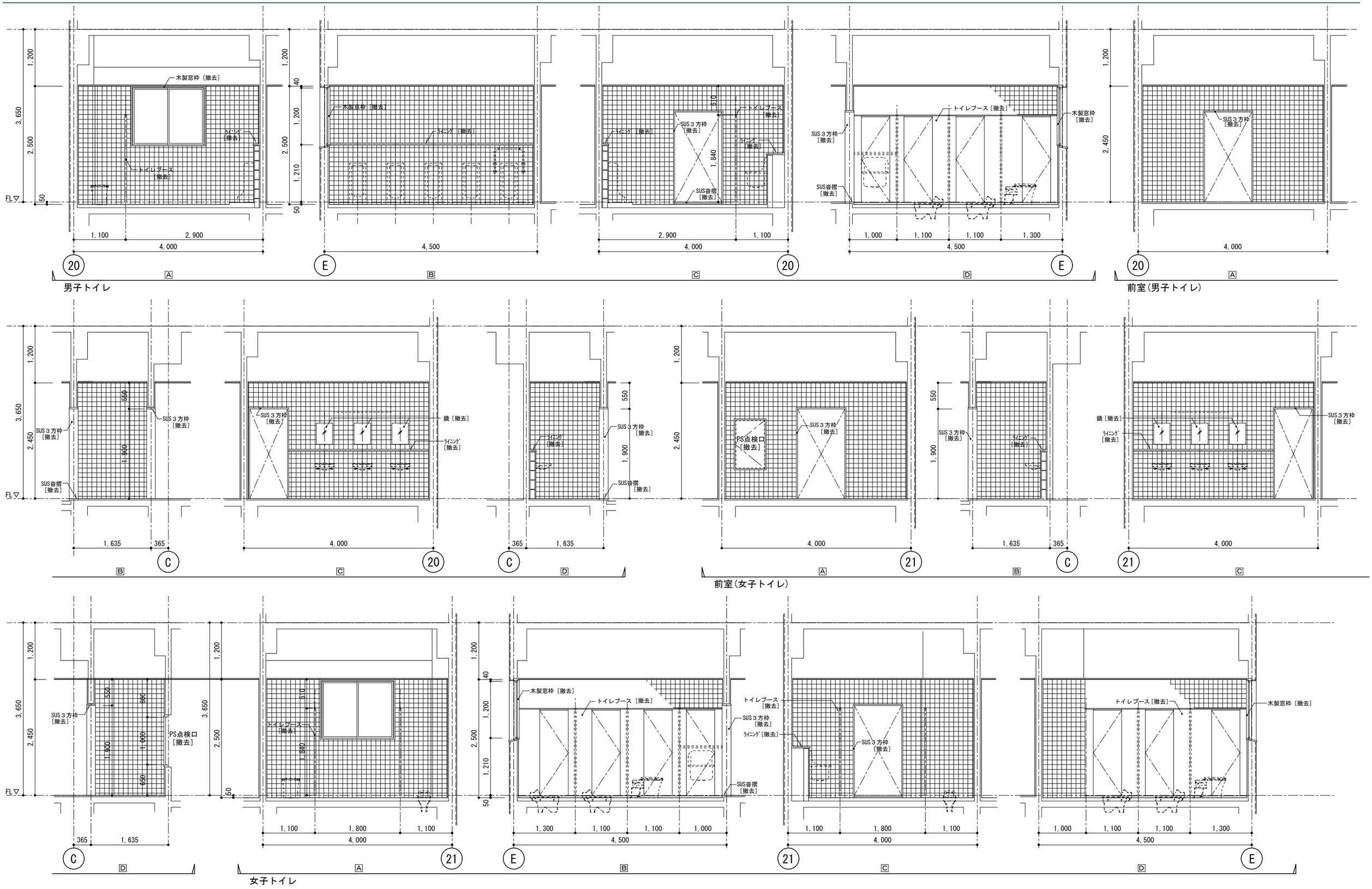
CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES
有限会社 クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号 一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE 坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事		DATE
DRAWN BY	DRW NAME 東棟 2階 展開図（既存）	SCALE A2 1/50 A3 1/70	SHEET NO A-32



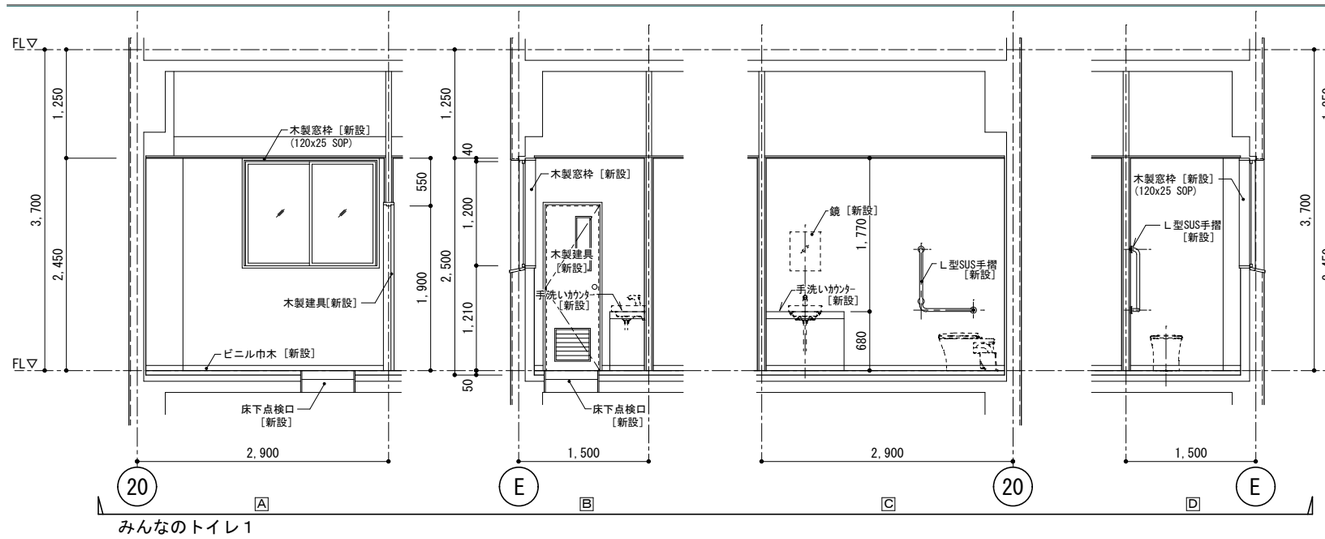
CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES
有限会社 クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号　一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE 坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事		DATE
DRAWN BY	DRW NAME 東棟 3階 展開図（既存）	SCALE A2 1/50 A3 1/70	SHEET NO A-33

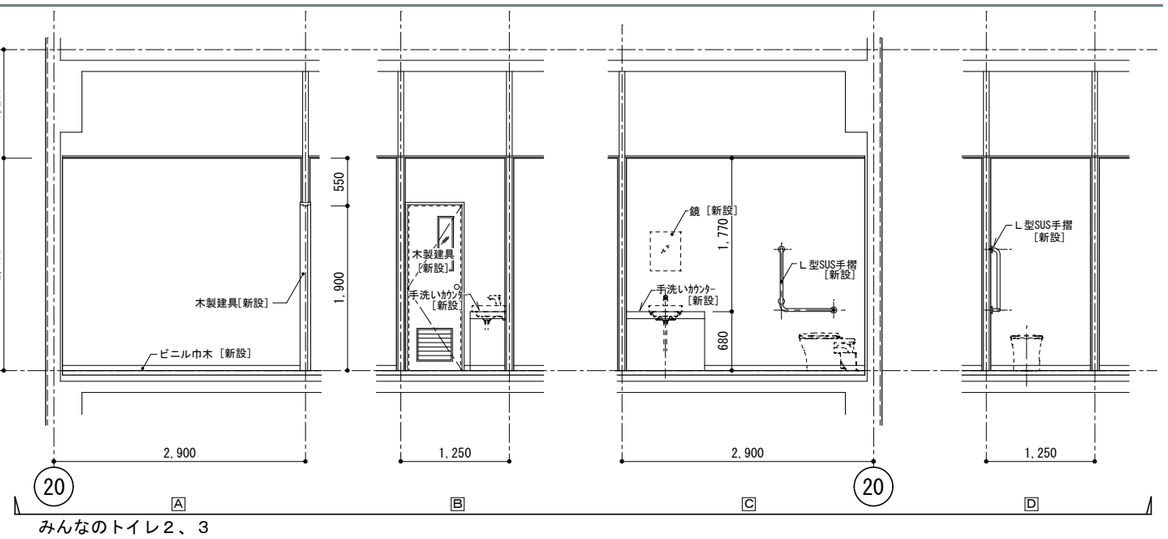


CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES
有限会社 クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号 一級建築士登録 第253411号 小泉正義

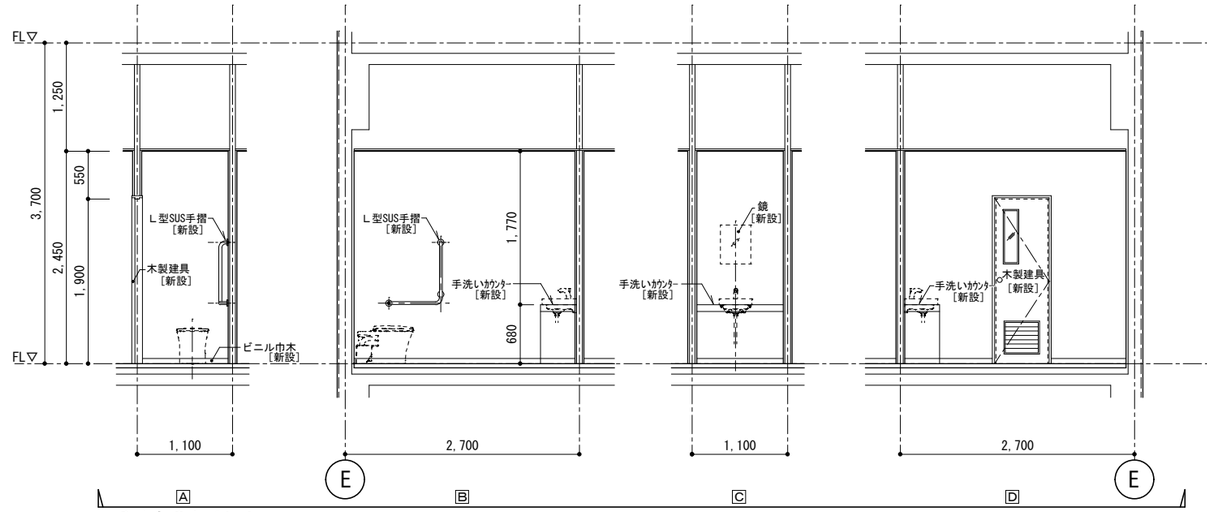
CHECKED	TITLE 坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事		DATE
DRAWN BY	DRW NAME 東棟 4階 展開図（既存）	SCALE A2 1/50 A3 1/70	SHEET NO A-34



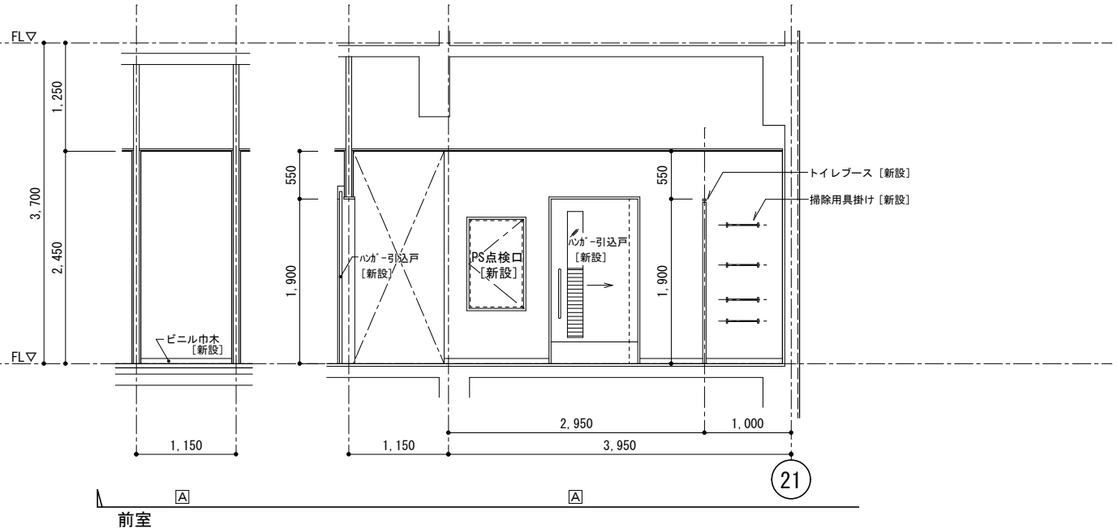
みんなのトイレ１



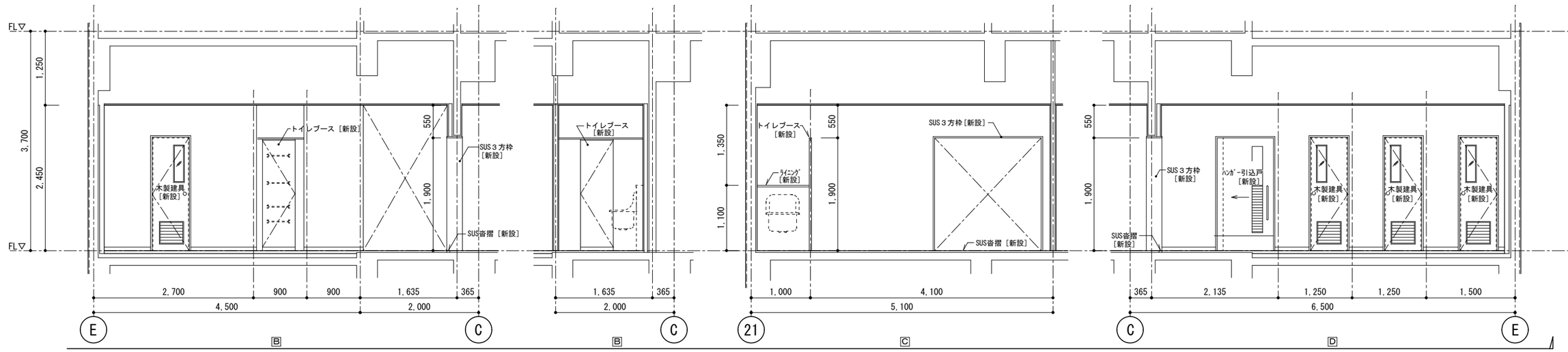
みんなのトイレ２、３



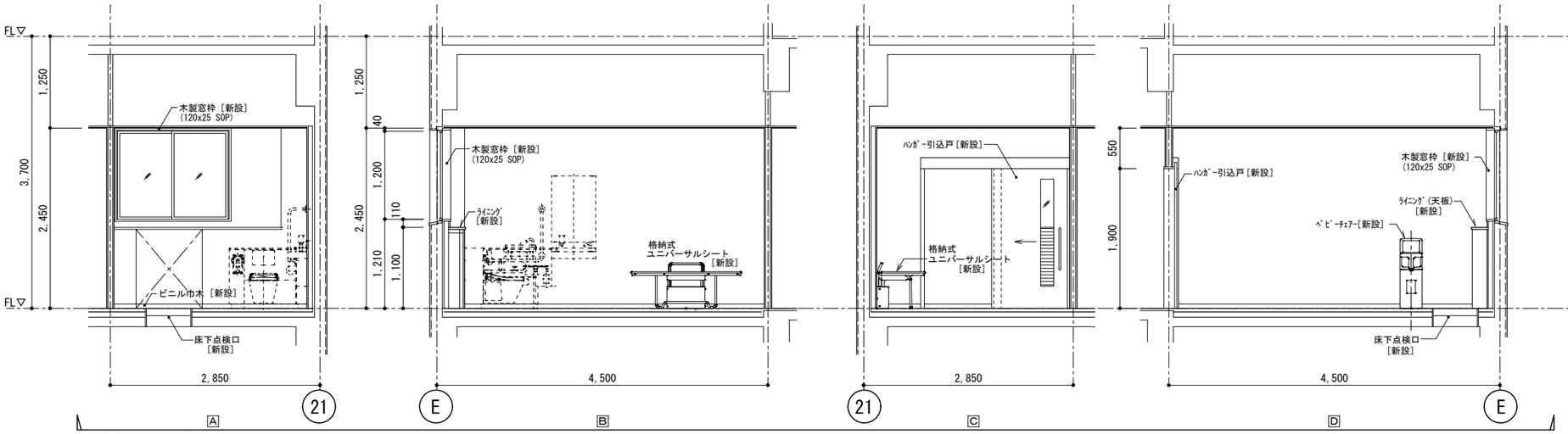
みんなのトイレ４



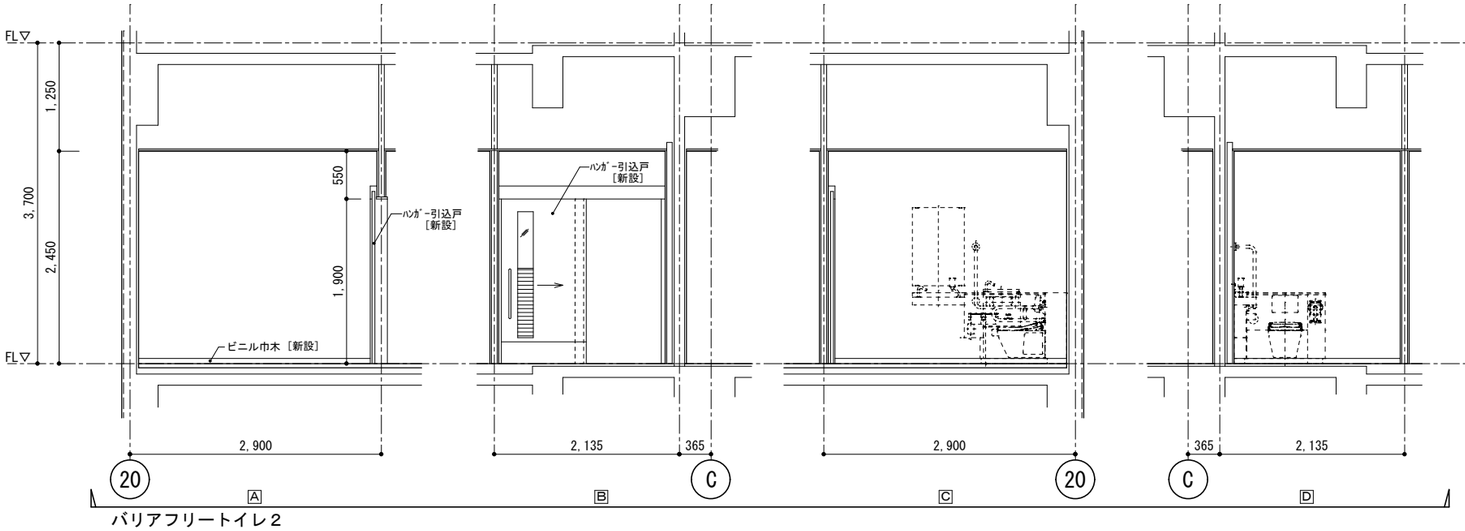
前室



CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES 有限会社 クラフトマン建築設計事務所 一級建築士事務所登録 第6592号 一級建築士登録 第253411号 小泉正義		CHECKED	TITLE 坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事	DATE
		DRAWN BY	DRW NAME 東棟 1階 展開図 1（改修）	SCALE A2 1/50 A3 1/70
				SHEET NO A-35

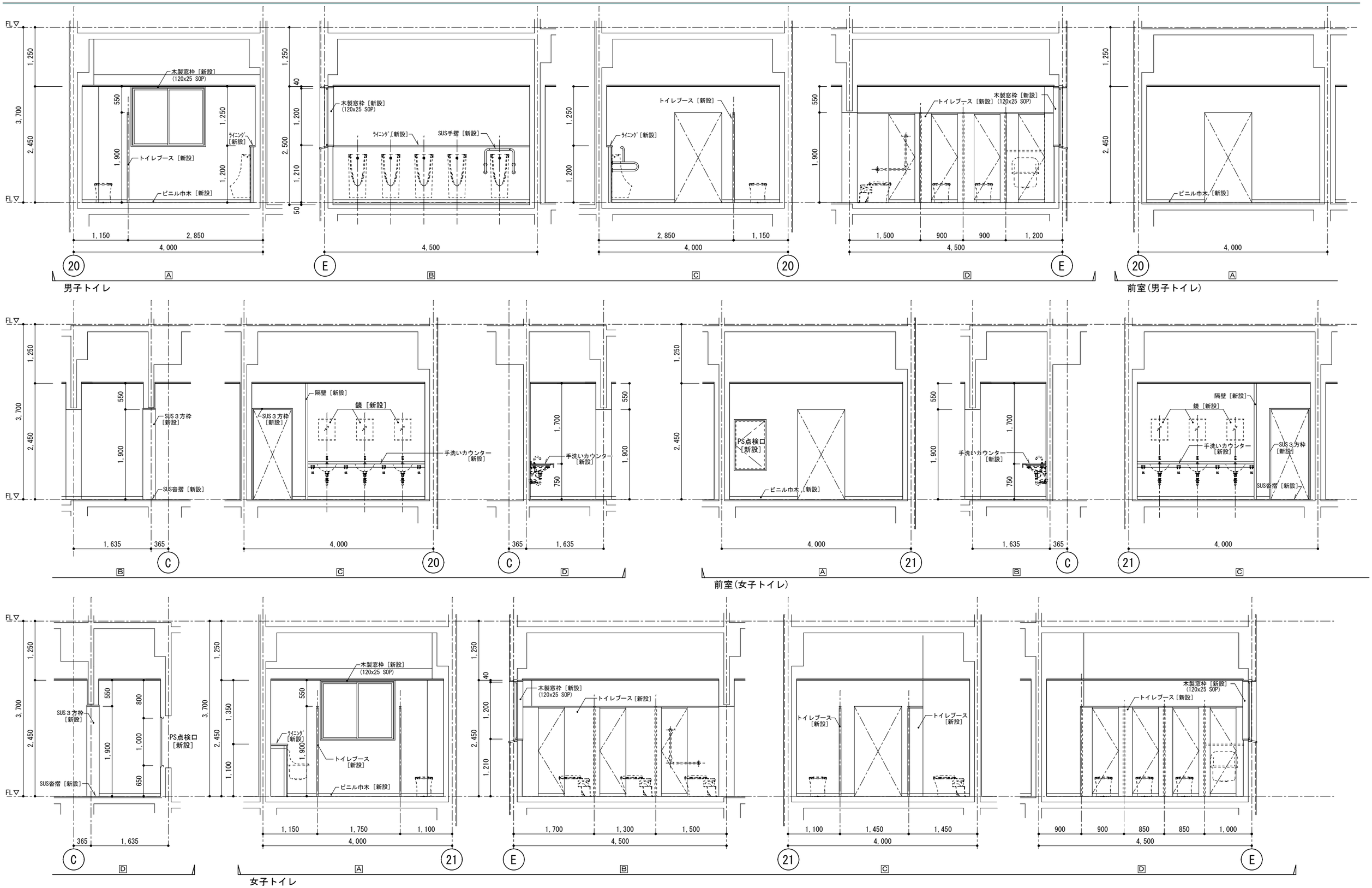


バリアフリートイレ１



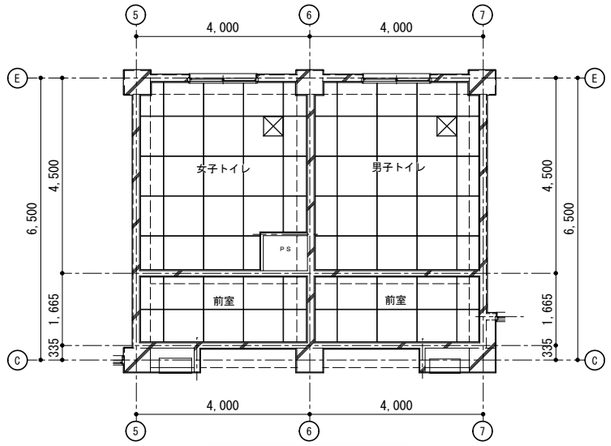
バリアフリートイレ２

CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES 有限会社 クラフトマン建築設計事務所 一級建築士事務所登録 第6592号 一級建築士登録 第253411号 小泉正義	CHECKED	TITLE 坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事		DATE
	DRAWN BY	DRW NAME 東棟 1階 展開図 ２（改修）	SCALE A2 1/50 A3 1/70	SHEET NO A-36

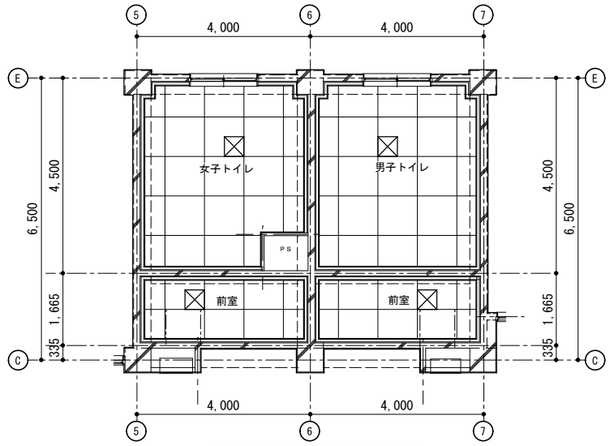


CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES
有限会社 クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号 一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE 坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事		DATE
DRAWN BY	DRW NAME 東棟 2･3階 展開図（改修）	SCALE A2 1/50 A3 1/70	SHEET NO A-37



西棟 1～4階天井伏図 (改修前)



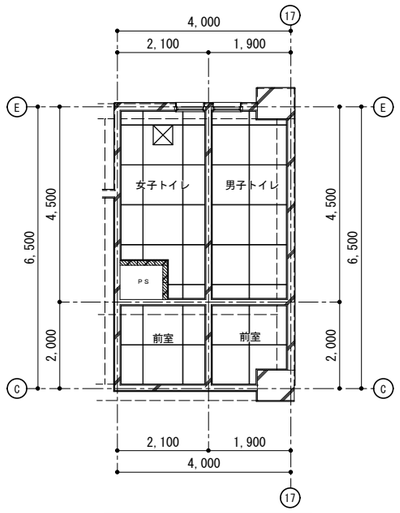
西棟 1～4階天井伏図 (改修後)

改修前	
室名	女子トイレ　男子トイレ　前室
天井材	LGS下地　ケイ酸カルシウム板 t=6.0　ＥＰ　目透シ貼り　[撤去] (下地LGS共)
備考	天井点検口(450角)　[撤去]

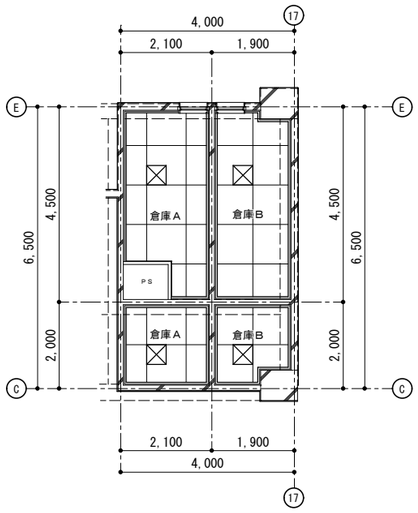
改修後	
室名	女子トイレ　男子トイレ　前室　みんなのトイレ　バリアフリートイレ　倉庫
天井材	LGS下地　化粧石こうボード t-9.5(不燃)　910 x 910　[新設] (下地LGS共)
備考	天井点検口(450角)アルミ枠　[新設]

※ 既存天井材：ケイ酸カルシウム板 ＝ アスベスト含有材

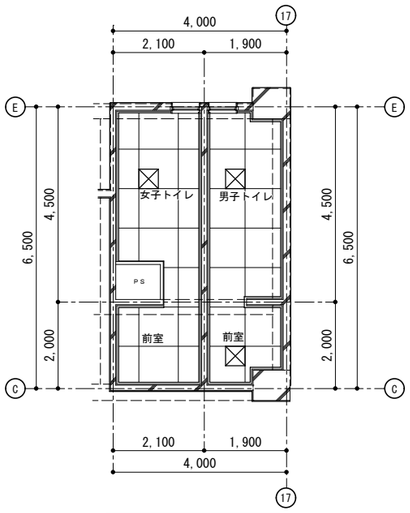
⊠ ― 天井点検口 (450 x 450) を示す



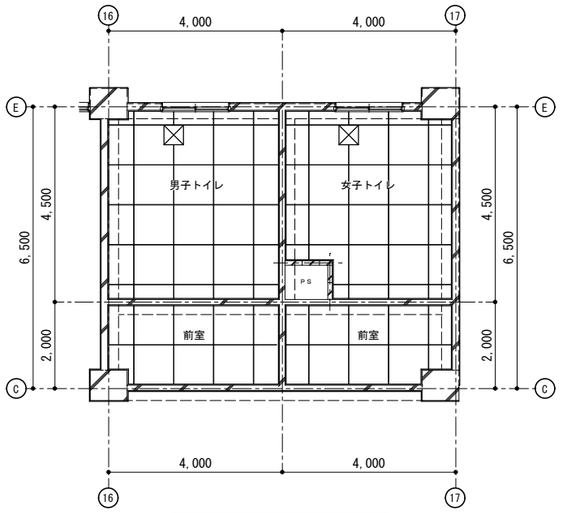
管理棟 1・2階天井伏図 (改修前)



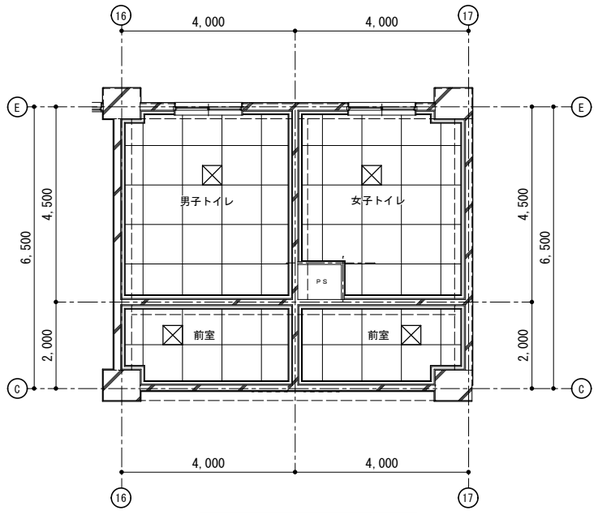
管理棟 1階天井伏図 (改修後)



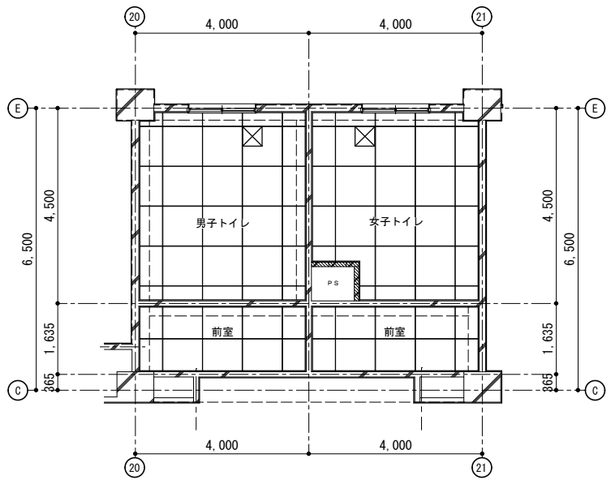
管理棟 2階天井伏図 (改修後)



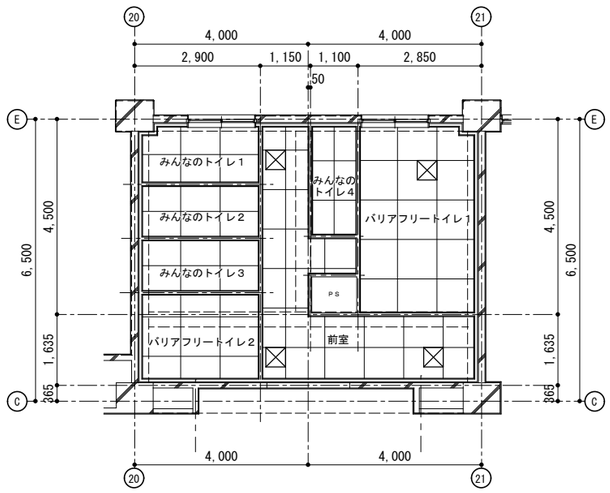
管理棟 3・4階天井伏図 (改修前)



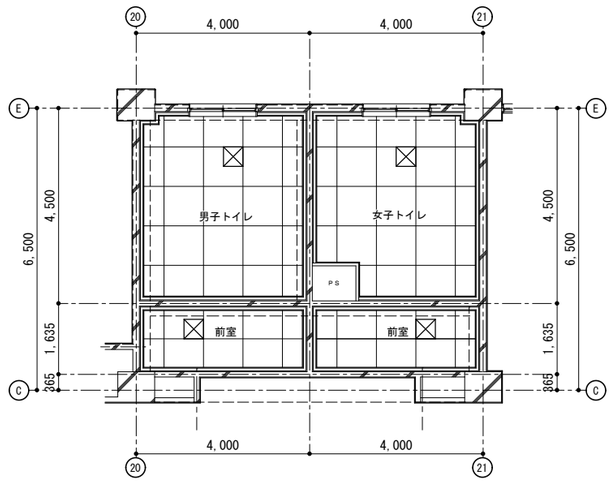
管理棟 3・4階天井伏図 (改修後)



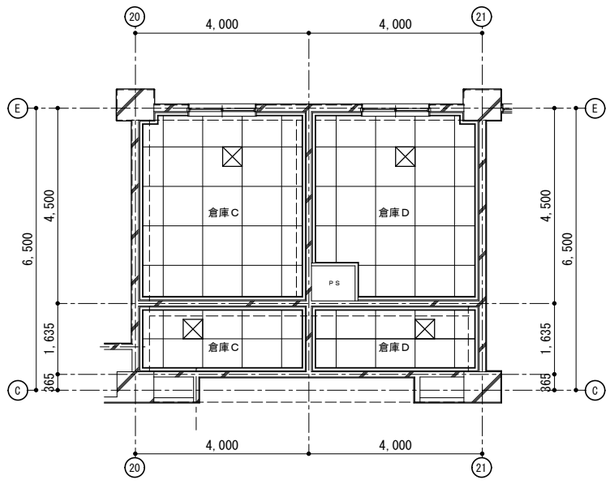
東棟 1～4階天井伏図 (改修前)



東棟 1階天井伏図 (改修後)



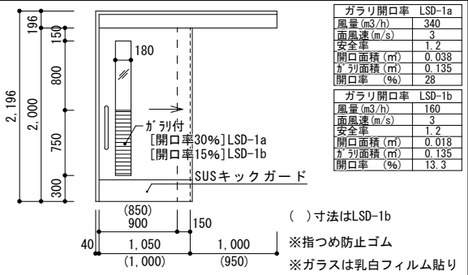
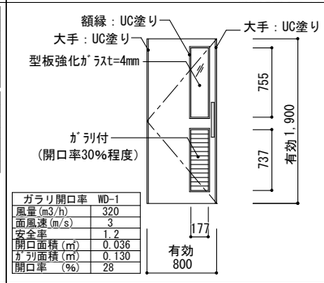
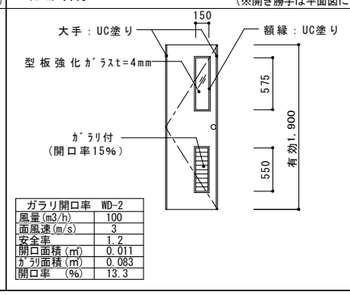
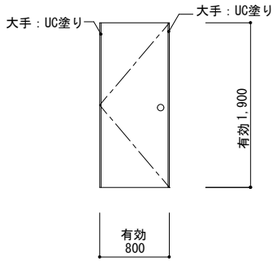
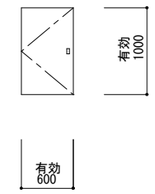
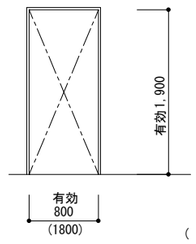
東棟 2・3階天井伏図 (改修後)



東棟 4階天井伏図 (改修後)

CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES
有限会社 クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号　一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE 坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事		DATE
DRAWN BY	DRW NAME 天井伏図	SCALE A2 1/100　A3 1/140	SHEET NO A-38

記号・数量	LSD 1a / LSD 1b　軽量スチール製ハンガー引戸　1a － 1　1b － 1	WD 1　木製フラッシュ片開きドア　2	WD 2　木製フラッシュ片開きドア　4	WD 3　木製フラッシュ片開きドア　4	SD 1　スチール製フラッシュ片開きドア（ＰＳ点検口）　１２	3方 1 / 3方 2　SUS製３方枠　3方-1　１６　3方-2　1
場所	東棟 1階 バリアフリートイレ	管理棟 2階 トイレ	東棟 1階 みんなのトイレ	管理棟 1階 倉庫　東棟 4階 倉庫	西棟・管理棟・東棟 1～4階 前室（女子トイレ側） 倉庫	西棟 1-4階 管理棟 3･4階 東棟 1･2･3階 トイレ
見込、仕上	見込：40　枠：195　焼付塗装(指定色)　自動閉鎖式	見込：40　木製枠：135+135　枠：ｽﾌﾟﾙｰｽ：SOP塗り　扉：ﾒﾗﾐﾝ化粧合板	見込：40　木製枠：130　枠：ｽﾌﾟﾙｰｽ：SOP塗り　扉：ﾒﾗﾐﾝ化粧合板	見込：40　木製枠：135+135　枠：ｽﾌﾟﾙｰｽ：SOP塗り　扉：ﾒﾗﾐﾝ化粧合板	見込：30　枠：80　鋼板 t 1.6　焼付け塗装	見込：270
硝子	学校用強化ガラス　ア4　（型ガラスタイプ）	型板強化ガラス t =4mm	型板強化ガラス t =4mm			
金物	エンドストッパー　抗菌樹脂製ハンドル ガラリ(開口率30%)一体型窓　SUSキックガード　他付属金物一式	外部：押板　内部：握棒　(抗菌樹脂製) 丁番、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ、戸当たり　その他付属金物一式	丁番、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ、戸当たり　帽子掛け 握り玉　非常開装置付き表示錠(ｻﾑﾀｰﾝ付き)その他付属金物一式	握り玉付ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠 丁番、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ、戸当たり　その他付属金物一式	SUS製丁番　分電盤錠（鍵付）　その他付属金物一式	
備考	沓摺：SUS　※額縁面材同色焼付塗装	SUS沓摺（W40）　ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ付　(※開き勝手は平面図による)	ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ付　(※開き勝手は平面図による)	SUS沓摺（W40）　(※開き勝手は平面図による)	(※開き勝手は平面図による)	SUS沓摺（W40）
姿図						

ガラリ開口率　LSD-1a

風量(m3/h)	340
面風速(m/s)	3
安全率	1.2
開口面積(㎡)	0.038
ｶﾞﾗﾘ面積(㎡)	0.135
開口率　(%)	28

ガラリ開口率　LSD-1b

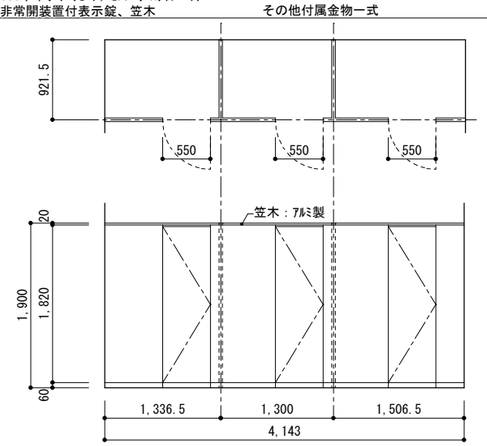
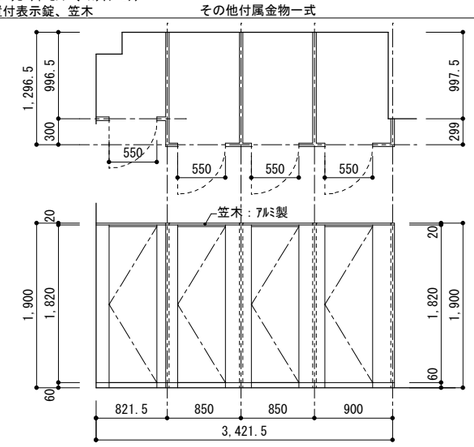
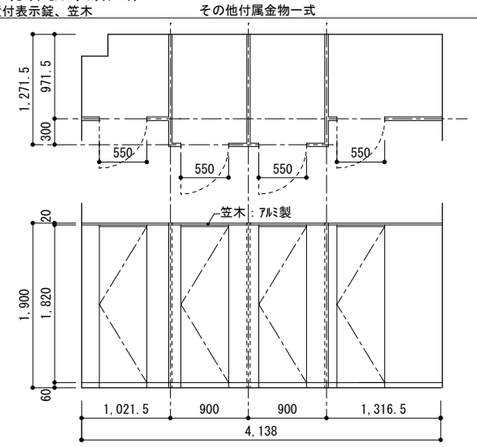
風量(m3/h)	160
面風速(m/s)	3
安全率	1.2
開口面積(㎡)	0.018
ｶﾞﾗﾘ面積(㎡)	0.135
開口率　(%)	13.3

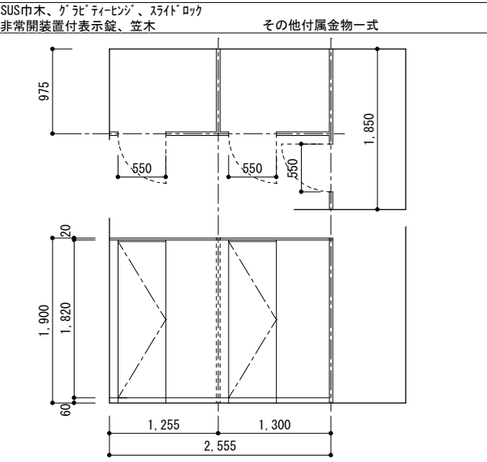
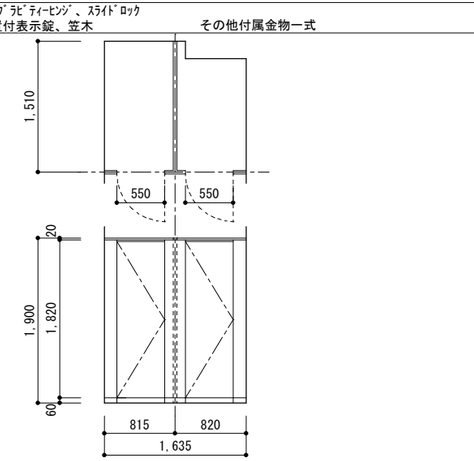
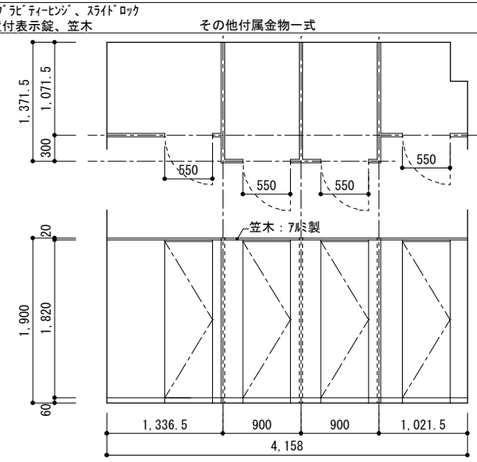
ガラリ開口率　WD-1

風量(m3/h)	320
面風速(m/s)	3
安全率	1.2
開口面積(㎡)	0.036
ｶﾞﾗﾘ面積(㎡)	0.130
開口率　(%)	28

ガラリ開口率　WD-2

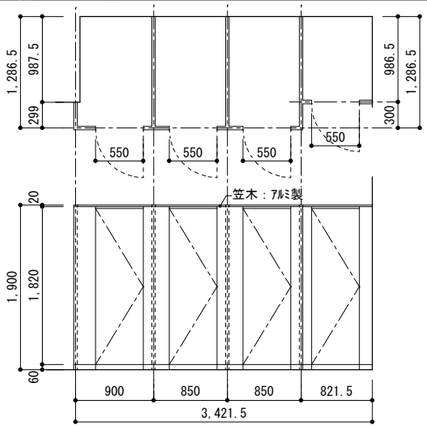
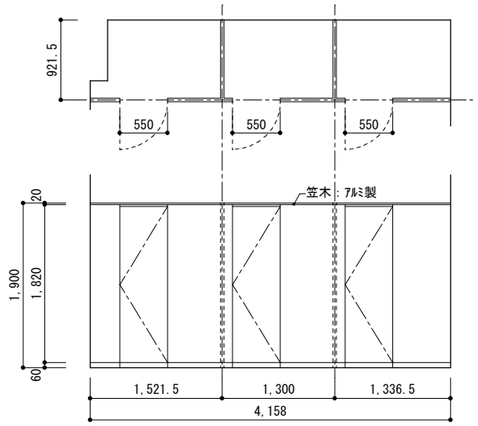
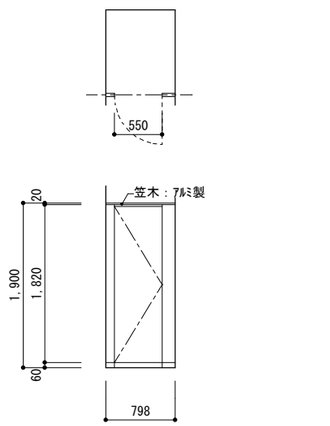
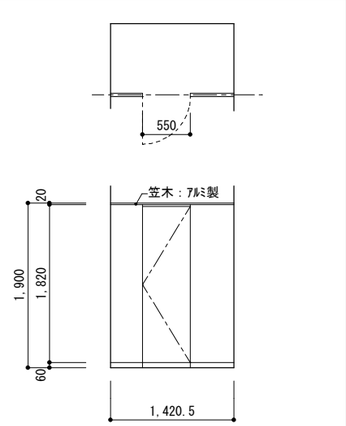
風量(m3/h)	100
面風速(m/s)	3
安全率	1.2
開口面積(㎡)	0.011
ｶﾞﾗﾘ面積(㎡)	0.083
開口率　(%)	13.3

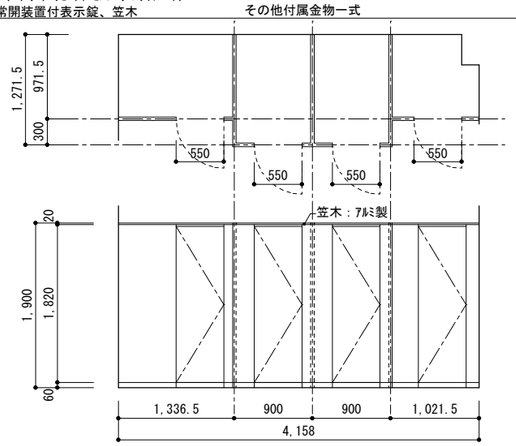
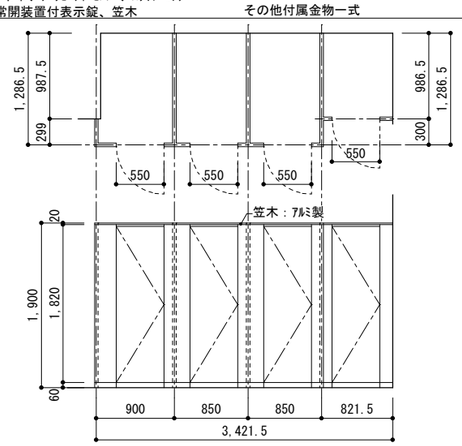
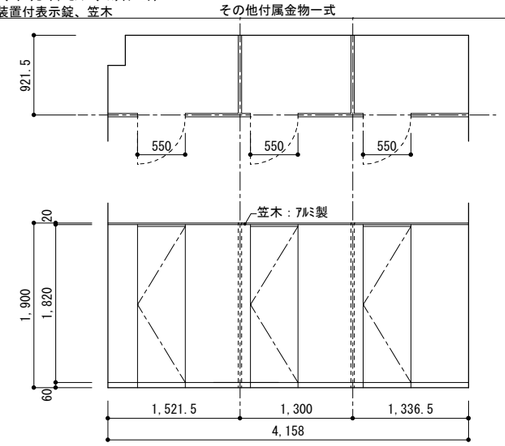
記号・数量	TB 1　木製トイレブース　4	TB 2　木製トイレブース　4	TB 3　木製トイレブース　4
場所	（西棟）1～4Ｆ階女子トイレ	（西棟）1～4Ｆ階女子トイレ	（西棟）1～4Ｆ階男子トイレ
金物	見込：40　木製メラミン樹脂化粧板仕上（ｱﾙﾐｴｯｼﾞ）	見込：40　木製メラミン樹脂化粧板仕上（ｱﾙﾐｴｯｼﾞ）	見込：40　木製メラミン樹脂化粧板仕上（ｱﾙﾐｴｯｼﾞ）
備考	SUS巾木、ｸﾞﾗﾋﾞﾃｨｰﾋﾝｼﾞ、ｽﾗｲﾄﾞﾛｯｸ 非常開装置付表示錠、笠木　その他付属金物一式	SUS巾木、ｸﾞﾗﾋﾞﾃｨｰﾋﾝｼﾞ、ｽﾗｲﾄﾞﾛｯｸ 非常開装置付表示錠、笠木　その他付属金物一式	SUS巾木、ｸﾞﾗﾋﾞﾃｨｰﾋﾝｼﾞ、ｽﾗｲﾄﾞﾛｯｸ 非常開装置付表示錠、笠木　その他付属金物一式
姿図			

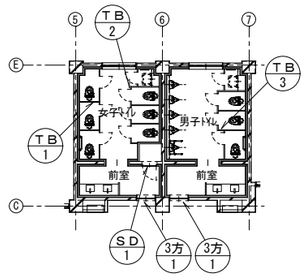
記号・数量	TB 4　木製トイレブース　1	TB 5　木製トイレブース　1	TB 6　木製トイレブース　2
場所	（管理棟）2Ｆ階女子トイレ	（管理棟）2Ｆ階男子トイレ	（管理棟）3・4Ｆ階男子トイレ
金物	見込：40　木製メラミン樹脂化粧板仕上（ｱﾙﾐｴｯｼﾞ）	見込：40　木製メラミン樹脂化粧板仕上（ｱﾙﾐｴｯｼﾞ）	見込：40　木製メラミン樹脂化粧板仕上（ｱﾙﾐｴｯｼﾞ）
備考	SUS巾木、ｸﾞﾗﾋﾞﾃｨｰﾋﾝｼﾞ、ｽﾗｲﾄﾞﾛｯｸ 非常開装置付表示錠、笠木　その他付属金物一式	SUS巾木、ｸﾞﾗﾋﾞﾃｨｰﾋﾝｼﾞ、ｽﾗｲﾄﾞﾛｯｸ 非常開装置付表示錠、笠木　その他付属金物一式	SUS巾木、ｸﾞﾗﾋﾞﾃｨｰﾋﾝｼﾞ、ｽﾗｲﾄﾞﾛｯｸ 非常開装置付表示錠、笠木　その他付属金物一式
姿図			

CRAFTMAN　ARCHITECTS　&　ASSOCIATES
有限会社　クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号　一級建築士登録 第253411号 小泉正義

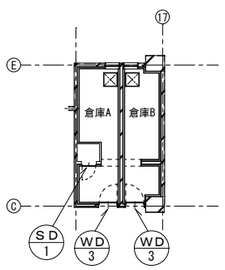
CHECKED	TITLE	DATE
DRAWN BY	DRW NAME　建具表 1	SCALE　A2 1/50　A3 1/70
		SHEET NO　A-39

記号・数量	TB 7 木製トイレブース 2	TB 8 木製トイレブース 2	TB 9 木製トイレブース 1	TB 10 木製トイレブース 1
場所	（管理棟）3・4Ｆ階女子トイレ	（管理棟）3・4Ｆ階女子トイレ	（東棟）1Ｆ階　前室	（東棟）1Ｆ階　前室
金物	見込：40　木製メラミン樹脂化粧板仕上（ｱﾙﾐｴｯｼﾞ）	見込：40　木製メラミン樹脂化粧板仕上（ｱﾙﾐｴｯｼﾞ）	見込：40　木製メラミン樹脂化粧板仕上（ｱﾙﾐｴｯｼﾞ）	見込：40　木製メラミン樹脂化粧板仕上（ｱﾙﾐｴｯｼﾞ）
備考	SUS巾木、ｸﾞﾗﾋﾞﾃｨｰﾋﾝｼﾞ、ｽﾗｲﾄﾞﾛｯｸ 非常開装置付表示錠、笠木　その他付属金物一式	SUS巾木、ｸﾞﾗﾋﾞﾃｨｰﾋﾝｼﾞ、ｽﾗｲﾄﾞﾛｯｸ 非常開装置付表示錠、笠木　その他付属金物一式	SUS巾木、ｸﾞﾗﾋﾞﾃｨｰﾋﾝｼﾞ、ｽﾗｲﾄﾞﾛｯｸ 非常開装置付表示錠、笠木　その他付属金物一式	SUS巾木、ｸﾞﾗﾋﾞﾃｨｰﾋﾝｼﾞ、ｽﾗｲﾄﾞﾛｯｸ 非常開装置付表示錠、笠木　その他付属金物一式
姿図				

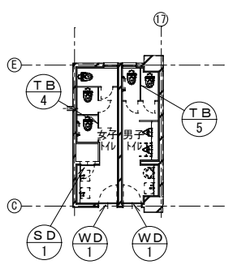
記号・数量	TB 11 木製トイレブース 2	TB 12 木製トイレブース 2	TB 13 木製トイレブース 2
場所	（東棟）2・3Ｆ階男子トイレ	（東棟）2・3Ｆ階女子トイレ	（東棟）2・3Ｆ階女子トイレ
金物	見込：40　木製メラミン樹脂化粧板仕上（ｱﾙﾐｴｯｼﾞ）	見込：40　木製メラミン樹脂化粧板仕上（ｱﾙﾐｴｯｼﾞ）	見込：40　木製メラミン樹脂化粧板仕上（ｱﾙﾐｴｯｼﾞ）
備考	SUS巾木、ｸﾞﾗﾋﾞﾃｨｰﾋﾝｼﾞ、ｽﾗｲﾄﾞﾛｯｸ 非常開装置付表示錠、笠木　その他付属金物一式	SUS巾木、ｸﾞﾗﾋﾞﾃｨｰﾋﾝｼﾞ、ｽﾗｲﾄﾞﾛｯｸ 非常開装置付表示錠、笠木　その他付属金物一式	SUS巾木、ｸﾞﾗﾋﾞﾃｨｰﾋﾝｼﾞ、ｽﾗｲﾄﾞﾛｯｸ 非常開装置付表示錠、笠木　その他付属金物一式
姿図			



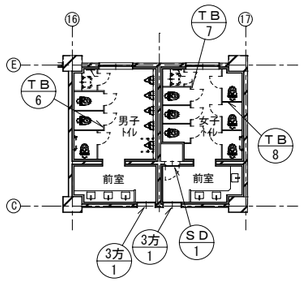
西棟　1階～4階　トイレ



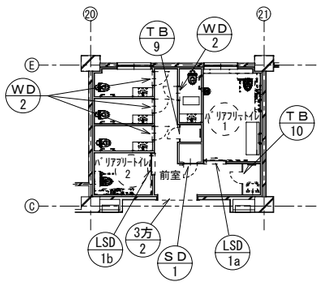
管理棟　1階　倉庫



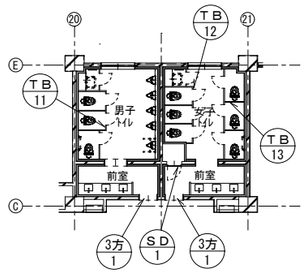
管理棟　2階　トイレ



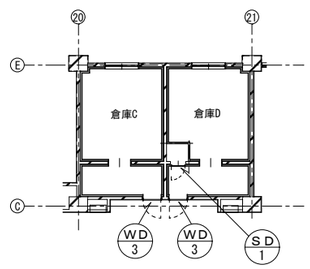
管理棟　3・4階　トイレ



東棟　1階　トイレ



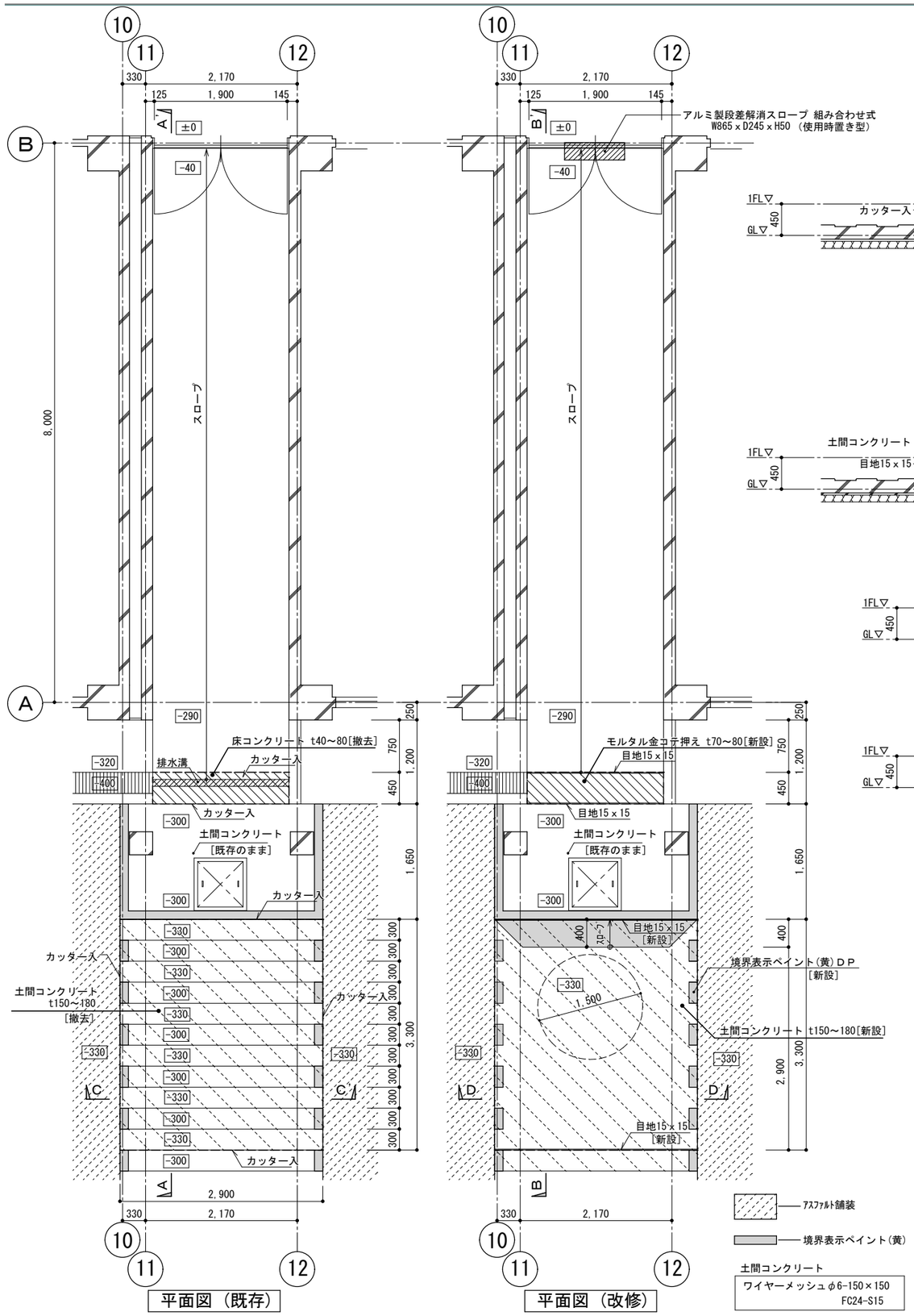
東棟　2・3階　トイレ



東棟　4階　倉庫

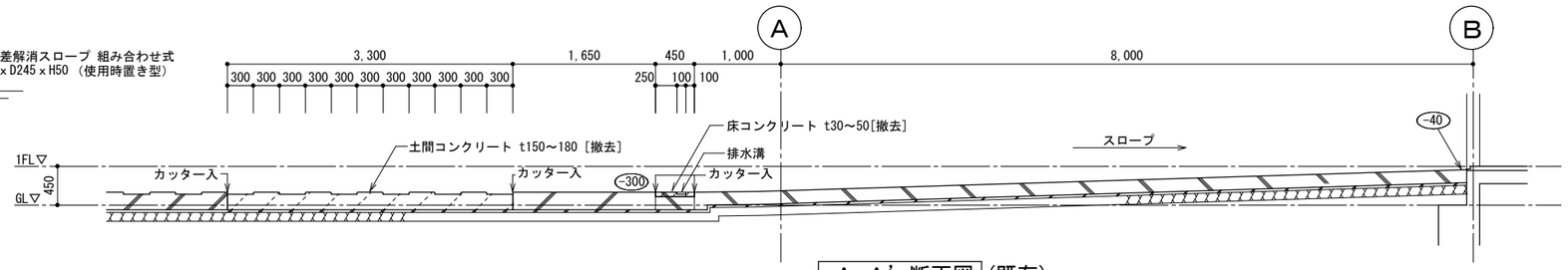
建具キープラン　S=1/200

CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES 有限会社 クラフトマン建築設計事務所 一級建築士事務所登録 第6592号　一級建築士登録 第253411号 小泉正義	CHECKED	TITLE 坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事	DATE
	DRAWN BY	DRW NAME 建具表２ / SCALE A2 1/50 A3 1/70	SHEET NO A-40

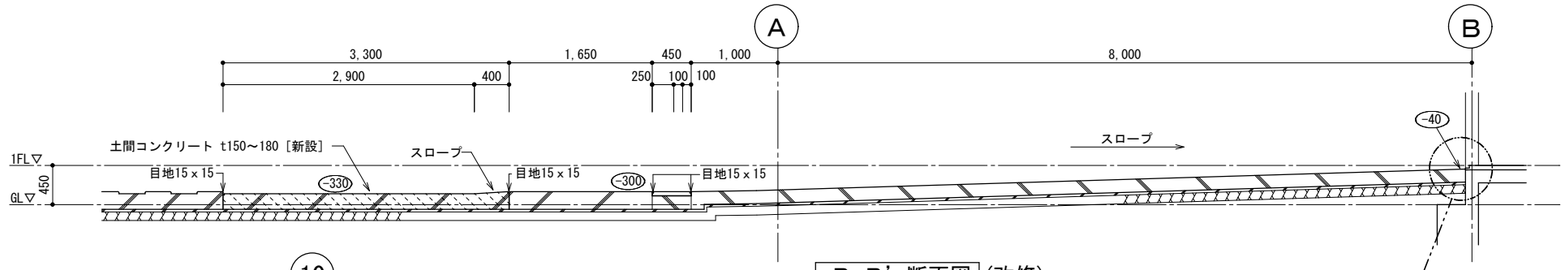


平面図（既存）

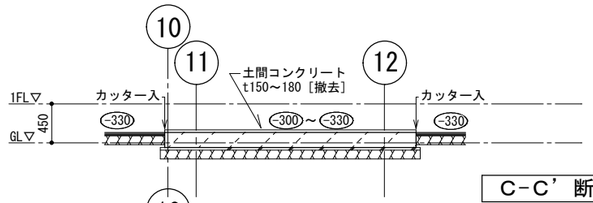
平面図（改修）



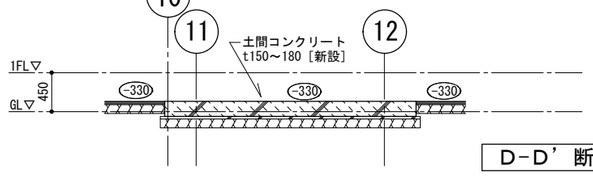
A－A’ 断面図（既存）



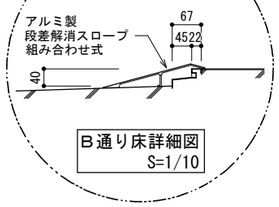
B－B’ 断面図（改修）



C－C’ 断面図（既存）

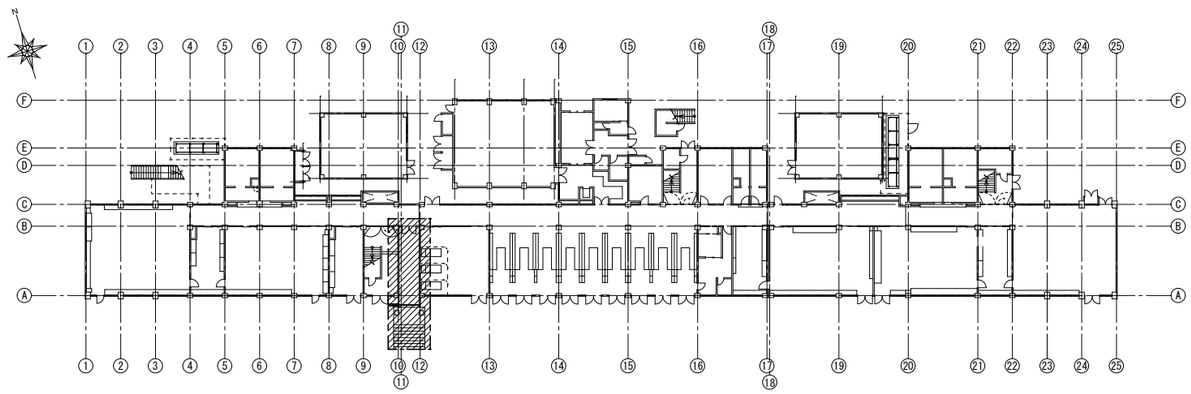


D－D’ 断面図（改修）



B通り床詳細図
S=1/10

アルミ製段差解消スロープ 組み合わせ式：Ruedamann敷居スロープ（参考）

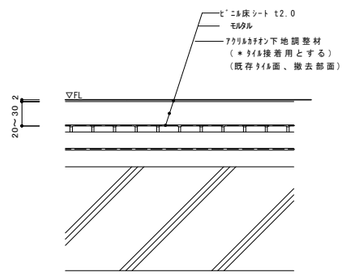


キープラン　S=1/500

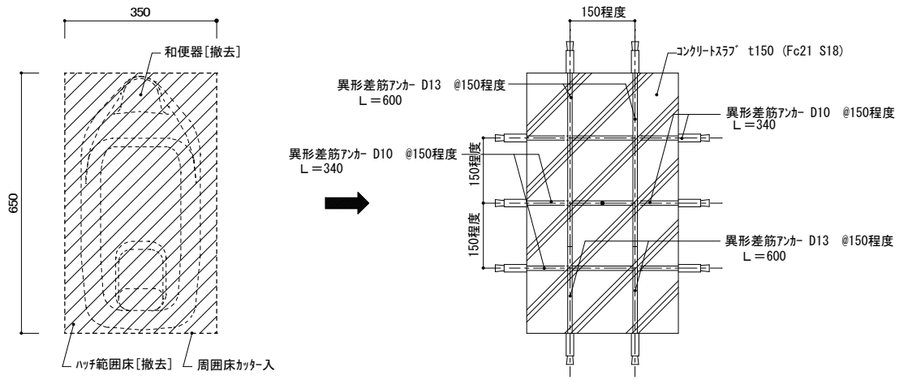
CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES
有限会社 クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号　一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE 坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事		DATE
DRAWN BY	DRW NAME 1階 段差解消 詳細図	SCALE A2 1/50 A3 1/70	SHEET NO A-41

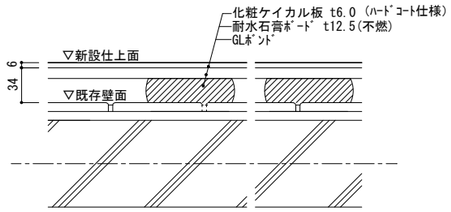
（床） トイレ内 嵩上げ部 S=1/5



（床） トイレ内 和便器部分孔閉塞 S=1/10

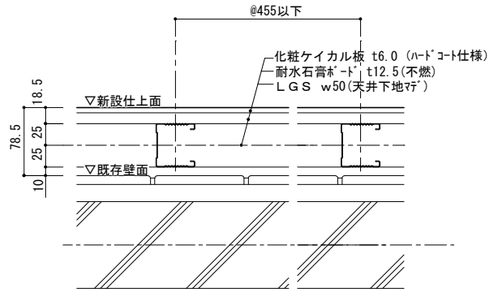


（壁） 新設仕上壁（ＧＬ工法） S=1/5



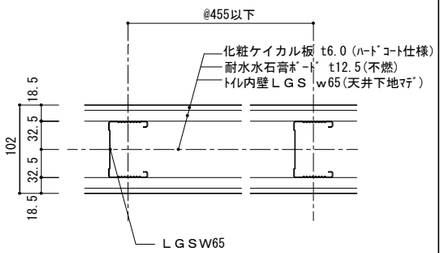
※ 適用面がタイルの場合、浮き・脆弱部分は、
モルタル下地共撤去する

（壁） 新設軽量壁（ＬＧＳ 50） S=1/5

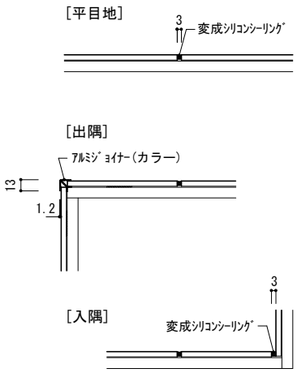


※ 適用面がタイルの場合、浮き・脆弱部分は、
モルタル下地共撤去する

（壁） 新設軽量壁（ＬＧＳ 65） S=1/5

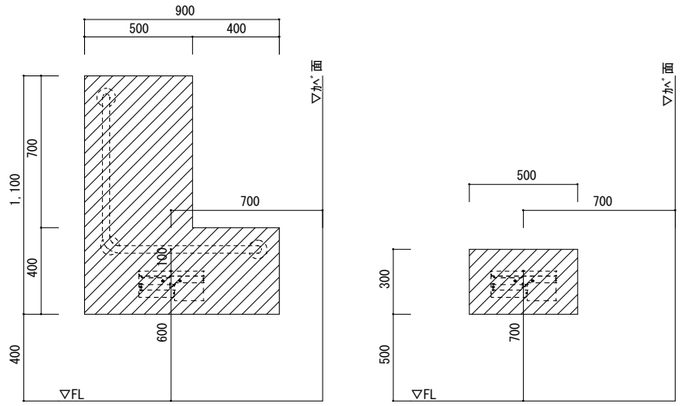


（壁） 特殊防汚塗装化粧ケイカル板 S=1/5



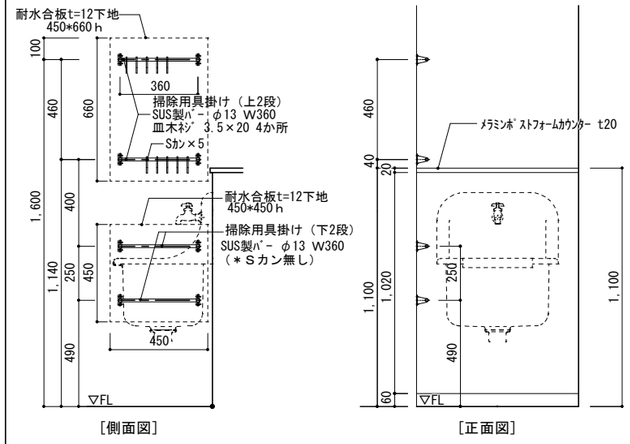
・ アイカ ルナライトＨＤ SKD6200L （参考）
・ アイカ アルミ出隅ジョイナー ZPP6200W （参考）

（壁） 下地補強 S=1/20



・ この他、洗面カウンター・小便器・掃除用深流し・鏡設置面は全て耐水合板t=12下地とする。

「掃除流し」内 掃除用具かけ S=1/20

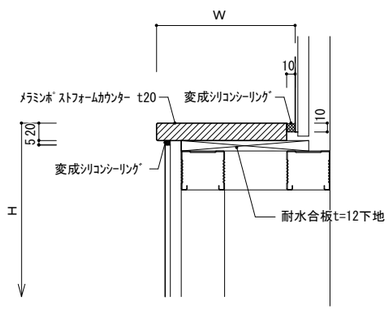


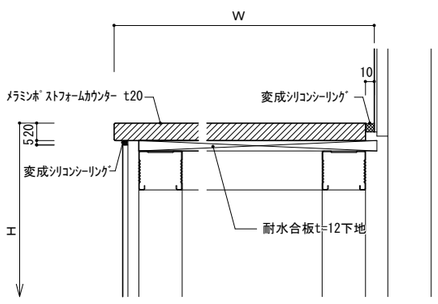
・ 掃除流し前面、棚周囲下地：耐水合板t=12張り
・ AICA ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ KPA（参考）

（壁） ライニング天板 S=1/5

管理棟	2階	女子前室	手洗い	W＝135	H＝1000
管理棟	3･4階	男子トイレ	小便器	W＝120	H＝1200
西棟	1-4階	男子トイレ	小便器	W＝120	H＝1200
東棟	2･3階	男子トイレ	小便器	W＝120	H＝1200

管理棟	2階	男子トイレ	小便器	W＝310	H＝1200
管理棟	2階	男子前室	手洗い	W＝200	H＝1000
西棟	1-4階	男女トイレ	掃除流し	W＝350	H＝1100
東棟	1階	前室	掃除流し	W＝120	H＝1100
東棟	2･3階	男女トイレ	掃除流し	W＝350	H＝1100
東棟	1階	バリアフリートイレ１		W＝210	H＝1100

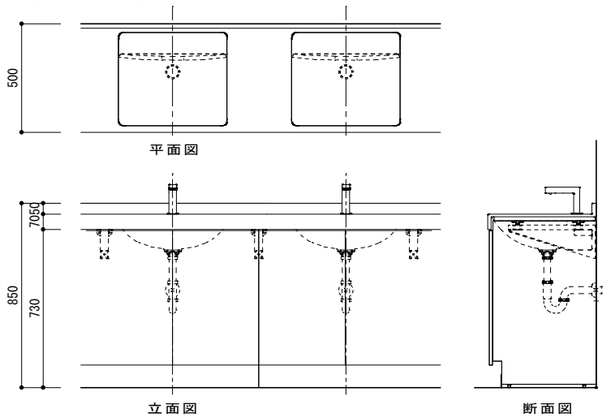




・ AICA ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ KPA（参考）

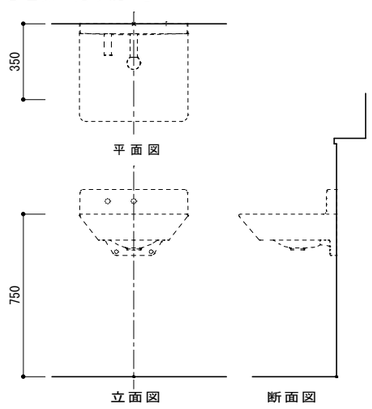
手洗い 詳細 S=1/20

【 生徒用一般手洗い】



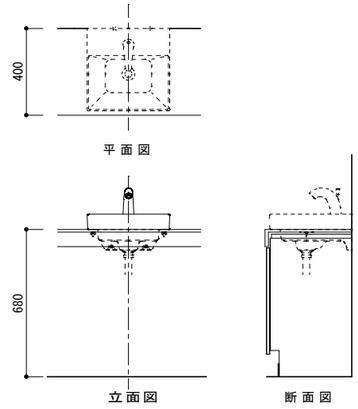
・ TOTO ﾏｰﾌﾞﾙライトカウンター・ボウル一体タイプ（参考）

【 管理棟２ 階手洗い】



・ TOTO ﾊｲﾊﾞｯｸ洗面器 LS135（参考）

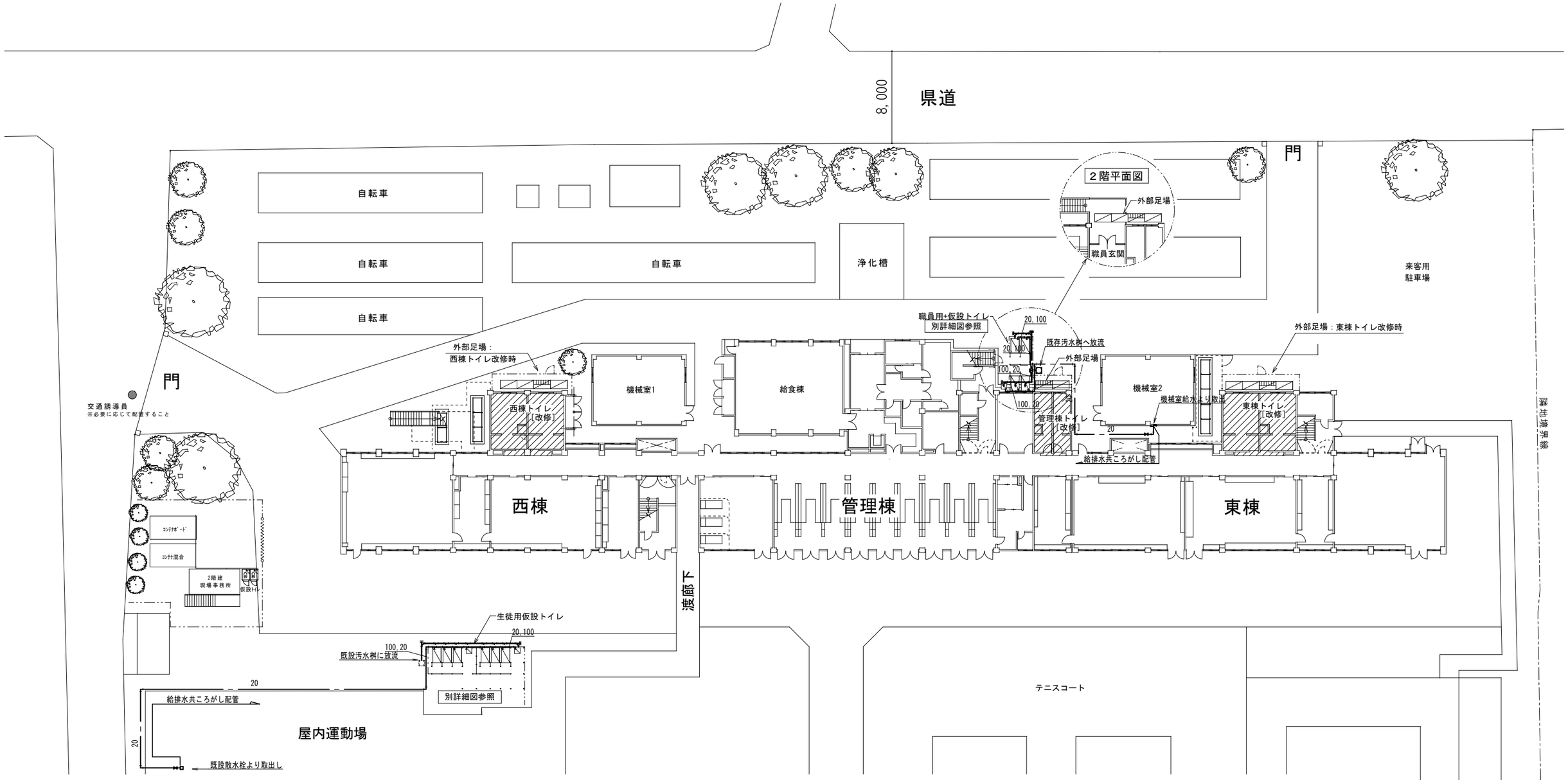
【 東 棟 １ 階 み ん な の ト イ レ 手 洗 い 】



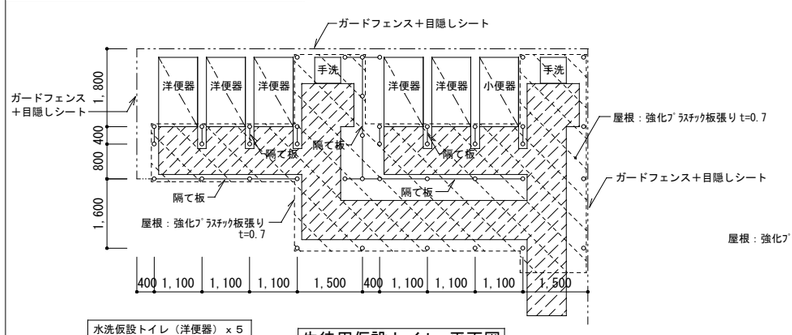
・ TOTO ﾏｰﾌﾞﾙライトカウンター・LS721（参考）

CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES
有限会社 クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号 一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE 坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事	DATE
DRAWN BY	DRW NAME 部分詳細図 / SCALE A2 A3	SHEET NO A-42

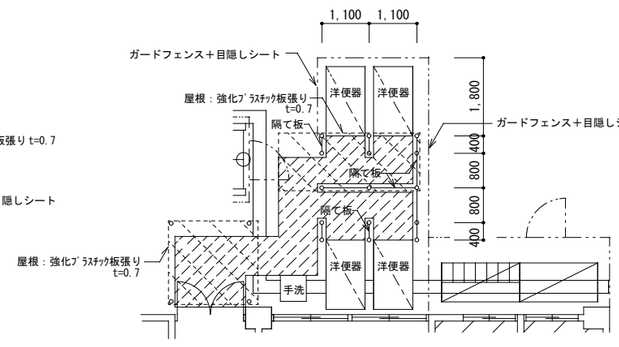


仮設トイレ 詳細図 S=1/100



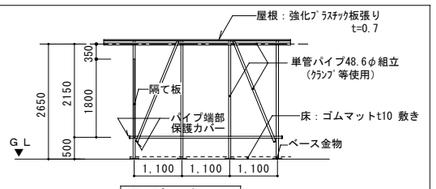
水洗仮設トイレ（洋便器）×５
水栓仮設トイレ（小便器）×１
水栓仮設手洗い　×２

生徒用仮設トイレ 平面図



水洗仮設トイレ（洋便器）×４
水栓仮設手洗い　×１

職員用仮設トイレ 平面図



隔て板 立面図

凡例

- ガードフェンス＋目隠しシート
- 単管パイプ組み 隔て板
- ゴムマットt10　敷き
- 屋根：強化ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ板張りt=0.7

給水管　水道用ポリエチレン管
排水管　硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）

・給排水は、敷設・撤去共本工事とする。

CRAFTMAN ARCHITECTS & ASSOCIATES
有限会社 クラフトマン建築設計事務所
一級建築士事務所登録 第6592号　一級建築士登録 第253411号 小泉正義

CHECKED	TITLE 坂戸市立住吉中学校トイレ改修工事	DATE
DRAWN BY	DRW NAME 仮設計画図（参考）	SCALE A2 1/300 A3 1/420
		SHEET NO A-43